

学力向上検証改善サイクルの確立に向けて

—平成28年度高知県学力定着状況調査結果の概要—

平成29年3月

高知県教育委員会

— 目 次 —

はじめに

1	調査の概要	1
2	教科に関する調査結果	3
3	教科別調査結果	
	教科別調査結果について	8
(1)	小学校国語	9
(2)	小学校算数	14
(3)	小学校理科	19
(4)	中学校国語	22
(5)	中学校社会	27
(6)	中学校数学	32
(7)	中学校理科	37
(8)	中学校外国語（英語）	42
4	調査問題等の活用	
	・各教科の指導改善のポイントと授業アイデア例について	47
	・小学校国語指導改善のポイント（第5学年）	48
	・小学校算数指導改善のポイント（第4学年）	50
	・小学校理科指導改善のポイント（第5学年）	52
	・中学校国語指導改善のポイント（第2学年）	54
	・中学校社会指導改善のポイント（第2学年）	56
	・中学校数学指導改善のポイント（第2学年）	58
	・中学校理科指導改善のポイント（第2学年）	60
	・中学校外国語（英語）指導改善のポイント（第1学年）	62
	・調査結果の活用～解答類型別反応率の分析～	64

はじめに

高知県学力定着状況調査は、全国学力・学習状況調査等の結果から明らかとなった知識・技能の定着やそれらを活用して課題を解決する力の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、その結果等をもって、学習内容の充実や指導方法の工夫・改善を行うことを目的に実施しています。また、これからの社会を生き抜いていく上で必要とされる「課題を発見し、解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等」を問う内容を出題し、そのような力を育成するための授業づくりへのメッセージを込めております。

今回の調査結果から、算数・数学においては、計算力の向上が見られ、また、漢字やローマ字を含む語彙の習得や文法事項の理解は、これまでと同様によくなされていることがわかります。ただ、獲得した知識や技能を日常生活の場面に当てはめて課題の解決方法を考えることや、知識や技能を活用して問題を解決する力、また、論理的に表現する力については、まだ課題が残る状況です。

このような課題を解決するためには、次期学習指導要領において示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善の取り組みを活性化していくことが求められます。

本報告書においては、調査結果とその分析を基に、児童生徒の学力課題を明確にするとともに、この解決に向けた深い学びを実現するための授業の工夫や改善の具体的な事例を「授業アイディア例」として示しています。各学校においては、本報告書を参考に、指導改善のポイントを明確に持ち、組織的・協働的に課題解決のための授業づくりを進めていただくよう、お願いします。

県教育委員会としまして、本年度からスタートした「高知県教育大綱」や「第2期高知県教育振興基本計画」において、組織的に指導力の向上や授業改善に取り組む「チーム学校の構築」を推進するとともに、児童生徒一人一人のつまずきに応じた指導が行えるよう、放課後の学習支援の充実を図ってまいりました。これらの取り組みをより強化、加速化するとともに、「探究的な学習づくり」等、授業研究をより一層進め、各学校の取り組みを支援してまいります。

最後に、今回の調査の実施に当たり、御尽力いただいた全ての皆様に心より御礼申し上げます。

平成29年3月 高知県教育委員会

平成28年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を解決する力（思考・判断・表現する力等）の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査への参加状況

◇ 参加学校数 299校

小学校	192校
中学校	105校
義務教育学校（前期課程・後期課程）	2校

◇ 小学校解答児童数

第4学年

国語 5,413人 算数 5,406人

第5学年

国語 5,327人 算数 5,317人 理科 5,332人

◇ 中学校解答生徒数

第1学年

国語 4,451人 社会 4,452人 数学 4,451人
理科 4,448人 外国語（英語） 4,457人

第2学年

国語 4,437人 社会 4,469人 数学 4,453人
理科 4,475人 外国語（英語） 4,469人

III. 調査事項

（1）教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

（2）内容

基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

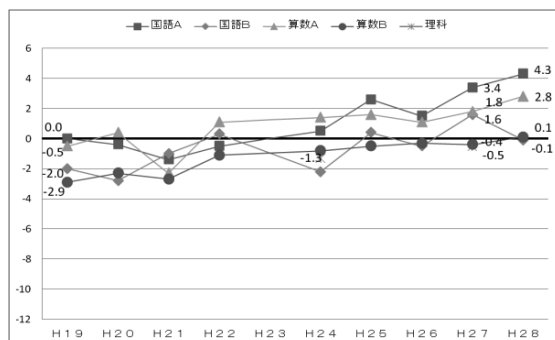
平成29年1月11日（水）



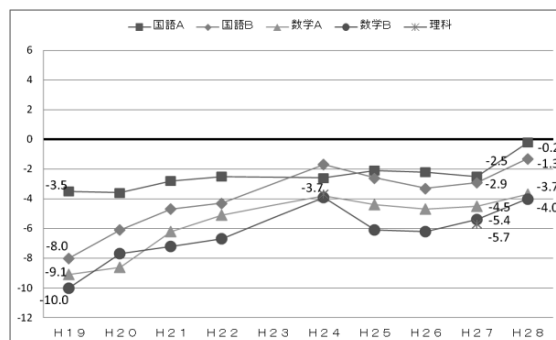
これまでの学力調査結果に見られる本県の学力の状況

I 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

小学校



中学校

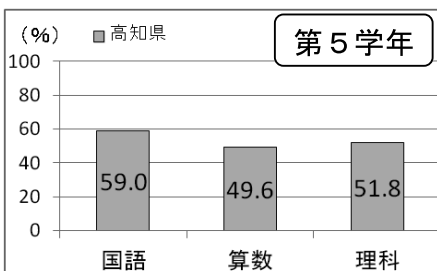
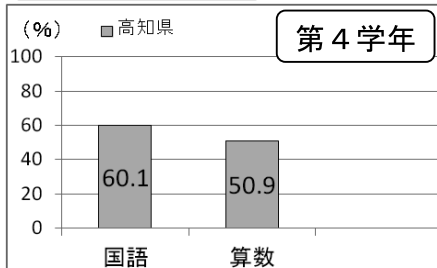


現状

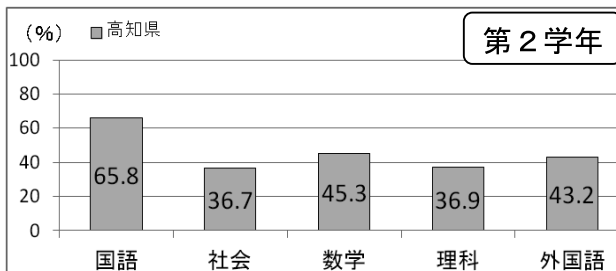
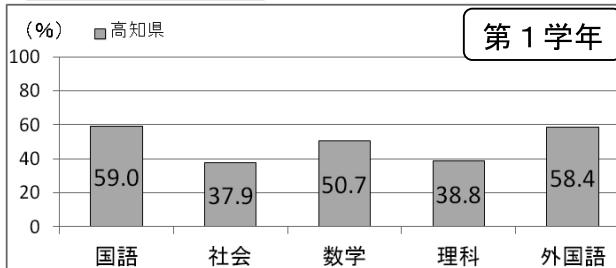
- 小学校は、国語・算数のA問題で全国平均を上回り、B問題においてもほぼ全国平均と同等の結果となっている。
- 中学校は、国語・数学とも全国平均には達してはいないものの、全国平均との差を縮めており、足踏み状態にあった学力の伸びは、その状況から脱する兆しを見せている。
- 小・中学校ともに、獲得した知識や技能を活用して課題の解決を図るような力の育成という点では、まだ十分な状況にない。

II 高知県学力定着状況調査結果（平成27年度の平均正答率）

小学校調査



中学校調査



現状

- ことわざや敬語の使い方を理解すること、関数の表・グラフを読み取ることなど、基礎的・基本的な知識や技能に関しては、改善傾向にある。
- 事実を基にして、何が言えるのか、考えられるのかを解釈することや、根拠を明確にして自分の考えを書くことなどには依然として課題がある。



2 教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	62.2	59.6	43.0	28.8	81.2
	平成27年度	60.1	56.7	38.6	44.6	69.1
	平成26年度	63.5	62.0	40.9	48.7	75.3
	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成28年度	60.9	64.3	57.3	43.9	62.3
	平成27年度	50.9	46.3	58.3	39.2	50.0
	平成26年度	61.3	69.7	43.7	44.2	63.4
	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	64.5	86.9	33.4	53.5	70.2
	平成27年度	59.0	67.2	24.0	40.6	71.2
	平成26年度	51.8	39.9	31.9	34.0	63.0
	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成28年度	54.5	60.3	43.9	43.5	47.4
	平成27年度	49.6	58.0	34.9	40.3	46.0
	平成26年度	48.3	56.6	52.8	34.7	42.4
	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成28年度	56.0	48.5	55.7	60.3	58.5
	平成27年度	51.8	30.6	55.2	62.4	50.9
	平成26年度	63.0	65.2	48.2	68.8	66.3
	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	56.2	68.1	25.7	43.5	68.1
	平成27年度	59.0	54.0	38.7	58.6	61.1
	平成26年度	58.7	64.6	44.7	45.3	64.1
	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本
社会	平成28年度	35.9	32.5	48.8	37.5	37.9
	平成27年度	37.9	41.1	48.9	23.2	
	平成26年度	42.4	44.0	29.1	49.1	
	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成28年度	48.2	45.7	59.9	50.8	
	平成27年度	50.7	50.6	58.8	47.6	
	平成26年度	49.3	48.8	64.0	46.1	
	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成28年度	46.7	39.9	39.9	52.1	
	平成27年度	38.8	26.5	30.3	49.1	
	平成26年度	45.3	47.6	42.2	46.0	
	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成28年度	52.0	65.0	61.9	34.5
	平成27年度	58.4	80.0	58.1	39.1
	平成26年度	64.9	80.8	61.8	52.4
	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成28年度	55.2	65.8	29.0	43.4	65.5
	平成27年度	65.8	78.8	38.0	57.6	67.8
	平成26年度	59.0	79.6	39.4	49.8	60.6
	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成28年度	42.0	42.5	51.4	40.4	30.0
	平成27年度	36.7	41.6	42.0	32.6	30.5
	平成26年度	35.6	45.6	36.0	34.1	24.9
	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

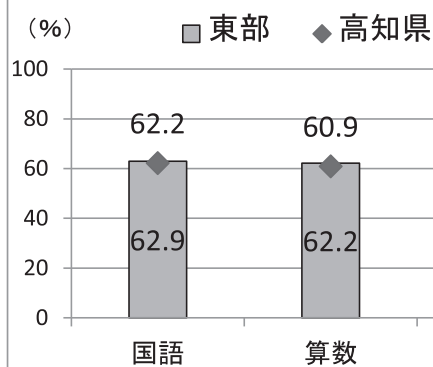
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成28年度	49.1	53.4	52.3	40.5	36.9
	平成27年度	45.3	49.9	34.3	47.4	42.8
	平成26年度	45.1	51.0	39.9	45.4	31.3
	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成28年度	42.2	49.3	40.6	41.4	37.1
	平成27年度	36.9	35.4	36.2	40.5	36.1
	平成26年度	38.0	31.0	40.9	41.6	37.7
	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

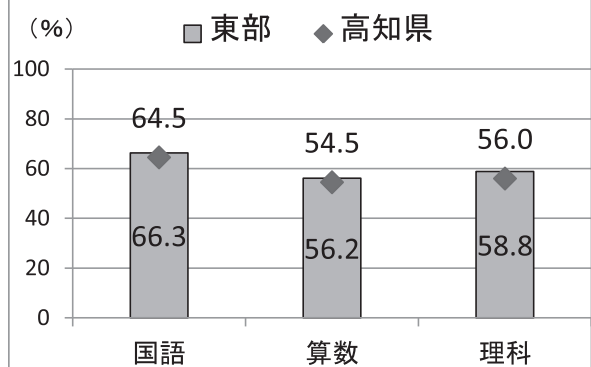
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成28年度	43.9	68.0	55.2	15.1
	平成27年度	43.2	65.9	51.1	21.0
	平成26年度	47.8	63.1	58.1	28.8
	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

東部教育事務所

小学校第4学年

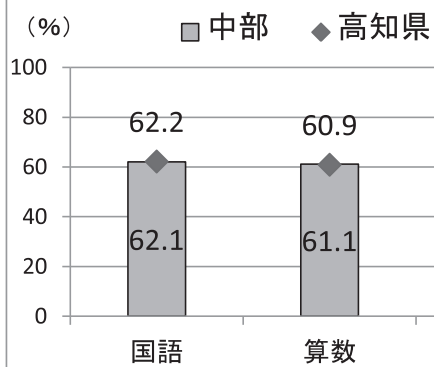


小学校第5学年

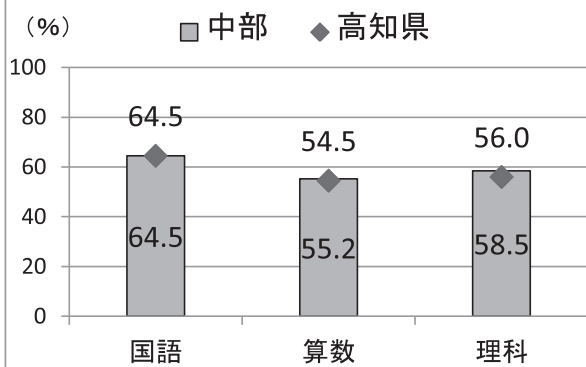


中部教育事務所

小学校第4学年

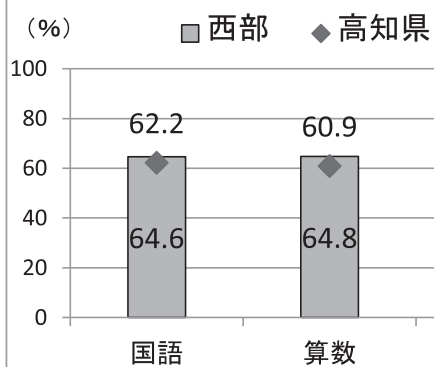


小学校第5学年

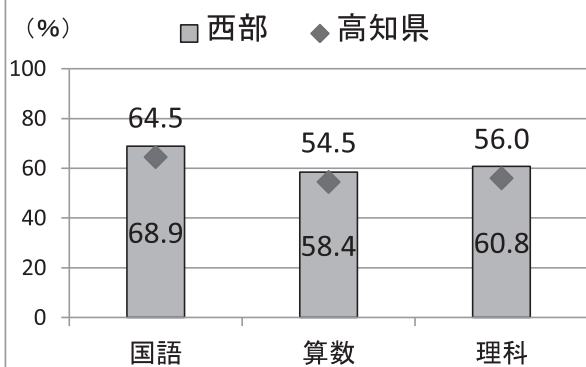


西部教育事務所

小学校第4学年

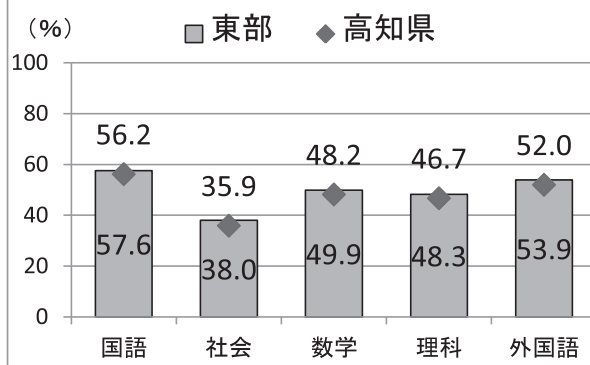


小学校第5学年

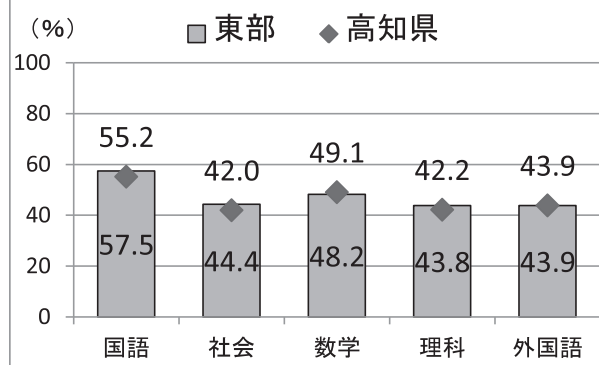


東部教育事務所

中学校第1学年

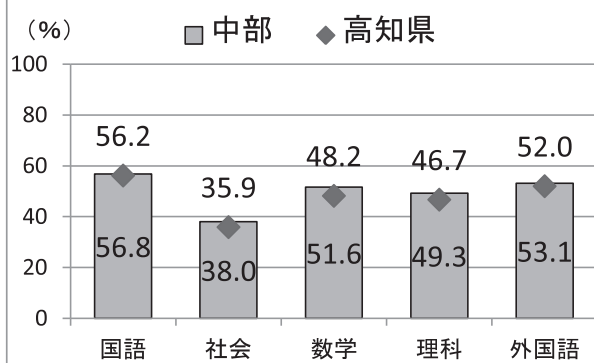


中学校第2学年

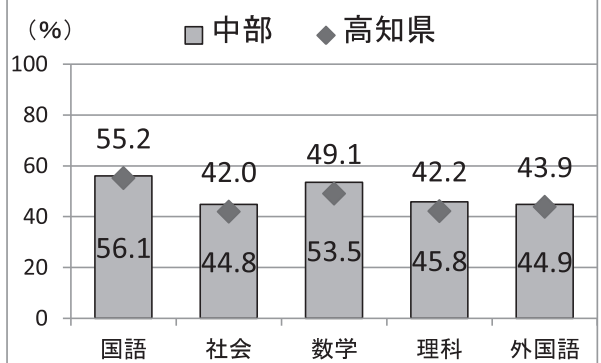


中部教育事務所

中学校第1学年

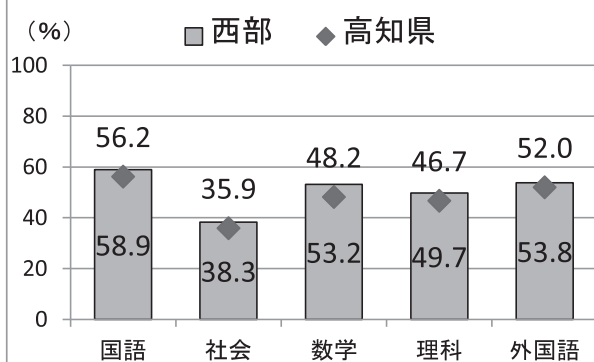


中学校第2学年

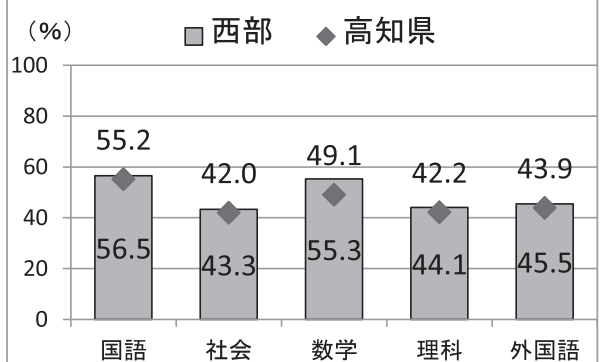


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年



3 教科別調査結果

教科別調査結果について

今回の調査結果における高知県の状況について、各教科の【分類・区分別の状況】、【設問別正答率】、【成果と課題】を示していますので、各学校の分析の参考にしてください。

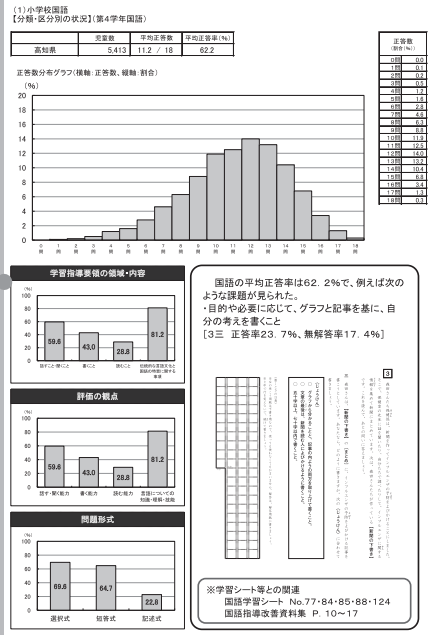
正答数分布グラフを示しています。

領域・内容、評価の観点、問題形式による平均正答率を示しています。

平均正答数やグラフの形状、他の数値の情報と合わせて分析してください。



【分類・区分別の状況】



【設問別正答率】

設問番号	設問内容	正答率	無解答率	期待正答率
1	国語の基礎的な能力	59.8	0	59.8
2	国語の活用能力	43.0	0	43.0
3	国語の表現能力	28.8	0	28.8
4	国語の理解能力	81.2	0	81.2
5	国語の基礎的な能力	59.8	0	59.8
6	国語の活用能力	43.0	0	43.0
7	国語の表現能力	28.8	0	28.8
8	国語の理解能力	81.2	0	81.2
9	国語の基礎的な能力	59.8	0	59.8
10	国語の活用能力	43.0	0	43.0
11	国語の表現能力	28.8	0	28.8
12	国語の理解能力	81.2	0	81.2
13	国語の基礎的な能力	59.8	0	59.8
14	国語の活用能力	43.0	0	43.0
15	国語の表現能力	28.8	0	28.8
16	国語の理解能力	81.2	0	81.2
17	国語の基礎的な能力	59.8	0	59.8
18	国語の活用能力	43.0	0	43.0
19	国語の表現能力	28.8	0	28.8
20	国語の理解能力	81.2	0	81.2

●設問ごとに、高知県の正答率と無解答率、期待正答率(*)を示しています。

*期待正答率

本調査における各設問は、学習指導要領を踏まえ、すべての児童生徒に身に付けさせたい指導事項を問うものです。その内容、問題形式、これまでの学力調査の結果等をもとに、達成することが期待される割合を期待正答率として示しています。

【成果と課題】

学年	成果	課題
第4学年	国語の基礎的な能力 国語の活用能力 国語の表現能力 国語の理解能力	国語の基礎的な能力 国語の活用能力 国語の表現能力 国語の理解能力

今後さらに重点となる指導改善のポイント

○目的に応じて文章や資料を読み、中心となる語や文を見えたり、必要な情報を取り出したり、事実と意見・主張とを区別したり、読むことと書くことを結び合わせた指導が大切である。その際、読者の立場や目的に応じて、目的に応じて、読み手としての役割を担うことができるようにしていく指導が大切である。また、読者の立場や目的に応じて、読み手としての役割を担うことができるようにしていく指導が大切である。

●本年度調査における注目してほしい成果と課題、経年変化による成果と課題を示しています。

成果	第○学年
本年度	相当数の児童生徒ができている問題
経年	課題の改善状況が見られる問題
本年度	課題が見られる問題
経年	依然として課題が見られる問題

経年には、関連のある過去の調査問題を示しています。

(例)
H27①
高知県学力定着状況調査の問題番号
H27A③
全国学力・学習状況調査の問題番号

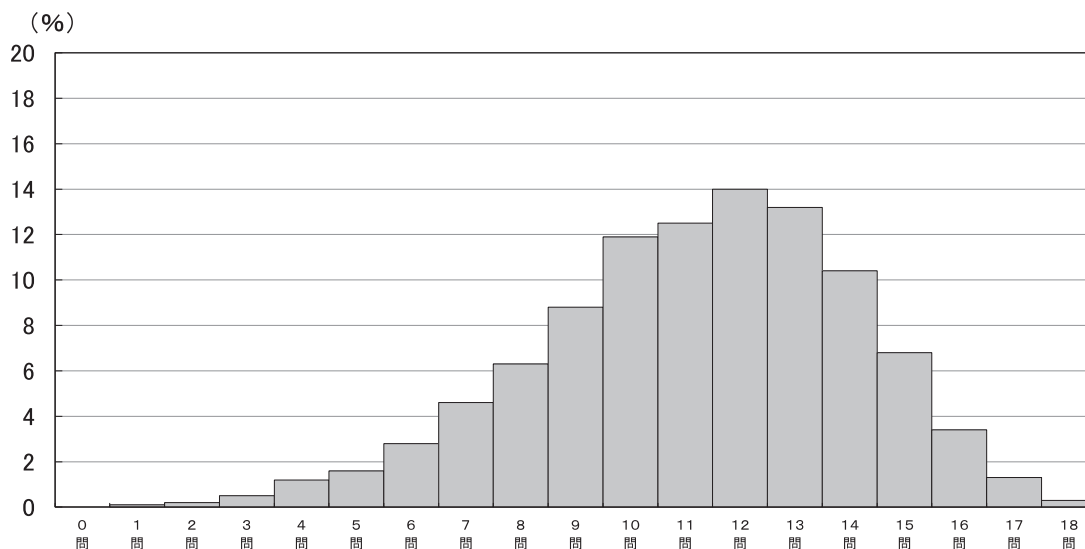
●調査結果を受け、指導方法の改善を図る際のポイントを示しています。

(1) 小学校国語
【分類・区分別の状況】(第4学年国語)

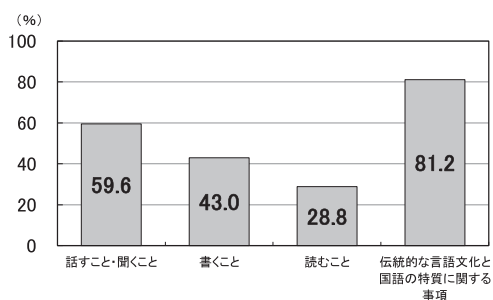
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,413	11.2 / 18	62.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.1
2問	0.2
3問	0.5
4問	1.2
5問	1.6
6問	2.8
7問	4.6
8問	6.3
9問	8.8
10問	11.9
11問	12.5
12問	14.0
13問	13.2
14問	10.4
15問	6.8
16問	3.4
17問	1.3
18問	0.3

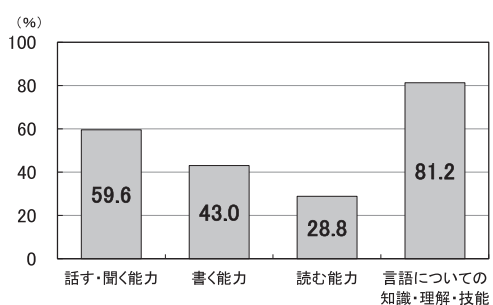
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



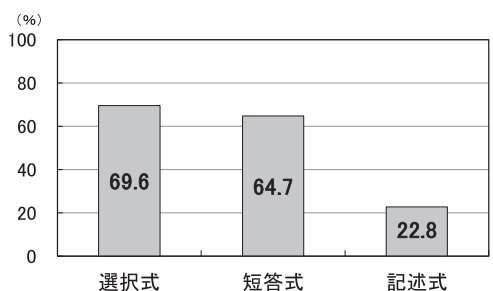
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は62.2%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・目的や必要に応じて、グラフと記事を基に、自分の考えを書くこと

[3三 正答率23.7%、無解答率17.4%]

3

森田さんたち保健係は、新聞で作ってインフルエンザの予防をよびかけることにしました。そこで、保健室の先生に話を聞いたり、自分たちを調べたりして、インフルエンザに関する情報を集めて新聞にまとめています。次は、森田さんたちが作っている「新聞の下書き」です。これを読んで、あとの問に答えましょう。

三森田さんは【新聞の下書き】の（まとめ）に、インフルエンザの予防をよびかける記事を書こうとしています。あなたなら、どのように書きますか。次の（じょうけん）に合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- グラフから分かることと、記事の内よりの両方を取り上げて書くこと
- 文章の最後は、新聞を読む人によびかけるように書くこと。
- 五十文字以上、七十文字以内で書くこと。

※との原こう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※と中で行を変えないで、続けて書きましょう。

※学習シート等との関連

国語学習シート No.77・84・85・88・124

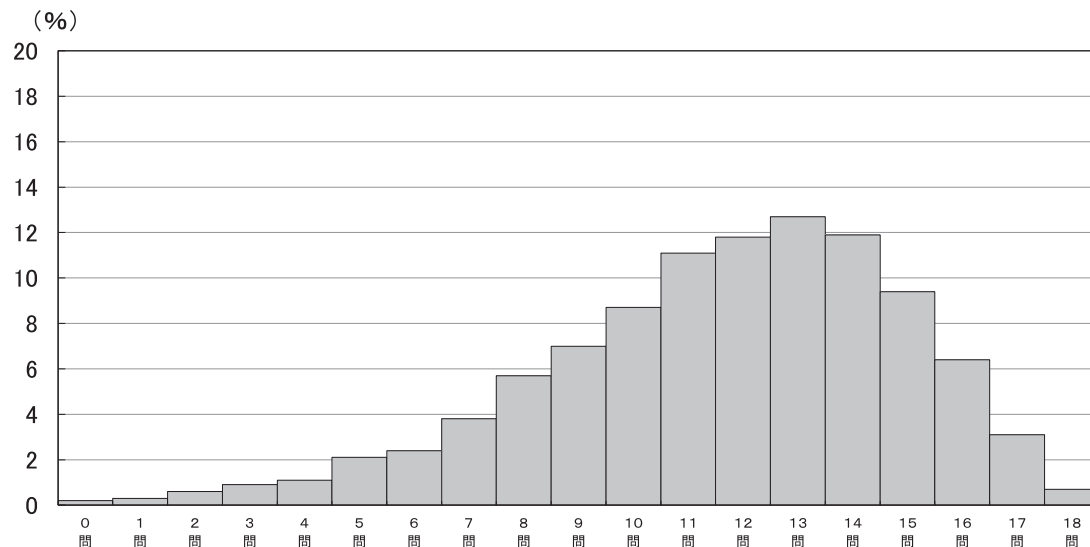
国語指導改善資料集 P. 10~17

小学校国語
【分類・区分別の状況】(第5学年国語)

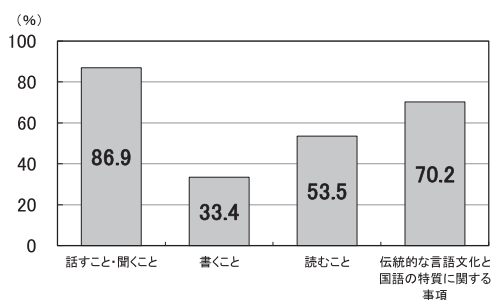
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,327	11.6 / 18	64.5

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	0.6
3問	0.9
4問	1.1
5問	2.1
6問	2.4
7問	3.8
8問	5.7
9問	7.0
10問	8.7
11問	11.1
12問	11.8
13問	12.7
14問	11.9
15問	9.4
16問	6.4
17問	3.1
18問	0.7

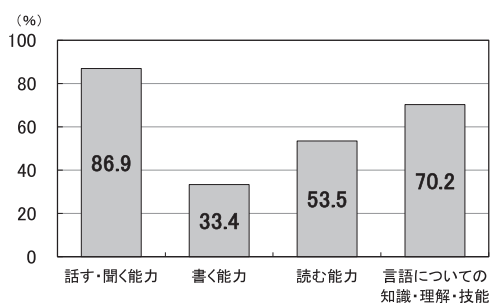
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



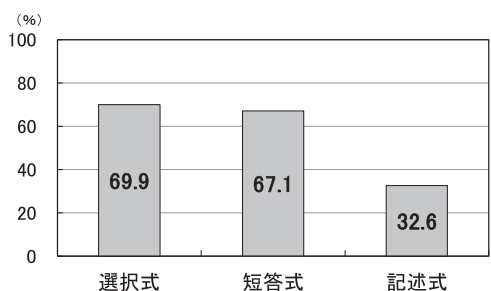
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



国語の平均正答率は64.5%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・事実と意見を区別することとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること
- [2二(2) 正答率28.2%、無解答率13.7%]

(2)

大山さんは、ふたつに澤山の伝記を読んでもう一つは、すいせん文を書きたいと考えています。次の「すいせん文の下書き」のウに入る内容を、あなたなら、どのように書きますか。「すいせん文の下書き」のウの部分に書き込んでください。

すいせん文の下書き

みなさんは、おもしろいことやつらいことに直面したときに、あらかじめ決まっていたように、夢をあたえられた人の伝記」の中の澤田さんが書いた「(2)でし」をアメリカでは有名な澤田さんは、練習でも試合でも、味方の選手からパスを出して、相手と、相手にさせませんでした。しかし、体格やパワーでかろうじてでも、澤田さんの努力は結果となり、多くの試合で活躍し、アメリカで有名な選手になりました。このことから、澤田さんの努力は、結果を出した選手の生き方を学べました。このことから、澤田さんの努力は、結果を出した選手の生き方を学べました。このことから、澤田さんの努力は、結果を出した選手の生き方を学べました。

ウ

この話は、おもしろいことやつらいことに直面したときに、あらかじめ決まっていたように、夢をあたえられた人の伝記」の中の澤田さんが書いた「(2)でし」をアメリカでは有名な澤田さんは、練習でも試合でも、味方の選手からパスを出して、相手と、相手にさせませんでした。しかし、体格やパワーでかろうじてでも、澤田さんの努力は結果となり、多くの試合で活躍し、アメリカで有名な選手になりました。このことから、澤田さんの努力は、結果を出した選手の生き方を学べました。このことから、澤田さんの努力は、結果を出した選手の生き方を学べました。このことから、澤田さんの努力は、結果を出した選手の生き方を学べました。

※学習シート等との関連

国語学習シート No.74・87・94
国語指導改善資料集 P. 60～67

【設問別正答率】（第4学年国語）

問題番号				主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式				期待正答率（％）	高知県	
大	小	問	話すこと・聞くこと					書くこと	読むこと	国語的特質に関する事項	話す・書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）				
1	一	(1)	○			漢字を読む（高知県の歴史を調べる）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1) ウ(1)			○		○		90	98.5	0.7		
1	一	(2)	○			漢字を読む（この辺りはとても静かだ）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1) ウ(1)			○		○		90	89.7	0.8		
1	二	(1)	○			漢字を書く（新しいふでばこを買った）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				(1) ウ(1)			○		○		80	82.6	2.2		
1	二	(2)	○			漢字を書く（焼いていた肉がこげてにがい）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				(1) ウ(1)			○		○		80	87.0	4.2		
1	三	(1)	○			こそあど言葉が指しているものをえらぶ	指示語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使う				(1) イ(1)			○	○			80	79.3	0.3		
1	三	(2)	○			つなぎ言葉の使い方として、ふさわしいものをえらぶ	接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使う				(1) イ(1)			○	○			80	97.0	0.2		
1	四		○			ことわざの使い方としてふさわしいものをえらぶ	ことわざの意味と使い方を正しく理解する				(1) ア(1)			○	○			80	83.2	0.4		
1	五	(1)	○			ローマ字を読む（Ryōma）	拗音の含まれたローマ字表記を正しく読む				(1) ウ(1)			○		○		80	68.4	12.1		
1	五	(2)	○			ローマ字を書く（ぶんたん）	濁音の含まれたローマ字表記を正しく書く				(1) ウ(1)			○		○		70	44.7	11.5		
1	六	(1)	○			【スピーチ】の内ようから、目標を決めた理由が書かれただん落をえらぶ	相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話す	イ				○			○			70	77.5	0.4		
1	六	(2)	○			質問の内ようとして、ふさわしいものをえらぶ	話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする	エ				○				○		70	41.7	0.6		
1	七		○			敬体と常体とのちがいに注意し、【文章の下書き】を書き直したものととしてふさわしいものをえらぶ	相手や目的に応じて、文章の敬体と常体との違いに注意しながら書く		エ			○			○			70	91.2	0.6		
2	一		○			説明的な文章を読み、クジラの様子について書かれた内ようとしててきせつなものをえらぶ	目的に応じて、中心となる語や文を捉えて文章を読む			イ			○			○		80	43.8	1.0		
2	二	(1)	○			ふせんに書かれた内ようをもとにして、【まとめ】をよりよい表現に書き直す	目的に応じて、文章をよりよい表現に書き直す		オ				○			○		60	35.2	9.2		
2	二	(2)	○			二まいの写真の中から、クジラの潮ふきについてしようかいるために使いたい写真をえらび、じょうけんに合わせてえらんだ理由を書く	書くこととすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を挙げて書く	ウ	エ			○	○			○	60	21.8	4.8			
3	一		○			二人の話を聞き、〔体験談〕として読み手に伝えたい内ようとしてふさわしくないものをえらぶ	文章を読んで、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く			オ			○			○		70	42.8	3.4		
3	二		○			新聞の下書きを読み、ふさわしい見出しを書く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える			イ			○			○		70	11.7	11.4		
3	三		○			じょうけんに合わせて、インフルエンザの予防をよびかける記事を書く	目的や必要に応じて、グラフと記事を基に、自分の考えを書く		ウ	エ			○	○			○	60	23.7	17.4		

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第5学年国語）

問題番号				主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式				期待正答率（％）	高知県	
大問	小問		話すこと・聞くこと					書くこと	読むこと	国語の特質に関する事項	話す・書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	無解答率（％）			
1	一	(1)	○			漢字を読む（学校の規則を守る）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1) ウ(7)			○		○		90	91.6	2.4	
1	一	(2)	○			漢字を読む（両親が花屋を営む）	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む				(1) ウ(7)			○		○		90	91.0	1.4	
1	二	(1)	○			漢字を書く（海の向こうにりくちが見える）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				3・4 (1) ウ(7)			○		○		80	81.5	5.1	
1	二	(2)	○			漢字を書く（三人の子どもをやしなう）	前学年までに配当されている漢字を正しく書く				3・4 (1) ウ(7)			○		○		80	60.0	11.6	
1	三	(1)	○			漢字の成り立ちについて、適切なものを選ぶ	漢字の成り立ち、変化などについて正しく理解する				(1) ウ(7)			○	○			80	78.7	0.4	
1	三	(2)	○			文章に使われる言葉の使い方としてふさわしいものを選ぶ	語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつ				(1) イ(4)			○	○			70	62.4	0.1	
1	四		○			慣用句の使い方としてふさわしいものを選ぶ	慣用句の意味と使い方を正しく理解する				3・4 (1) ア(7)			○	○			70	30.9	0.4	
1	五	(1)	○			ローマ字を読む（zisyaku）	濁音・拗音の含まれたローマ字表記を正しく読む				3・4 (1) ウ(7)			○		○		70	87.6	5.0	
1	五	(2)	○			ローマ字を書く（九州）	拗音・長音の含まれた固有名詞をローマ字で正しく書く				3・4 (1) ウ(7)			○		○		70	47.8	6.4	
1	六	(1)	○			【体育委員会の提案の一部】の内容としてふさわしいものを選ぶ	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す	イ				○			○			70	93.6	0.2	
1	六	(2)	○			体育委員会からの提案の聞き方を説明しているものを選ぶ	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどとして考えをまとめる	エ				○			○			70	80.3	0.4	
1	七		○			物語の一部に入る人物の名前の組み合わせとしてふさわしいものを選ぶ	物語の登場人物の相互関係を捉える			エ				○		○		70	65.9	0.6	
2	一		○			伝記を読み、【資料1】に入る文としてふさわしいものを選ぶ	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える			ウ				○		○		70	90.1	0.4	
2	二	(1)	○			伝記を読み、【ノートの一部】に入るふさわしい内容を書く	目的に応じて、事実と感想、意見などの関係を押さえて要旨をまとめる			ウ				○		○		60	42.6	9.1	
2	二	(2)	○			伝記を読み、条件に合わせてすいせんの文章の一部を書く	事実と意見を区別することとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする		ウ	ウ				○	○		○	50	28.2	13.7	
3	一		○			【資料1】の表から分かる内容として適切なものを選ぶ	目的に応じて、複数の資料や文章などを選んで比べて読む			カ				○		○		60	57.0	4.1	
3	二		○			【資料2】の言葉を使って、リーフレットにふさわしい見出しを書く	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考える		イ					○		○		60	35.0	19.2	
3	三		○			三まいの写真の中から、リーフレットにしたい写真を選び、条件に合わせて選んだ理由を書く	目的に応じて、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く		エ	カ				○	○		○	50	37.0	16.5	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校国語における成果と課題】

		第4学年			第5学年		
		領域	問題番号	出題のねらい	領域	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	伝	1三(1) 79.3%	指示語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと	伝	1三(1) 78.7%	漢字の成り立ち、変化などについて正しく理解すること
		話	1六(1) 77.5%	相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと	話	1六(1) 93.6%	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと
	経年	伝	1四 83.2% H27 1四ア 80.6%	ことわざの意味と使い方を正しく理解すること	話	1六(2) 80.3% H27A 3 県 51.1% 全国 53.0%	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること
		書	1七 91.2% H27 1七 84.7%	相手や目的に応じて、文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと	読	2一 90.1% H27 2一 77.9%	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えること
課題	本年度	話	1六(2) 41.7%	話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること	伝	1二(2) 60.0%	前学年までに配当されている漢字を正しく書くこと 「三人の子どもをやしなう」
		読	3二 11.7%	目的に応じ、中心となる語や文を捉えること	書	3二 35.0%	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること
	経年	書	2二(2) 21.8% H26B 2二 県 29.0% 全国 26.9%	書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を挙げて書くこと	書	2二(2) 28.2% H28B 3三 県 56.6% 全国 57.7%	事実と意見を区別することとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること →P. 48 「小学校国語指導改善のポイント」へ
		書	3三 23.7% H27 3三 40.9%	目的や必要に応じて、グラフと記事を基に、自分の考えを書くこと	書	3三 37.0% H26 3 46.6%	目的に応じて、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと

【領域・内容】話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

今後さらに重点となる指導改善のポイント

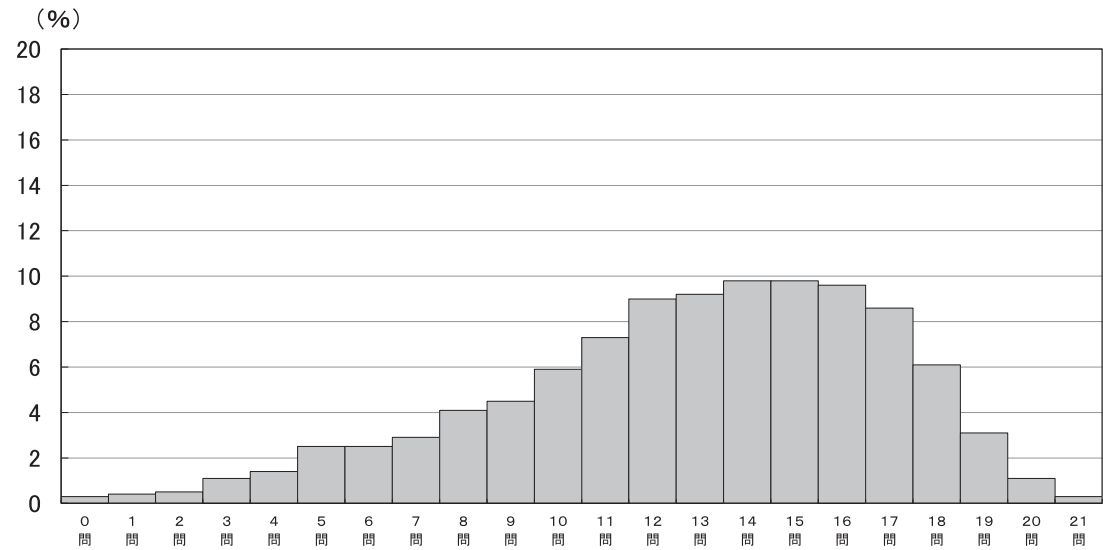
- 目的に応じて文章や資料を読み、中心となる語や文を捉えたり、必要な情報を取り出したり、事実と意見を区別したりするなど、読むことと書くことを複合させた指導が大切である。その際、記述の内容や仕方について具体的に示し、取り出した複数の情報を関係付ける手順や方法について、丁寧な指導を行うことが必要である。
- 図表やグラフを用いて、自分の考えを書かせる際には、情報を正しく読み取り、必要な情報について適切な言葉を用いて的確に表現することができるようにしていく指導が大切である。また、算数や社会など、他教科と関連させた指導も大切である。

(2) 小学校算数
【分類・区分別の状況】(第4学年算数)

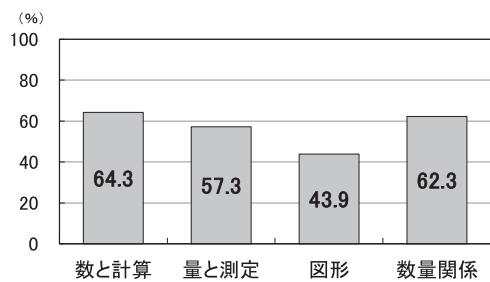
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,406	12.8 / 21	60.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.3
1問	0.4
2問	0.5
3問	1.1
4問	1.4
5問	2.5
6問	2.5
7問	2.9
8問	4.1
9問	4.5
10問	5.9
11問	7.3
12問	9.0
13問	9.2
14問	9.8
15問	9.8
16問	9.6
17問	8.6
18問	6.1
19問	3.1
20問	1.1
21問	0.3

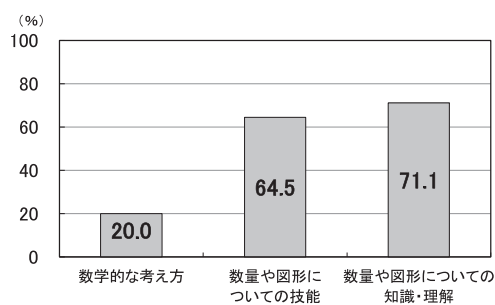
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



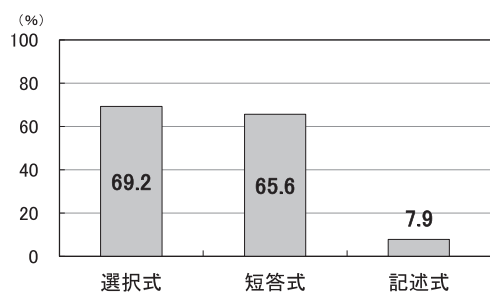
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



算数の平均正答率は60.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・示された情報から、方眼紙を半分に折って切って広げたときにできる図形が正方形となる理由を記述すること

[6(2) 正答率6.6%、無解答率24.0%]

(2) のぞみさんは、図1をもとに、点イの位置を変えると、どんな四角形ができるかを考えています。

図2のように、点工から4cmのところに点オをとり、方がん紙を半分におったまま辺アオ、辺ウオにそって切って広げたとき、正方形ができます。

正方形ができるわけを、右ページののぞみさんの説明のように考えました。8ページにある四角形の対角線の特ちょうと図2をもとに、のぞみさんの説明の㉗、㉘に入る説明を、言葉と数を使って書きましょう。

のぞみさんの説明

四角形の対角線の特ちょう①について

切って広げたときにできる四角形の1つの対角線アウの長さは、直線アエと直線エウの長さともに4cmなので、8cmです。もう1つの対角線の長さは、

㉗

このことから、2本の対角線の長さは等しいです。

四角形の対角線の特ちょう②について

点工は、

㉘

また、点工は折り目にとった点なので、点工はもう1つの対角線の真ん中の点になります。このことから、2本の対角線は、それぞれの真ん中の点工で交わります。

四角形の対角線の特ちょう③について

直線エウと直線エオは、垂直に交わっています。このことから、2本の対角線は垂直に交わります。

四角形の対角線の3つの特ちょうの①、②、③をすべていえたので、切って広げたときにできる四角形は、正方形だといえます。

※学習シート等との関連

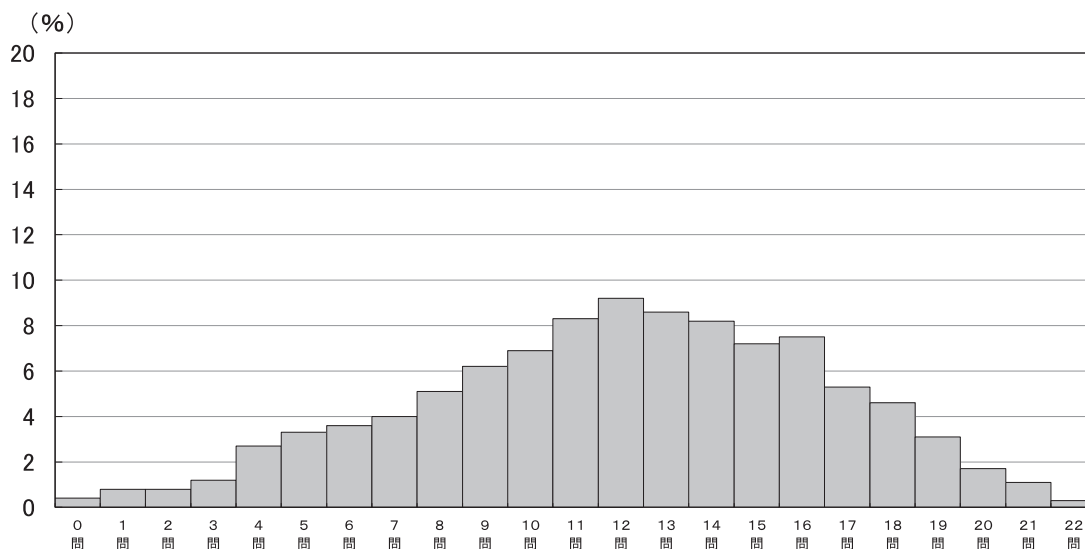
チャレンジ問題 第4学年 第2回 大問5

小学校算数
【分類・区分別の状況】(第5学年算数)

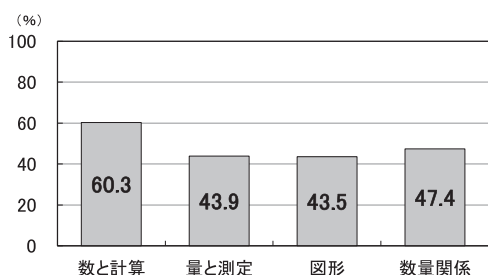
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,317	12.0 / 22	54.5

正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	0.8
2問	0.8
3問	1.2
4問	2.7
5問	3.3
6問	3.6
7問	4.0
8問	5.1
9問	6.2
10問	6.9
11問	8.3
12問	9.2
13問	8.6
14問	8.2
15問	7.2
16問	7.5
17問	5.3
18問	4.6
19問	3.1
20問	1.7
21問	1.1
22問	0.3

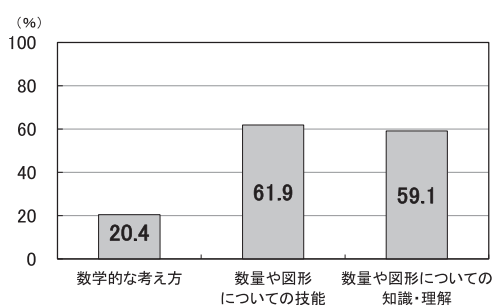
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



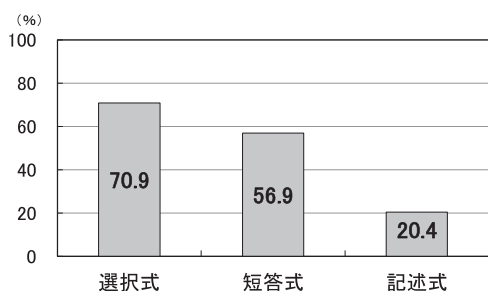
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



算数の平均正答率は54.5%で、例えば次のような課題が見られた。

・示された情報を基に、1グループ当たりの発表時間を求める方法を記述すること
[11(2) 正答率8.0%、無解答率20.3%]

11 しょうごさんの学級では、6年生を送る会に向けて、会場のかざりつけやプログラムの構成について考えています。

(2) プログラムの構成について、次のようなことが決まりました。

プログラムの構成

- 1 はじめのことば(3分)
- 2 7グループの発表
 - ①
 - ②
 - ③
 - ④
 - ⑤
 - ⑥
 - ⑦
- 3 おわりのことば(3分)

決まったこと

- ・全体の時間は、1時間半にする。
- ・はじめのことばとおわりのことばは、3分ずつにする。
- ・7グループが発表する。
- ・グループの発表は、出入りの時間が必要となるため、1グループあたりの発表時間を1.2倍に設定する。

しょうごさんは、決まったことをもとに、1グループあたりの発表時間を何分にすればよいかを考えています。

出入りの時間をのぞいた1グループあたりの発表時間は何分間になりますか。求め方を言葉と式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

※学習シート等との関連

チャレンジ問題 第5学年 第2回 大問5(3)

【設問別正答率】（第4学年算数）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		297×58のおよその答えとして、ふさわしいものをえらぶ	整数の乗法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	(2)アウ					○	○				80	76.0	0.5
1	(2)		○		400×6の計算のしかたを、4×6=24を使って考えるとき、ふさわしい言葉や数を書く	乗法に関して成り立つ性質を理解している	3(3)ウ					○		○			80	82.9	0.7
1	(3)		○		わり算の結果を、かけ算を用いてたしかめるとき、あてはまる数の組み合わせを書く	除法における計算の確かめの方法を理解している	3(4)イ 4(3)エ					○		○			80	87.8	1.1
1	(4)		○		$\frac{3}{4} + \frac{1}{4}$ を計算する	真分数の加法の計算をすることができる	3(6)ウ					○			○		90	92.1	0.5
1	(5)		○		8500÷50を計算する	除法の計算をすることができる	(3)ア (4)					○			○		90	58.5	3.0
1	(6)		○		34+6×8を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる				(2)ア		○			○		90	83.3	0.8
1	(7)		○		76.5-4.21を計算する	小数の減法の計算をすることができる	(5)イ					○			○		90	71.8	1.0
2			○		6.34と634の関係を説明する文に、ふさわしい数を書く	小数が整数と同じ仕組みで表されていることについて理解している	(5)ア						○		○		70	42.0	3.5
3			○		$\frac{2}{3}$ が黒くぬらされている正方形をえらぶ	分数の意味について理解している	3(6)ア						○	○			80	87.3	0.3
4			○		答えが、(100-20)×4の式でもとめられる問題をえらぶ	四則の混合した式の意味について理解している				(2)ア			○	○			80	69.9	0.4
5			○		6本の直線の中から、平行になっている直線を書く	直線の平行や垂直の関係について理解している			(1)ア				○		○		80	69.0	1.0
6	(1)		○		図1のように方かん紙を半分におったまま、切って広げたときにできる四角形の名前を書く	四角形の特徴を理解している			(1)アイ				○		○		80	56.0	7.5
6	(2)		○		図1から図2のように、点の位置を変え、切って広げたとき、正方形ができるわけを書く	示された情報から、方眼紙を半分に分けて切って広げたときにできる図形が正方形となる理由を記述できる			(1)アイ		○				○		60	6.6	24.0
7			○		午前10時30分までに図書館に着くために、そこまでにかかる時間から、家を出発する時刻をもとめる	日常生活の中で必要となる時刻を求めることができる	3(3)イ					○			○		80	66.1	2.1
8			○		分度器のめもりを読み、180°より大きい角の大きさをもとめる	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる			(2)アイ			○			○		70	57.3	1.5
9			○		かすみさんの考えをもとに、L字型の図形の面積をもとめる式を書く	示された考えを基に、複合図形の面積の求め方を式に表すことができる			(1)イ			○			○		70	61.9	4.4
10			○		ビー玉1この重さを□gとして、ビー玉の個数と重さの関係を図に表すとき、図の中に入る数の組み合わせをえらび、その関係を式に書く	示された場面における二つの数量の関係を図に表し、その関係を式に表すことができる	3(3)イ			3(2)イ		○			○		60	35.3	4.5
11	(1)		○		表の(ア)に入る数を書く	資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表すことができる				(4)ア		○			○		70	54.1	6.0
11	(2)		○		表の(イ)に入る数が表しているものをえらぶ	資料を2つの観点から分類整理した表に表された数量の意味を理解している				(4)ア			○	○			70	68.9	4.2
12	(1)		○		決められた時間の中で、3つのイベントに参加するための順番をえらぶ	示された情報を基に、参加するイベントの順番を筋道立てて考えることができる	3(3)イ					○			○		70	44.1	5.5
12	(2)		○		イベントへの参加の時間以外に50分間使ってもよいわけを書く	概数を用いた見積りの結果により、50分間行動することができる理由を記述できる	(2)アウ					○				○	50	9.2	22.8

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、-10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第5学年算数）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題	主として「知識」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		19.8×5.1の積を見積もるとき、その答えとしてふさわしいものを選ぶ	小数の乗法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることができる	3(3)ア 4(2)アウ					○	○				80	60.4	0.3
1	(2)		○		2.1÷0.07をわる数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数を書く	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している	4(3)エ 5(3)イウ					○		○			80	38.8	0.8
1	(3)		○		あまりのある小数のわり算の結果を確かめるとき、あてはまる数の組み合わせを書く	あまりのある除法における計算の確かめの方法を理解している	4(3)エ 5(3)イウ					○		○			80	81.4	1.1
1	(4)		○		6.4－0.4÷2を計算する	減法と除法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(5)イウ 5(3)ウ			4(2)ア		○		○			80	56.4	0.8
1	(5)		○		18.5×7.2を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	(3)イ					○		○			80	66.8	1.0
1	(6)		○		6.72÷3.2を計算する	小数の除法の計算をすることができる	(3)イ					○		○			80	81.5	1.6
1	(7)		○		$\frac{1}{4} + \frac{1}{6}$ を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができる	(4)オ					○		○			80	90.6	1.3
2			○		どのような数が偶数や奇数であるかを説明した文にあてはまる言葉の組み合わせを選ぶ	偶数・奇数について理解している	(1)ア					○	○				90	88.0	0.2
3	(1)		○		5mのリボンが10mのリボンの何倍かを求める式を書く	何倍かを求める場面で、除法が用いられることを理解している	(3)ア					○		○			70	50.2	1.3
3	(2)		○		長さ2mのテープを3等分したときの1つ分の長さを分数で表す	整数の除法の商を分数で表すことを理解している	(4)イ					○		○			80	44.7	3.4
4	(1)		○		四角形を4つの三角形に分けたときの図をもとに、四角形の4つの角の大きさの和の求め方を説明する	四角形の四つの角の大きさの和が360°になることを、三角形の三つの角の大きさの和が180°であることを基に記述できる			(1)ウ		○			○			60	22.6	10.9
4	(2)		○		三角形の3つの角の大きさの和を使って、六角形の6つの角の大きさの和を求める式を書く	多角形の角の大きさの和の求め方を理解している			(1)ウ			○		○			70	63.2	5.9
5	(1)		○		1㎡のかんばんに色をぬるために必要なペンキの量を口として、かんばんの面積とペンキの量の関係を図に表すとき、図の中に入る数の組み合わせを選ぶ	場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している	(3)ア	(4)ア				○	○				70	66.7	1.2
5	(2)		○		1㎡のかんばんに色をぬるために必要なペンキの量を求める式を書く	単位量当たりの大きさの求め方を理解している		(4)ア				○		○			80	29.7	6.4
6			○		5日間に飲んだ牛乳の量から、1日に平均何mL飲んだことになるのかを求める式を書く	○を含む平均の求め方を理解している	(3)ア					○		○			80	84.8	1.8
7			○		アの平行四辺形と面積が等しくなるものを選び、そのわけを書く	示された情報を基に、底辺と高さがそれぞれ等しいことを根拠に、二つの平行四辺形の面積が等しい理由を記述できる	(1)ア	4(1)ア			○			○			60	30.5	2.4
8			○		直方体の展開図を組み立てたとき、面Aに垂直な面をすべて書く	展開図で示された直方体の面と面の位置関係を理解している			4(2)アイ			○		○			80	68.3	2.7
9			○		三角形ABCと合同な三角形DEFをかくとき、頂点Fの位置を決めるために測る辺と角を書く	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している			(1)イ			○		○			70	33.0	8.9
10	(1)		○		ともなって変わる2つの量の関係を表した4つの表の中から、比例しているものすべてを選ぶ	比例の関係にあるときの二つの数量の変化を理解している			(1)ア			○	○				80	68.6	2.7
10	(2)		○		下じき1まいとえん筆を何本か買うとき、えん筆の本数を口本、代金の合計を○円として、口と○の関係を表す式を書く	伴って変わる二つの数量の関係を口や○を用いて、式に表すことができる			4(1)ア 4(2)ウ		○		○				70	14.4	11.3
11	(1)		○		花かざりの個数を求める式の中の700が何を表しているかを書く	乗法や除法を用いて表された式の中の数量の意味を理解している	3(3)イ 4(3)イ			4(2)ア		○		○			80	50.2	9.4
11	(2)		○		プログラムについて決まったことをもとに、1グループあたりの発表時間の求め方を説明する	示された情報を基に、1グループ当たりの発表時間を求める方法を記述できる	(3)アイ	3(3)イ			○			○			50	8.0	20.3

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校算数における成果と課題】

		第4学年			第5学年		
		問題番号	出題のねらい		問題番号	出題のねらい	
成果	本年度	計 ①(2)	82.9%	乗法に関して成り立つ性質を理解すること	計 ①(3)	81.4%	あまりのある除法における計算の確かめの方法を理解すること
		①(3)	87.8%	除法における計算の確かめの方法を理解すること	②	88.0%	偶数・奇数について理解すること
		③	87.3%	分数の意味について理解すること			
	経年	数 ①(6) H25 ①(5) 県 77.5%	83.3%	加法と乗法の混合した整数の計算をすること	計 ①(6) H26 ①(5) 県 69.8%	81.5%	小数の除法の計算をすること
					図 ⑧ H25 ⑤(2) 県 56.1%	68.3%	展開図で示された直方体の面と面の位置関係を理解すること
課題	本年度	計 ②	42.0%	小数が整数と同じ仕組みで表わされていることについて理解すること	計 ①(2)	38.8%	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解すること
		⑫(2)	9.2%	概数を用いた見積りの結果により、50分間行動することができる理由を記述すること	計 ⑪(2) 量	8.0%	示された情報を基に、1グループ当たりの発表時間を求める方法を記述すること
		量 ⑫(1)	44.1%	示された情報を基に、参加するイベントの順番を筋道立てて考えること	量 ⑤(2)	29.7%	単位量当たりの大きさの求め方を理解すること
	経年	図 ⑥(2)	6.6%	示された情報から、方眼紙を半分に折って切って広げたときにできる図形が正方形となる理由を記述すること →P.50「小学校算数指導改善のポイント」へ	図 ④(1)	22.6%	四角形の四つの角の大きさの和が360°になることを、三角形の三つの角の大きさの和が180°であることを基に記述すること
		計 ⑩ 数 H27 ⑤ 県 59.2%	35.3%	示された場面における二つの数量の関係を図に表し、その関係を式に表すこと	量 ⑦ 図 H27 ⑧(2) 県 22.9%	30.5%	示された情報を基に、底辺と高さがそれぞれ等しいことを根拠に、2つの平行四辺形の面積が等しい理由を記述すること
					図 ⑨ H27 ⑦(1) 県 56.1%	33.0%	合同な三角形をかくために必要な条件を理解すること
					数 ⑩(2) H27 ⑪(2) 県 36.9%	14.4%	伴って変わる二つの数量の関係を□や○を用いて、式に表すこと

【領域・内容】計：数と計算、量：量と測定、図：図形、数：数量関係

今後さらに重点となる指導改善のポイント

○二つの数量の関係を正しく捉えることができるようにするために、示された情報を図に表し、数量の関係を整理する活動を取り入れることが大切である。その図を基に、式を立てたり、式の意味を説明させたりすることも大切である。

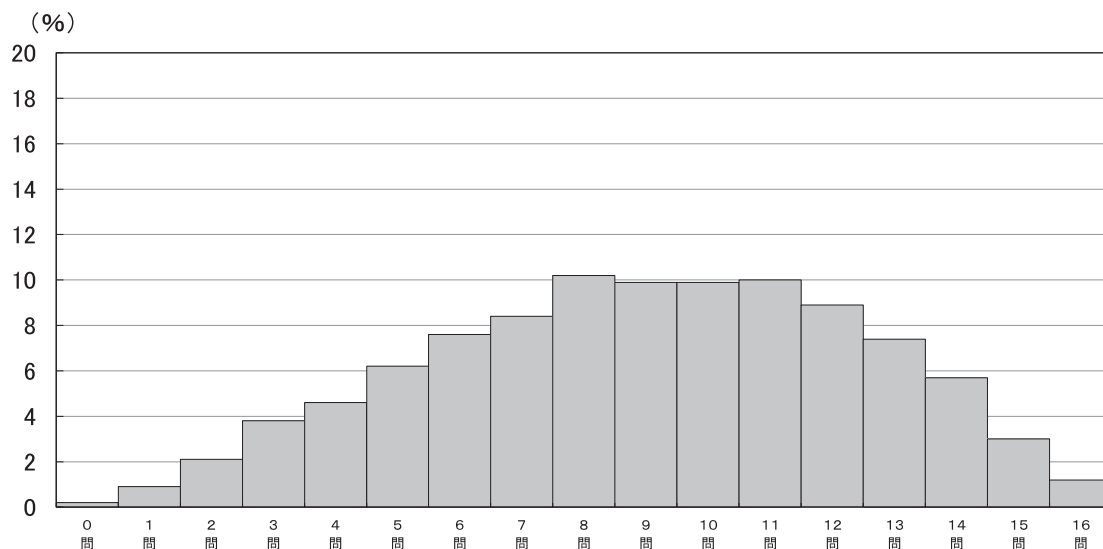
○示された情報の中から、問題を解決するために、必要な情報を取り出し、その情報をどのように用いるかを考えるなど、見通しをもって学習を進めることが大切である。

(3)小学校理科
【分類・区分別の状況】(第5学年理科)

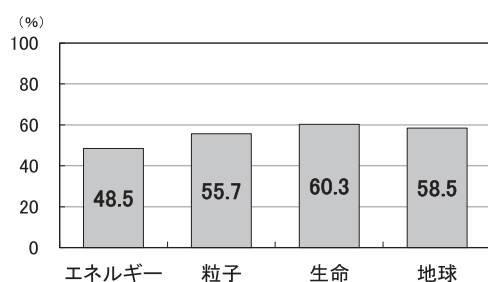
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	5,332	9.0 / 16	56.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.9
2問	2.1
3問	3.8
4問	4.6
5問	6.2
6問	7.6
7問	8.4
8問	10.2
9問	9.9
10問	9.9
11問	10.0
12問	8.9
13問	7.4
14問	5.7
15問	3.0
16問	1.2

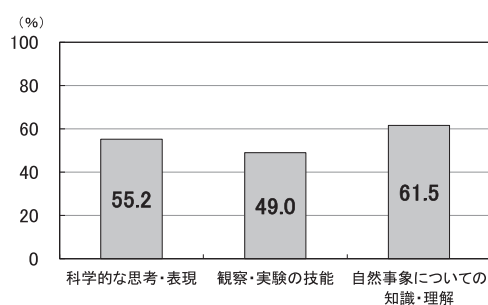
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



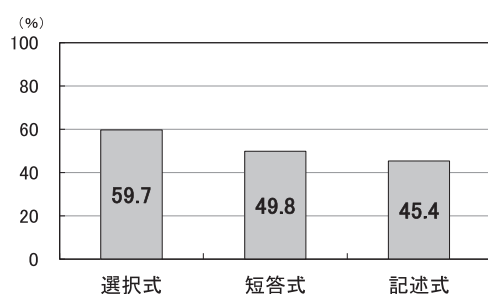
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は56.0%で、例えば次のような課題が見られた。

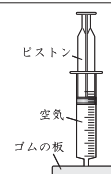
・閉じ込めた空気を押し縮めたときの体積変化と押し返す力とを関係付けて捉え、空気鉄砲の前玉が飛ぶ仕組みに当てはめて考察し、記述すること

[4(1) 正答率42.0%、無解答率3.8%]

あきこさんたちは、空気でっぼうの前玉が飛びしきりに空気が関係しているのではないかと考え、科学教室の先生に相談し、空気でっぼうの代わりにプラスチックの注し器を使って、次の実験をしました。

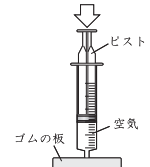
【実験】

- ① 注し器の中に空気が入るようにしてピストンをさしこむ。
- ② 中の空気がもれないように、注し器の先をゴムの板におしつける。
- ③ 上からピストンをゆっくりおして、手ごたえを確かめる。
- ④ ピストンをおせるだけおしたあと、手をはなす。



【結果】

- ・ピストンをおすと下がっていった。
- ・ピストンをおし下げるほど、手ごたえが大きくなった。
- ・ピストンをおしていた手をはなすと、ピストンは元の位置にもどった。



【わかったこと】

- ・とじこめた空気をおすと、空気はおしちめられて、体積が小さくなる。
- ・とじこめた空気をおして、体積が小さくなるほど、元にもどろうとする力は大きくなる。

- (1) あきこさんは、【わかったこと】をもとに、空気でっぼうの前玉が飛びしきりに飛ぶについて、考えをまとめました。そのしくみを、「おしほうで後玉をおすと、」に続けて書きましょう。

おしほうで後玉をおすと、

【設問別正答率】（第5学年理科）

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				科学的な思考・表現	評価の観点 観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	問題形式			期待正答率（％）	高知県	
大問	小問						エネルギー	粒子	生命	地球				選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		こん虫の成虫の体のつくりの持ちようとして正しいものを選ぶ	昆虫の成虫の体のつくりの特徴を理解している			3 (1)ア			○	○			90	80.2	0.0	
1	(2)		○		おばなの花粉がある部分の名前を書く	おしべに花粉があることを理解している			(1)エ			○		○		80	50.2	3.3	
1	(3)		○		けんび鏡の適切なそう作を選ぶ	顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている			(1)エ		○		○			80	57.0	0.1	
1	(4)		○		ツルレイシが受粉すると実ができることを確かめるための、最も適切な実験方法を選ぶ	植物の受粉と結実の関係を調べる実験を構想できる			(1)エ		○		○			70	60.9	0.1	
1	(5)		○		ツルレイシの種子をしゅうかくした時期のこん虫や植物のようすを表しているものを選ぶ	動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している			4 (2)アイ			○	○			70	53.4	0.3	
2	(1)		○		ゴムをねじった回数とゴム車の進んだきよりの関係を示すグラフから、ゴム車をひいたりエリアの中に止めるためのゴムをねじる回数を選ぶ	ゴムをねじる回数についてグラフから分析して、予測することができる	3 (2)イ				○		○			70	53.1	0.2	
2	(2)		○		メリーゴーラウンドの回転の向きを変え、回転する速さをより速くするためのかん電池の適切なつなぎ方を選ぶ	乾電池の数やつなぎ方を変えると、回路に流れる電流の強さや電流の向きが変わることを利用して、メリーゴーラウンドの回転する向きや速さを変えることについて、試行した結果を基に改善できる	4 (3)ア				○		○			70	50.3	0.3	
2	(3)		○		ワニの口に、ぼう磁石につけた肉を入れたときだけみつくようにするとき、ワニの口の中への磁石のつけ方を選ぶ	磁石の異極は引き合い、同極は退け合う性質を、物がとじる仕組みに当てはめて考えることができる	3 (4)イ				○		○			80	41.7	0.4	
2	(4)		○		磁石の性質を利用した機械について、㊸の箱と㊹の箱には、スチールのかんとアルミニウムのかんのどちらが入るかを書き、その理由を書く	物には、磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを、物質の選別に当てはめて考え、その内容を記述できる	3 (4)ア				○			○		60	48.7	2.4	
3	(1)		○		方位磁針の正しい使い方を選び、1月21日午後6時の月の方位を書く	方位磁針の適切な操作方法を身に付けている			4 (4)アウ		○			○		80	45.0	0.5	
3	(2)		○		同日の夜（午後8時）に見られる月の形と位置を示した図を選ぶ	月は1日のうちでも時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解している			4 (4)ア			○	○			70	69.4	0.4	
3	(3)		○		オリオンざの動くようすがわかるものになる情報を選ぶ	星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている			4 (4)ウ		○		○			80	45.0	0.4	
3	(4)		○		オリオンざの動きや星の並び方を選ぶ	星座の動きや星の並び方について、観察記録を基に考察できる			4 (4)ウ		○		○			80	74.4	0.9	
4	(1)		○		実験結果からわかったことをもとに、空気でっぼうの前玉が飛びしゅくみについて書く	閉じ込めた空気を押し縮めたときの体積変化と押し返す力とを関係付けて捉え、空気鉄砲の前玉が飛びしゅくみに当てはめて考察し、記述できる	4 (1)アイ				○			○		60	42.0	3.8	
4	(2)		○		実験結果をもとに、空気でっぼうに水を入れたときに前玉があまり飛ばない理由について、当てはまる言葉を書く	閉じ込めた水は圧しても体積は変わらないことを理解している	4 (1)イ					○		○		70	54.3	3.7	
4	(3)		○		注しや器の中に空気と水の体積を変えていっしょにとじこめたとき、ピストンを一番大きくおし下げることができる注しや器の図を選ぶ	閉じ込めた空気と水の性質を基に、ピストンを一番大きくおし下げることができるものを、閉じ込めた空気の量に着目して考えることができる	4 (1)アイ				○		○			80	70.7	1.1	

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【小学校理科における成果と課題】

		第5学年		
		領域・内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	生	1(1) 80.2%	昆虫の成虫の体のつくりの特徴を理解すること
		粒	4(3) 70.7%	閉じ込めた空気と水の性質を基に、ピストンを一番大きくおし下げることができるものを、閉じ込めた空気の量に着目して考えること
	経年	生	1(3) 57.0% H27 全国 2(4) 県 42.2% 全国 37.9%	顕微鏡の適切な操作方法を身に付けること
		地	3(4) 74.4% H27 全国 4(4) 県 61.7% 全国 65.0%	星座の動きや星の並び方について、観察記録を基に考察すること
課題	本年度	工	2(2) 50.3%	乾電池の数やつなぎ方を変えると、回路に流れる電流の強さや電流の向きが変わることを利用して、メリーゴーラウンドの回転する向きや速さを変えることについて、試行した結果を基に改善すること
			2(3) 41.7%	磁石の異極は引き合い、同極は退け合う性質を、物がとじる仕組みに当てはめて考えること
			2(4) 48.7%	物には、磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを、物質の選別に当てはめて考え、その内容を記述すること
	経年	粒	4(1) 42.0%	閉じ込めた空気を押し縮めたときの体積変化と押し返す力とを関係付けて捉え、空気鉄砲の前玉が飛ぶ仕組みに当てはめて考察し、記述すること →P. 52「小学校理科指導改善のポイント」へ
		地	3(1) 45.0% H27 3(1) 県 45.0% 3(3) 45.0% H27 全国 4(3) 県 50.5% 全国 55.3%	方位磁針の適切な操作方法を身に付けること 星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けること

【領域・内容】工：エネルギー、粒：粒子、生：生命、地：地球

今後さらに重点となる指導改善のポイント

ポイント1

月や星の動きと時間の経過との関係を捉えるために、定点観察の方法を身に付け、適切に記録することができるようにする指導の充実

- 月や星などの観察や記録の方法について話し合うことを通して、基準を設ける必要性を見いだし、適切な方法を捉えさせる。
- 観察する機会と時間を保障し、記録した月や星などの動きが同じであるかどうかを確認し合わせる。

※方位磁針の操作については、課題が見られる。観察、実験の器具について、操作の意味を捉え、適切な扱い方を理解し、身に付ける指導の充実を図りましょう。

ポイント2

試行した結果を基に予想や計画と違う原因を考え、改善しながらものづくりができるようにする指導の充実

- 予想や計画どおりの動きや働きにならない場合、原因として考えられる要因を抽出し、条件を制御しながら点検、改善させる。
- 観察、実験においても、予想が結果と一致しなかった場合、予想を振り返ったり、再検討したりすることで、自分の考えをより妥当なものへ改善させる。

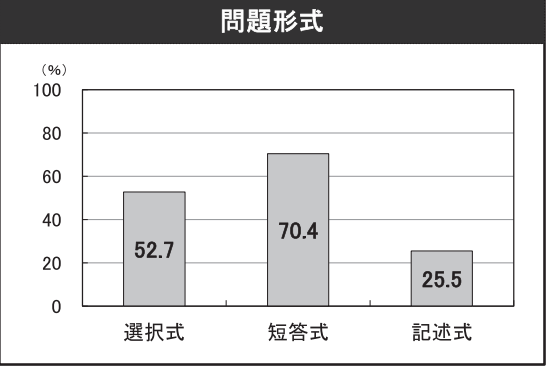
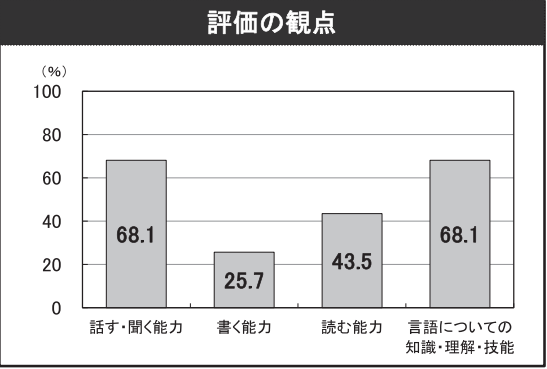
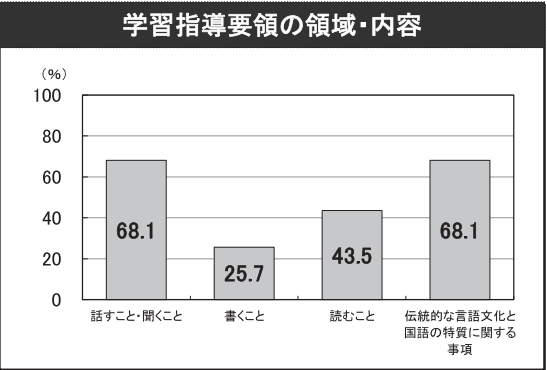
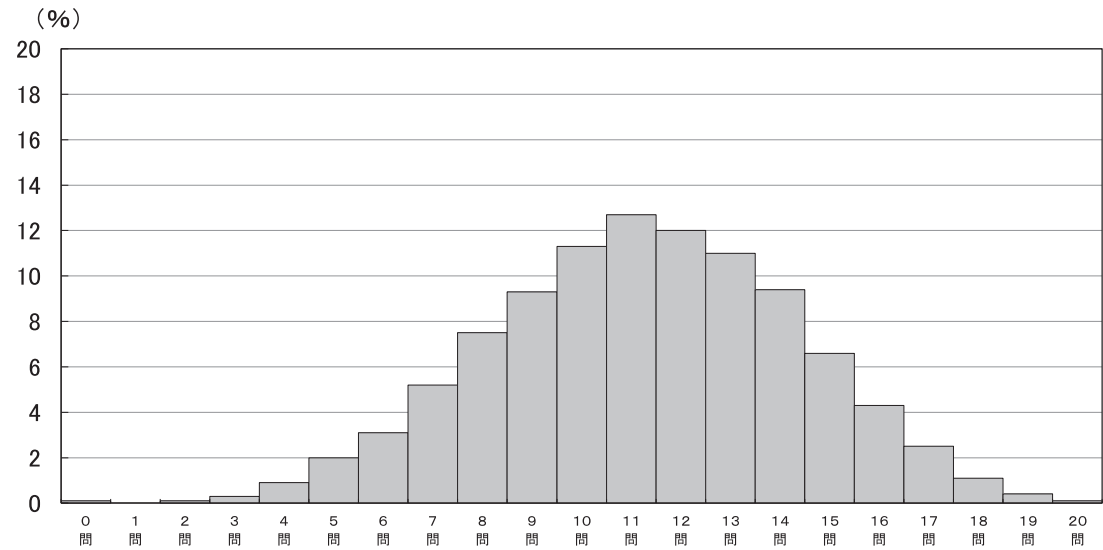
* 2(2)について、乾電池の数を増やしたときの電気の働きの変化や、直列つなぎや並列つなぎにおける導線や乾電池のつなぎ方について、十分理解できていない場合は、適切な手立てを講じましょう。

(4) 中学校国語
【分類・区分別の状況】(第1学年国語)

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,451	11.2 / 20	56.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.0
2問	0.1
3問	0.3
4問	0.9
5問	2.0
6問	3.1
7問	5.2
8問	7.5
9問	9.3
10問	11.3
11問	12.7
12問	12.0
13問	11.0
14問	9.4
15問	6.6
16問	4.3
17問	2.5
18問	1.1
19問	0.4
20問	0.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



国語の平均正答率は 56.2%で、例えば次のような課題が見られた。
・文の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
[3三 正答率 20.5%、無解答率 8.1%]

学習指導要領の領域・内容

話すこと・聞くこと 68.1%

書くこと 25.7%

読むこと 43.5%

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 68.1%

評価の観点

話す・聞く能力 68.1%

書く能力 25.7%

読む能力 43.5%

言語についての知識・理解・技能 68.1%

問題形式

選択式 52.7%

短答式 70.4%

記述式 25.5%

国語の平均正答率は 56.2%で、例えば次のような課題が見られた。

・文の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

[3三 正答率 20.5%、無解答率 8.1%]

国語の平均正答率は 56.2%で、例えば次のような課題が見られた。

・文の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

[3三 正答率 20.5%、無解答率 8.1%]

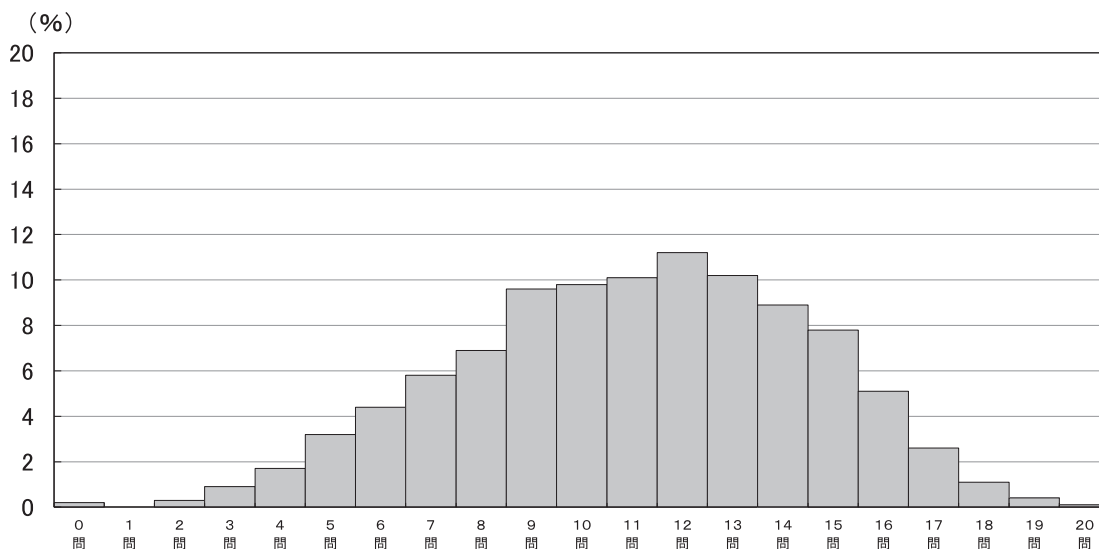
※学習シート等との関連
国語学習シート No.10・33・63
国語課題克服指導資料集 中B1

中学校国語
【分類・区分別の状況】(第2学年国語)

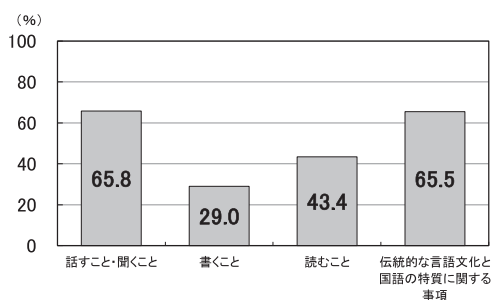
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,437	11.0 / 20	55.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.0
2問	0.3
3問	0.9
4問	1.7
5問	3.2
6問	4.4
7問	5.8
8問	6.9
9問	9.6
10問	9.8
11問	10.1
12問	11.2
13問	10.2
14問	8.9
15問	7.8
16問	5.1
17問	2.6
18問	1.1
19問	0.4
20問	0.1

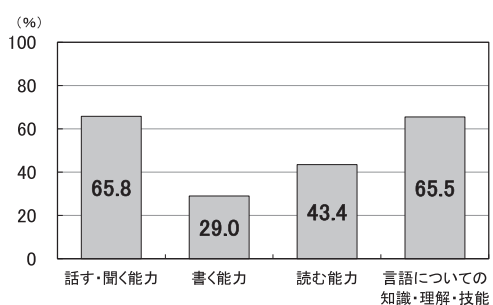
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



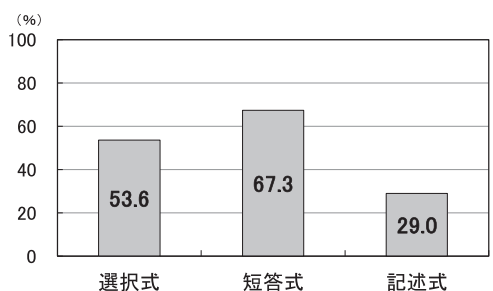
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

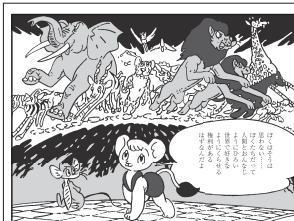


国語の平均正答率は55.2%で、例えば次のような課題が見られた。

・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
[3三 正答率27.4%、無解答率18.7%]

ア 動物の生存の権利を守るために、人間はどのように動物と関わっていく必要があると思うが、あなたの考えを、動物の生存の権利を守るためには、…必要がある」という形で、「一文で書きなさい」。

イ アのように考えた理由で、本文中の「線部⑨」「後位」と「資料の一部」の二つの言葉を使って、八十字以上、百字以内で書きなさい。



「ジャングル大帝」(手塚治虫)より

特定の動物がらややされる一方で、例えばうち捨てられた動物園の動物たちが殺されたり、三原山の噴火で置き去りにされた動物が餓死したり、というニュースが毎日マスコミにきこれる。人間本位の「人間に牛耳られた世界では、他の生き物は生存の権利を失うのだ。多くの「ジャングル大帝」では、その矛盾を強調したかった。だが、そういう悲しむべき状況にもかかわらず、自然保護や愛護の運動が根強く続いていることは、人間のすばらしさを感じさせる。生物の、生きるための関わり合いの中で、人間一人一人もその責任を担う自覚が湧きこないことは、まことに喜ばしい。

(三原章「手塚治虫」この小さな地球の上で)による

三 次は池上さきが本文中の「線部」「動物の生存の権利や自然の価値」として人間と動物の関係を「興味をもつて調べた資料の一部」です。「線部」に「人間本位の、人間に牛耳られた世界では、他の生き物は生存の権利を失うのだ」とありますが、動物の生存の権利を守るために、人間はどのように動物と関わっていくと思いますか。あとのア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

【資料の一部】

※学習シート等との関連

国語学習シート No.10・12・23・46・50・66

国語学習シート活用事例集 P. 13～16

国語指導改善資料集 P. 28～35

【設問別正答率】（第1学年国語）

問題番号				主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			期待正答率（％）	高知県	
大問	小問		話すこと・聞くこと				書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）		無解答率（％）	
1	一	(1)	○		漢字を書く （公正にサイパンをする）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1) ウ(イ)			○	○		80	50.3	17.2		
1	一	(2)	○		漢字を書く （不安を取りノゾく）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1) ウ(イ)			○	○		80	60.5	19.4		
1	二	(1)	○		漢字を読む （学級の合奏を指揮する）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1) ウ(イ)			○	○		80	92.5	1.2		
1	二	(2)	○		漢字を読む （ごみを捨てる）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1) ウ(イ)			○	○		80	99.4	0.2		
1	三	ア	○		適切な語句を選ぶ （彼は、はっきり言わずに口をにこした）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1) イ(ウ)			○	○		80	47.5	0.4		
1	三	イ	○		適切な語句を選ぶ （事件の対策を講じる）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1) イ(ウ)			○	○		80	64.3	0.3		
1	三	ウ	○		適切な語句を選ぶ （「突然の再会に妹はとても驚いていたが、うれしそうだった。」の「とても驚いていたが」は、接続型である）	単語の類別について理解する				(1) イ(ロ)			○	○		70	34.6	1.1		
1	四		○		行書で書いた漢字「責」を楷書で書く	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く				(2) イ			○	○		80	97.0	1.5		
1	五	(1)	○		歴史的仮名づかい「喰ひたい」を現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				(1) ア(ウ)			○	○		80	66.8	2.2		
1	五	(2)	○		古文と現代語訳とを対応させ、現代語訳の言葉の組み合わせとして適切なものを選ぶ	文章の展開に即して内容を読み取る			ウ				○	○		70	51.6	0.2		
1	六	(1)	○		質問の意図を説明したものとして適切なものを選ぶ	必要に応じて質問しながら聞き取る	エ				○			○		80	77.2	0.2		
1	六	(2)	○		話の内容を確かめる話し方として適切なものを選ぶ	相手が伝えた内容を確認しながら、相手に分かりやすい質問の仕方をする	エ				○			○		80	58.9	0.2		
1	七	(1)	○		文章中の表現から考えられる登場人物の心情として適切なものを選ぶ	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			ウ				○	○		70	61.0	0.3		
1	七	(2)	○		文章の表現の特徴について説明したものとして適切なものを選ぶ	文章の表現の特徴を捉える			エ				○	○		70	49.9	1.0		
2	一		○		文章の内容について説明したものとして適切なものを選ぶ	文章を読んで、構成や展開を捉える			エ				○	○		70	39.2	0.5		
2	二		○		文章中の語句の意味として当てはまらないものを選ぶ	文脈の中における語句の意味を理解する			ア				○	○		70	68.7	0.4		
2	三		○		坂本龍馬が勝海舟を生涯の師としたのはなぜか、本文中の内容を取り上げて自分の考えを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを書く		ウ	オ				○	○		50	30.5	18.9		
3	一		○		【書き直すポイント】として適切なものを選ぶ	複数の資料を比較して読み、内容を捉える			イ				○	○		70	26.9	1.0		
3	二		○		パンフレットの内容を外国人に分かりやすい表現に書き直す	表記や語句の用法などを確かめて、分かりやすい文章に書き換える		エ					○		○	60	26.1	12.9		
3	三		○		二つの題名から一つ選び、その題名を選んだ理由を【書き直すポイント】の1から5までの内容から引用して書く	文の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く		ウ	エ				○	○		40	20.5	8.1		

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年国語）

問題番号				主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			期待正答率（％）	高知県	
大問	小問		話すこと・聞くこと					書くこと	読むこと	伝統的な言語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）		無解答率（％）	
1	一	(1)	○			漢字を書く （友人とは <u>ソントク</u> 抜きで付き合う）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1) ウ(イ)			○	○		80	61.6	17.4		
1	一	(2)	○			漢字を書く （野菜を <u>キザ</u> む）	文脈に即して漢字を正しく書く				(1) ウ(イ)			○	○		80	74.9	13.8		
1	二	(1)	○			漢字を読む （登山の <u>装備</u> を点検する）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1) ウ(イ)			○	○		80	97.6	0.6		
1	二	(2)	○			漢字を読む （ <u>圭</u> のベルトを買う）	文脈に即して漢字を正しく読む				(1) ウ(イ)			○	○		80	94.1	1.3		
1	三	ア	○			適切な語句を選ぶ （明かりを <u>採</u> るための窓）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				(1) イ(イ)			○	○		70	45.6	0.5		
1	三	イ	○			適切な語句を選ぶ （先生からの質問に、間髪を <u>いれず</u> 答えた）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1 (1) イ(イ)			○	○		70	47.1	0.4		
1	三	ウ	○			適切な語句を選ぶ （母の友人から、「お母さんはいらっしゃいますか。」と聞かれたときに最も <u>ふさわしい</u> 返事は、「 <u>おります</u> 。」である）	敬語の働きについて理解する				(1) イ(イ)			○	○		80	55.7	0.2		
1	四		○			はがきの表面の下書きから、どのようなことに気をつけて <u>清書</u> を書いたのかを説明したものと適切なものを選ぶ	文字の大きさ、配列などに注意して書く				(2) ア			○	○		80	65.3	0.2		
1	五	(1)	○			歴史的仮名づかい「枝はなほ」を現代仮名づかいに直す	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1 (1) ア(イ)			○	○		80	69.4	5.0		
1	五	(2)	○			詩「椰子の実」の特徴について説明したものと適切なものを選ぶ	表現の技法について理解する				1 (1) イ(イ)			○	○		70	43.5	0.6		
1	六	(1)	○			話し手がどのような考えをもっているのかを説明したものと適切なものを選ぶ	話の展開に注意して聞き、自分の考えと比較する	エ				○			○		80	51.7	0.4		
1	六	(2)	○			話し合いを進行させるための司会の工夫を説明したものと適切なものを選ぶ	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1オ				○			○		80	79.8	0.4		
1	七	(1)	○			鑑賞文の段落の構成について、段落を入れ替えた理由として適切なものを選ぶ	書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする		エ			○			○		80	51.8	0.5		
1	七	(2)	○			友人からももらったアドバイスの内容として当てはまる言葉を書く	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す		オ			○			○		60	6.3	14.6		
2	一		○			【A 雑誌の文章の一部】の説明として適切なものを選ぶ	資料を読み、要旨を捉える			1イ			○		○		70	61.5	1.0		
2	二		○			三つの資料の内容を整理した付せんとして適切なものを選ぶ	複数の資料から必要な情報を読み取る			1カ			○		○		70	35.0	0.9		
2	三		○			睡眠の質を高めるための二つの標語から一つ選び、その標語を選んだ理由を資料の内容を取り上げて書く	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄を書く		ウ	オ		○	○			○	40	30.7	5.2		
3	一		○			本文中の語句が表している内容を説明したものと適切なものを選ぶ	抽象的な概念を表す語句に注意して読む			ア			○		○		70	43.5	2.8		
3	二		○			文章の内容が述べられている順序として適切なものを選ぶ	叙述の順序を捉え、内容を理解する			イ			○		○		70	62.2	3.4		
3	三		○			動物の生存の権利を守るために、人間はどのように動物と関わっていったらよいか、自分の考えを書き、そのように考えた理由を「優位」と「責任」の二つの言葉を使って書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	エ		○	○			○	40	27.4	18.7		

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校国語における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		問題番号	出題のねらい	問題番号	出題のねらい		
成果	本年度	伝 1二 (2) 99.4%	文脈に即して漢字を正しく読むこと ごみを捨てる	伝 1二 (1) 97.6%	文脈に即して漢字を正しく読むこと 登山の装備を点検する		
	経年	伝 1四 97.0% H27 1四 県 95.3%	漢字の楷書と行書との違いを理解して書くこと	伝 1四 65.3% H27 1四 県 43.6%	文字の大きさ、配列などに注意して書くこと		
		伝 1五 (1) 66.8% H27 1五 (1) 県 36.7%	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと	話 1六 (2) 79.8% H26A 6二 県 71.8% 全国 76.0%	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすこと		
		話 1六 (1) 77.2% H27A 8二 県 71.8% 全国 76.1%	必要に応じて質問しながら聞き取ること				
	本年度	伝 1三ウ 34.6%	単語の類別について理解すること 「とても驚いていたが」は、接続部である。	書 1七 (2) 6.3%	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直すこと		
		読 2一 39.2%	文章を読んで、構成や展開を捉えること	読 3一 43.5%	抽象的な概念を表す語句に注意して読むこと		
課題	経年	書 2三 30.5% H26 2三 県 21.5%	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを書くこと	読 2二 35.0% H25B 3二 県 67.6% 全国 70.2%	複数の資料から必要な情報を読み取ること		
		読 3一 26.9% H27 3一 県 62.1%	複数の資料を比較して読み、内容を捉えること	書 2三 30.7% H27B 2三 県 21.2% 全国 23.0%	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄を書くこと		
		書 3二 26.1% H27 3二 県 52.5%	表記や語句の用法などを確かめて、分かりやすい文章に書き換えること	書 3三 27.4% H26 2二 県 15.8%	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、根拠を明確にして自分の考えを書くこと →P. 54「中学校国語指導改善のポイント」へ		
		書 3三 20.5% H27 3三 県 21.2%	文の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くこと				

【領域・内容】 話：話すこと・聞くこと、書：書くこと、読：読むこと、伝：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

今後さらに重点となる指導改善のポイント

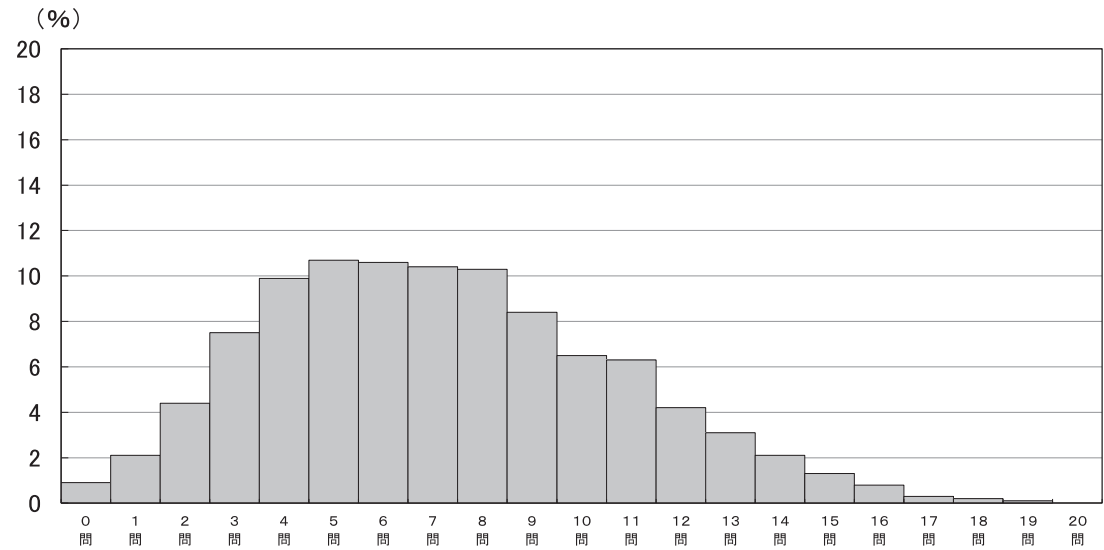
- 日常生活で使うことが少ない語句や誤った意味で使われやすい言葉、使い分けが紛らわしい言葉を指導する際には、語句の意味や用法を具体的な場面と合わせながら学習させることが大切である。
- 目的に応じて情報を関連付けて考えることができるようにするために、資料を読む際には、線を引いたりメモを取ったりしながら、正しく内容を理解して、整理することができるように指導することが大切である。
- 根拠を明確にして自分の考えを書いたり、説明をしたりするなどの学習活動では、根拠として示した内容が適切かどうか吟味する指導が必要である。

(5) 中学校社会
【分類・区別の状況】(第1学年社会)

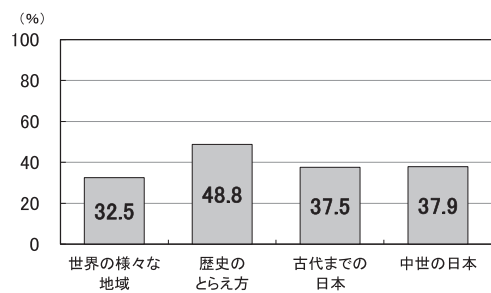
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,452	7.2 / 20	35.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	2.1
2問	4.4
3問	7.5
4問	9.9
5問	10.7
6問	10.6
7問	10.4
8問	10.3
9問	8.4
10問	6.5
11問	6.3
12問	4.2
13問	3.1
14問	2.1
15問	1.3
16問	0.8
17問	0.3
18問	0.2
19問	0.1
20問	0.0

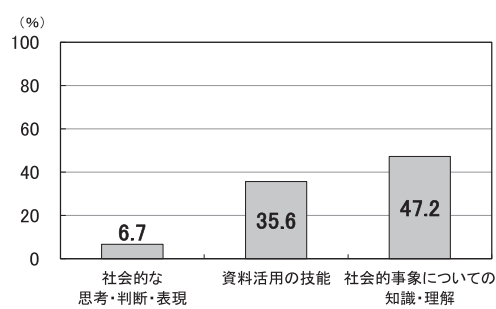
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



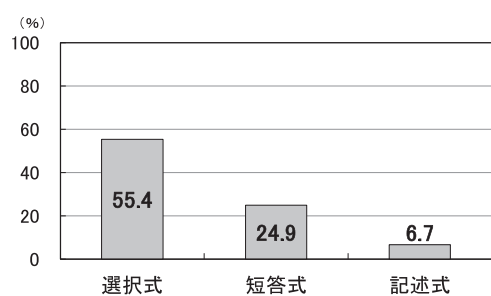
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



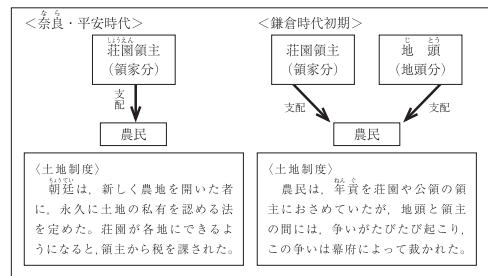
社会の平均正答率は35.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、武士による支配の広がりについて考察し、説明すること

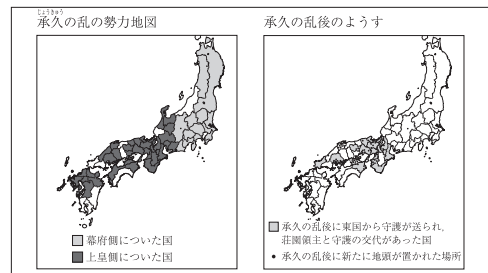
[8(2) 正答率4.3%、無解答率24.5%]

(2) 小川さんは、【資料1】、【資料2】をもとに、鎌倉幕府の力が強まった理由を、下のようにまとめました。【資料2】をもとに、幕府の力が強まったといえる理由として、【まとめ】の②に当てはまる適切な内容を書きなさい。

【資料1】



【資料2】



【まとめ】

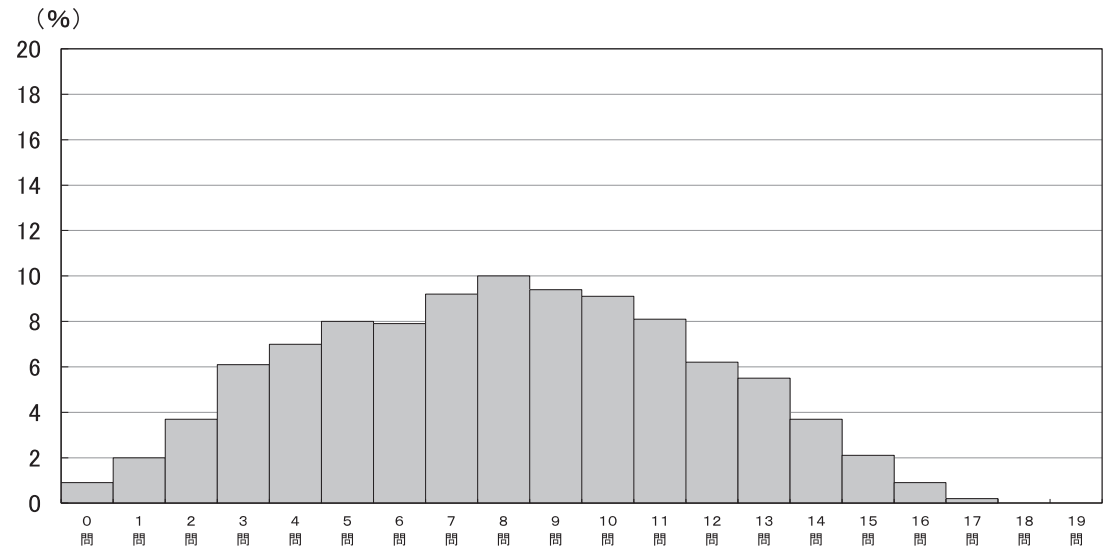
【資料1】から、鎌倉時代になると、農民は荘園領主だけでなく、将軍が家来に与える職である地頭にも支配されていることがわかる。
【資料2】から、承久の乱後、②に当てはまる適切な内容を書きなさい。
これらのことから、鎌倉幕府の力が強まったといえる。

中学校社会
【分類・区別の状況】(第2学年社会)

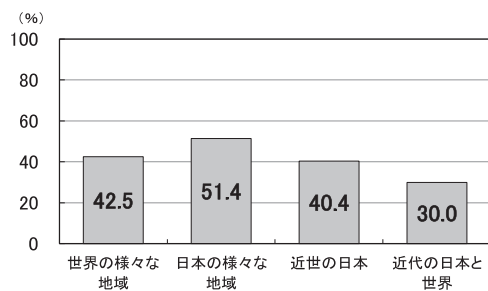
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,469	8.0 / 19	42.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	2.0
2問	3.7
3問	6.1
4問	7.0
5問	8.0
6問	7.9
7問	9.2
8問	10.0
9問	9.4
10問	9.1
11問	8.1
12問	6.2
13問	5.5
14問	3.7
15問	2.1
16問	0.9
17問	0.2
18問	0.0
19問	0.0

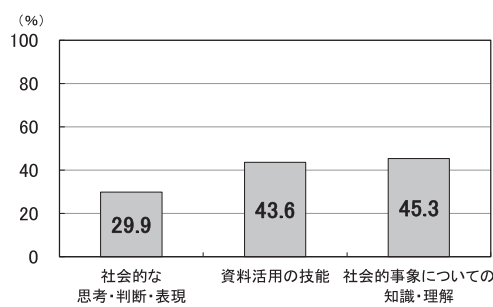
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



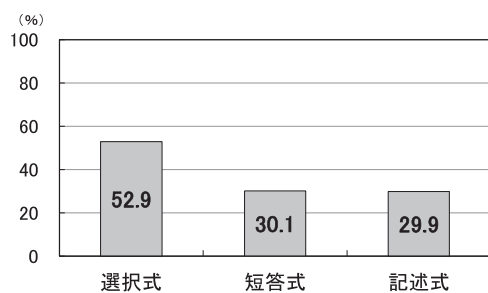
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

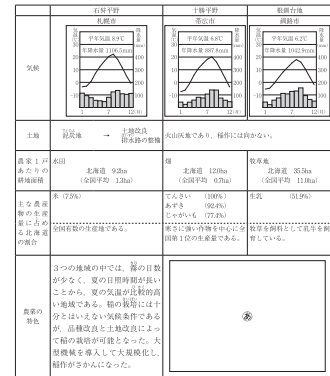


社会の平均正答率は42.0%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・資料を基に、北海道地方の農業の特色を、気候の特色と関連付けて説明すること
[4(2) 正答率24.5%、無解答率27.7%]

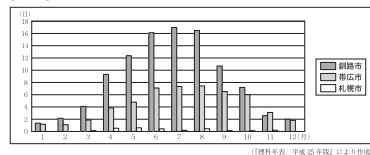
- 4 馬場さんは、北海道地方では、稲作、畑作、酪農のさかんな地域が分かれていることを知り、北海道の自然環境と農業の関係について調べ、下の【ノート】のように整理しています。次の(1)、(2)の各問に答えなさい。

【ノート】

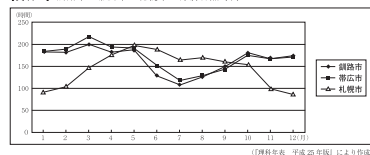


- (2) 馬場さんは、【資料1】、【資料2】から読み取れる3つの地域の天候の特色をふまえ、【ノート】の農業の特色をまとめました。【ノート】の⑤には、十勝平野と根釧台地の農業の特色が入ります。石狩平野の農業の特色を参考に、⑥に当てはまる適切な内容を書きなさい。

【資料1】 釧路市・帯広市・札幌市の霜の日の月別平均値



【資料2】 釧路市・帯広市・札幌市の月別日照時間



【設問別正答率】（第1学年社会）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点 社会的な思考・判断・表現	評価の観点 資料活用・技能	評価の観点 社会的な事象についての知識・理解	問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本				選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		地図をもとに、条件をすべて満たす大陸の名称を選ぶ	世界地図の特色を基に、大陸の位置関係を読み取ることができる	(1)ア					○	○				80	58.4	0.3
1	(2)		○		本初子午線として正しい経線を選ぶ	本初子午線の意味を理解している	(1)ア						○	○			80	58.4	0.2
1	(3)		○		地図を参考に、大西洋と太平洋の位置の組み合わせとして正しいものを選ぶ	三大洋の位置関係を理解している	(1)ア						○	○			80	57.7	0.8
2	(1)		○		気候のグラフをもとに、住居の特色についてまとめた文に当てはまる適切な内容を書く	資料から、温帯と冷帯における気候の特色による住居の工夫を読み取ることができる	(1)イ					○		○			70	6.6	5.7
2	(2)		○		資料に示された宗教について述べた文として、適切なものを選ぶ	資料から、生活と宗教とのかかわりについて読み取ることができる	(1)イ					○		○			90	44.5	0.5
3	(1)		○		地図を参考に、アフリカ州の国境線についてまとめた文に当てはまる適切な内容を書く	アフリカ州で、直線的な国境線が多く見られる歴史的背景を理解している	(1)ウ (ウ)						○	○			60	12.9	13.3
3	(2)	①	○		特定の農産物や鉱産資源などの輸出にたよる経済の名称（モノカルチャー経済）を書く	第一次産品にたよるアフリカの経済について理解している	(1)ウ (ウ)						○	○			80	50.5	21.7
3	(2)	②	○		資料をもとに、特定の農産物や鉱産資源などの輸出にたよることによる問題点について説明する	資料を基に、第一次産品にたよるアフリカの経済状況を考察し、問題点を説明することができる	(1)ウ (ウ)					○			○		40	7.8	20.2
4	(1)		○		アメリカの工業生産額について、資料から読み取れることを述べた文として適切でないものを選ぶ	資料から、アメリカの工業生産額の変化を読み取ることができる	(1)ウ (ウ)					○		○			70	40.2	1.2
4	(2)		○		五大湖沿岸で重工業が発展した理由を、資料から読み取って書く	資料から、アメリカにおける工業都市の分布状況に着目し、重工業が発展した背景を読み取ることができる	(1)ウ (ウ)					○		○			60	12.1	20.2
4	(3)		○		資料をもとに、新しく発展した工業分野（先端産業）を読み取り、その工業分野が発展することができた理由を説明する	資料を基に、アメリカでの先端産業の発展について考察し、説明することができる	(1)ウ (ウ)					○			○		50	7.9	24.3
5	(1)		○		古代のできごととして、適切なものを選ぶ	時代区分について理解している	(1)ア						○	○			90	58.0	1.1
5	(2)		○		資料を参考に、西暦を世紀に表す	年代の表し方について理解している	(1)ア						○	○			90	39.6	6.2
6	(1)		○		資料をもとに、弥生時代の生活のようすを述べた文として、適切なものを選ぶ	資料を基に、日本列島における農耕の広まりによる生活の変化を読み取ることができる		(2)ア				○	○				80	72.1	1.0
6	(2)		○		資料をもとに、大和地方を中心に国内が統一されたことと前方後円墳の分布の関連についてまとめた文に当てはまる語句を書く	資料を基に、大和朝廷による統一と古墳の広まりとの関わりについて読み取ることができる		(2)ア				○		○			70	22.9	12.1
7	(1)		○		飛鳥時代の日本の政治の移り変わりを、年代の古い順に並べかえる	律令国家の確立に至るまでの過程を理解している		(2)イ					○	○			70	41.3	2.8
7	(2)		○		資料をもとに、藤原氏が政治の実権をにぎった理由についてまとめた文に当てはまる適切な語句や内容を書く	資料を基に、摂関政治の特色を読み取ることができる		(2)イ				○		○			60	13.7	11.3
8	(1)		○		鎌倉幕府における将軍と家来の主従関係を示す図に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを選ぶ	鎌倉幕府における主従関係を理解している			(3)ア				○	○			90	59.1	1.3
8	(2)		○		資料をもとに、鎌倉幕府の力が強まったといえる理由を説明する	資料を基に、武士による支配の広がりについて考察し、説明することができる			(3)ア		○				○		40	4.3	24.5
8	(3)		○		資料をもとに、日明貿易について述べた文として、正しいものを選ぶ	資料を基に、室町時代における東アジアとのかかわりについて読み取ることができる			(3)ア		○		○				70	50.2	3.0

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年社会）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点	社会的な思考・判断・表現	問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界			選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		地図を参考に、南アメリカ州について書いたメモに当てはまる州の名称（北アメリカ）と海洋の名称（大西洋）を書く	大陸と海洋の位置関係を理解している	(1)ア						○	○		80	34.5	8.0
1	(2)		○		地図に示された位置を緯度・経度を使って表す	緯度・経度を使った位置の表し方を理解している	(1)ア						○	○		80	16.3	18.7
1	(3)		○		ブラジルの環境問題について、資料から読み取れることを述べた文として適切なものを選ぶ	資料を基に、ブラジルの環境問題について読み取ることができる	(1)ウ (1)					○	○			70	76.7	0.4
2			○		地図をもとに、高知県が日曜日の午後6時であるとき、現地時間では日曜日の正午である場所を選ぶ	地図を活用し、日本との時差を基に、都市の位置を読み取ることができる	(2)ア					○	○			70	51.5	0.9
3	(1)		○		日本の自然災害やそれへの対策について整理した文に当てはまる語句を書く	環太平洋造山帯に属する日本の地形や気候と関連する自然災害への防災対策について理解している	(2)イ (7)						○	○		70	68.4	3.8
3	(2)		○		資料を参考に、排他的経済水域について正しく述べた文を選ぶ	排他的経済水域について理解している	(2)ア						○	○		70	41.9	0.6
4	(1)		○		気温と降水量のグラフを参考に、石狩平野の気候の特色の説明として、適切なものを選ぶ	気温と降水量のグラフから、北海道の3地域の気候の特色を読み取ることができる	(2)ウ (7)					○	○			80	46.5	1.3
4	(2)		○		気候の特色をふまえ、十勝平野と根釧台地の農業の特色を説明する	資料を基に、北海道地方の農業の特色を、気候の特色と関連付けて説明することができる	(2)ウ (7)					○		○		40	24.5	27.7
5	(1)		○		高知県の人口の特徴について資料から読み取れることを述べた文として正しいものを選ぶ	資料から、高知県の人口の特徴について読み取ることができる	(2)ウ (1)					○	○			70	70.9	0.7
5	(2)		○		耕作放棄地の面積の推移と農業就業人口の推移とを関連づけ、高知県の農業の問題点を説明する	資料を基に、人口の変化が産業に与える影響について考察し、高知県の産業の問題点を説明することができる	(2)ウ (1)					○		○		50	56.0	15.4
6	(1)		○		学習メモを参考に、ヨーロッパ人が日本にもたらしたものやその影響として適切でないものを選ぶ	ポルトガルやスペインによる新航路の開拓が、日本の社会に及ぼした影響を理解している	(4)ア						○	○		80	36.7	0.8
6	(2)		○		江戸幕府が鎖国へと対外政策を変えた理由として適切な内容を選ぶ	江戸幕府における鎖国政策について理解している	(4)イ						○	○		80	65.0	1.0
7	(1)		○		地図を参考に、江戸時代の主な航路の特色についてまとめた文に当てはまる航路名を書く	資料から、江戸時代の海上交通について読み取ることができる	(4)ウ					○		○		90	58.3	14.2
7	(2)		○		地図と資料を参考に、多くの蔵屋敷が大阪に置かれた理由についてまとめた文に当てはまる適切な内容を書く	資料から、交通の発達による都市の成長について読み取ることができる	(4)ウ					○		○		70	1.7	18.0
8	(1)		○		資料を参考に、イギリスの綿織物の輸出額が急激に増加した理由についてまとめた文に当てはまる適切な内容や語句を書く	資料から、産業革命の進展に伴う欧米諸国のアジアへの進出について読み取ることができる	(5)ア					○		○		70	1.2	16.7
8	(2)		○		資料をもとに、開国後の日本の経済についてまとめた文に当てはまる内容の組み合わせとして、適切なものを選ぶ	資料を基に、外国とのかわりか日本が日本の経済に与えた影響について読み取ることができる	(5)イ					○		○		70	40.5	2.2
8	(3)		○		殖産興業について述べた文として適切なものを選ぶ	新政府による改革の特色について理解している	(5)イ						○	○		70	53.9	2.1
8	(4)		○		資料を参考に、明治政府が廃藩置県を行った理由として、適切なものを選ぶ	資料から、新政府による改革のねらいについて読み取ることができる	(5)イ					○		○		70	45.1	2.4
8	(5)		○		資料をもとに、明治政府は、どのように政治のしくみを変えようとしたのかを、江戸幕府の政治のしくみと比較して説明する	資料を基に、新政府による改革の特色を考察し、前の時代と比較して説明することができる	(5)イ					○		○		40	9.1	36.6

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校社会における成果と課題】

		第1学年			第2学年		
		領域・内容	問題番号	出題のねらい	領域・内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度				世界	1(3) 76.7%	資料を基に、ブラジルの環境問題について読み取ること
	経年				日本	5(1) 70.9% H25 5(1) 県 あ 48.2% い 28.3%	資料から、高知県の人口の特徴について読み取ること
課題	本年度	世界	2(1) 6.6%	資料から、温帯と冷帯における気候の特色による住居の工夫を読み取ること	世界	1(2) 16.3%	緯度・経度を使った位置の表し方を理解すること
			3(1) 12.9%	アフリカ州で、直線的な国境線が多く見られる歴史的背景を理解すること	日本	4(2) 24.5%	資料を基に、北海道地方の農業の特色を、気候の特色と関連付けて説明すること →P. 56「中学校社会指導改善のポイント」へ
			4(2) 12.1%	資料から、アメリカにおける工業都市の分布状況に着目し、重工業が発展した背景を読み取ること	近世	7(2) 1.7%	資料から、交通の発達による都市の成長について読み取ること
			4(3) 7.9%	資料を基に、アメリカでの先端産業の発展について考察し、説明すること	近代	8(1) 1.2%	資料から、産業革命の進展に伴う欧米諸国のアジアへの進出について読み取ること
		古代	7(2) 13.7%	資料を基に、摂関政治の特色を読み取ること			
		中世	8(2) 4.3%	資料を基に、武士による支配の広がりについて考察し、説明すること			
	経年	世界	3(2) ② 7.8% H26 2年 1(4) 県 14.2%	資料を基に、第一次産品にたよるアフリカの経済状況を考察し、問題点を説明すること	近代	8(5) 9.1% H27 5(3) ② 5.9%	資料を基に、新政府による改革の特色を考察し、前の時代と比較して説明すること

【領域・内容】 世界：世界の様々な地域、日本：日本の様々な地域、歴史：歴史のとらえ方、
古代：古代までの日本、中世：中世の日本、近世：近世の日本、近代：近代の日本と世界

今後さらに重点となる指導改善のポイント

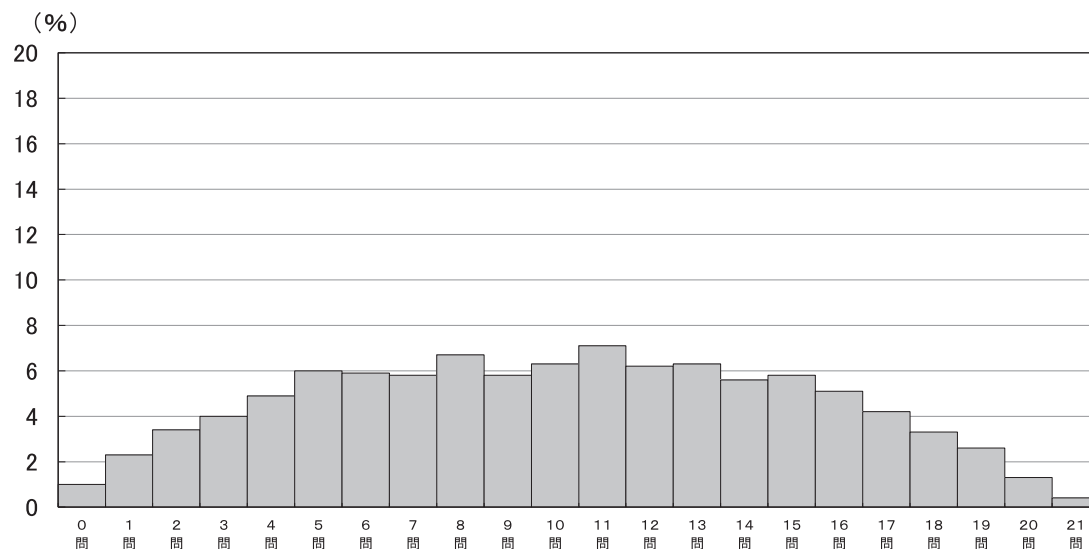
- 学習課題を解決するために、資料を適切に活用して、社会的事象の特色や相互の関連を考察する過程を通して、見方や考え方、技能が身に付くよう、指導の充実を図ることが重要である。
- 収集した資料から共通点や相違点などを見いだし、社会的事象の意味や意義を解釈し、自分の言葉で説明したり、レポートにまとめたりする指導の充実を図ることが重要である。

(6)中学校数学
【分類・区分別の状況】(第1学年数学)

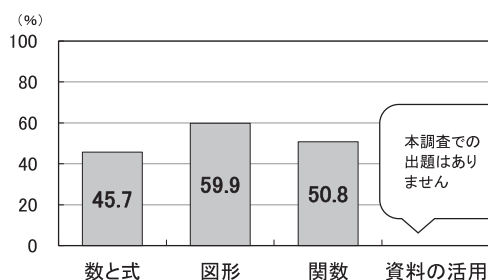
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,451	10.1 / 21	48.2

正答数 (割合(%))	
0問	1.0
1問	2.3
2問	3.4
3問	4.0
4問	4.9
5問	6.0
6問	5.9
7問	5.8
8問	6.7
9問	5.8
10問	6.3
11問	7.1
12問	6.2
13問	6.3
14問	5.6
15問	5.8
16問	5.1
17問	4.2
18問	3.3
19問	2.6
20問	1.3
21問	0.4

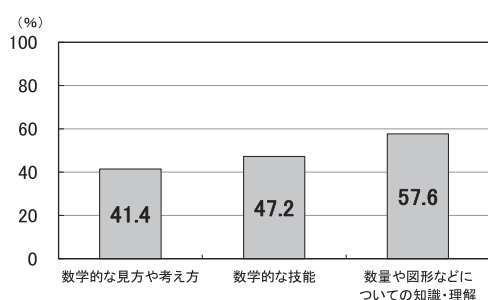
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



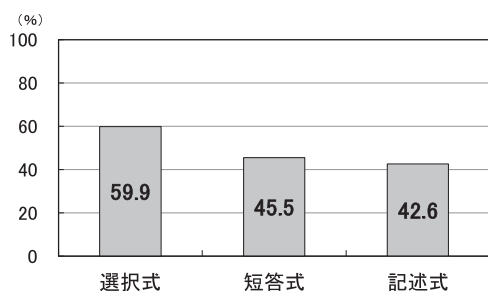
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

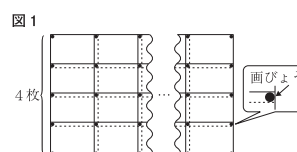


数学の平均正答率は48.2%で、例えば次のような課題が見られた。

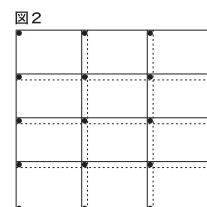
・与えられた式を用いて、問題解決の方法を数学的に説明すること

[3(2) 正答率21.2%、無解答率34.4%]

- ③ 真央さんの学校の文化祭では、美術の時間にかいた絵を台紙に貼り付け、体育館の壁に掲示しています。昨年度は、縦に4枚、横に何枚かの絵を並べて、生徒全員分の絵を掲示しました。このとき、図1のように、隣り合う台紙を少し重ね、台紙の4つの角を画びょうでとめていました。



この掲示の仕方では、例えば、図2のように、12枚の絵を、縦に4枚、横に3枚並べるとき、縦に必要な画びょうは5個、横に必要な画びょうは4個であり、画びょうの総数は20個になります。



今年度は、縦に並べる絵の枚数を、4枚から5枚に変えようとしています。このとき、必要な画びょうの総数が、どれくらい違うのかを考えます。

- (2) 絵を全部で120枚掲示します。縦に4枚絵を並べるときは、横に30枚絵を並べることになります。また、縦に5枚絵を並べるときは、横に24枚絵を並べることになります。

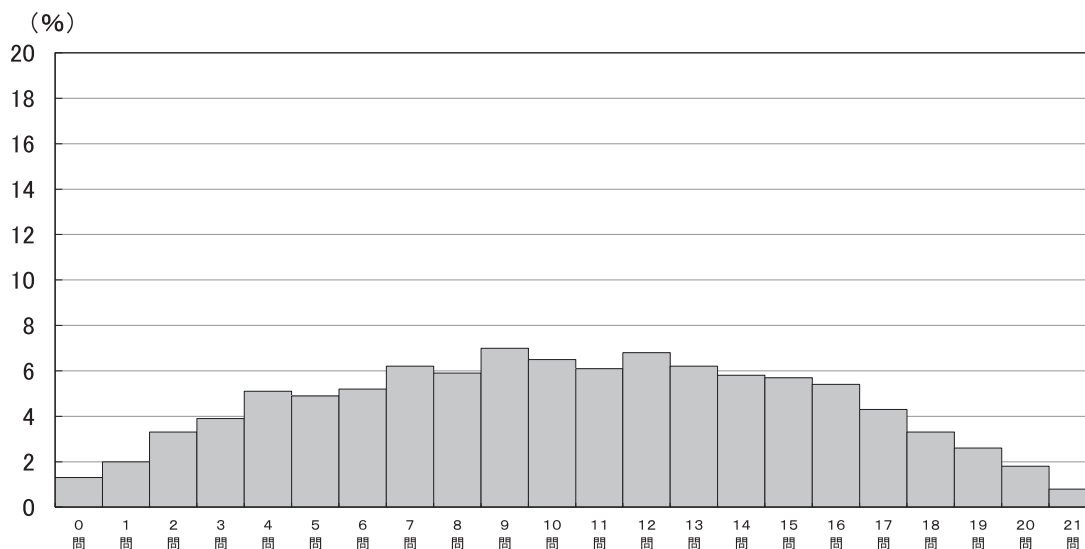
縦に4枚、横に30枚絵を並べるときと、縦に5枚、横に24枚絵を並べるときに画びょうの総数が何個違うかを求める方法を、式 $5(n+1)$ と式 $6(m+1)$ を用いて説明しなさい。

中学校数学
【分類・区別の状況】(第2学年数学)

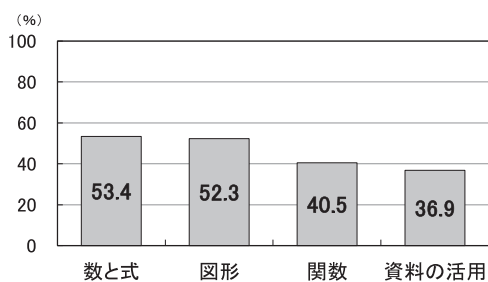
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,453	10.3 / 21	49.1

正答数 (割合(%))	
0問	1.3
1問	2.0
2問	3.3
3問	3.9
4問	5.1
5問	4.9
6問	5.2
7問	6.2
8問	5.9
9問	7.0
10問	6.5
11問	6.1
12問	6.8
13問	6.2
14問	5.8
15問	5.7
16問	5.4
17問	4.3
18問	3.3
19問	2.6
20問	1.8
21問	0.8

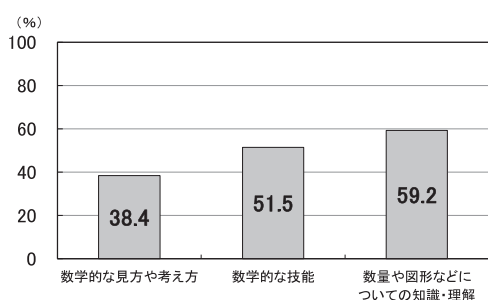
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



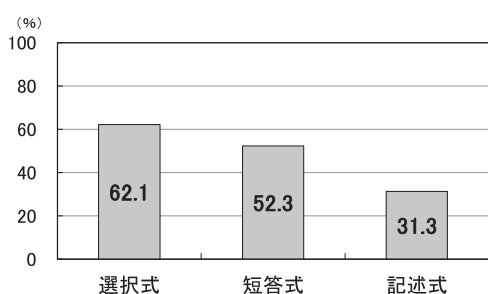
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



数学の平均正答率は49.1%で、例えば次のような課題が見られた。

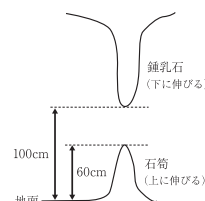
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

[6(2) 正答率10.4%、無解答率43.3%]

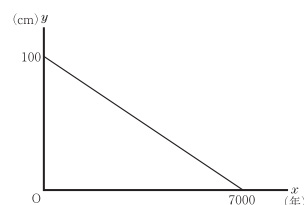
6 美月さんは、地元の鍾乳洞について調べています。この鍾乳洞の中には、地面から100cmのところに先端がある鍾乳石と、その真下の地面から60cmのところに先端がある石筍があり、それらの先端がどんどん近づいていることを知りました。

美月さんは、この鍾乳石と石筍がつながるのは、今から何年後になるか興味をもち、鍾乳石と石筍が1cm伸びるのにどれくらいの期間がかかるのかをさらに調べると、次のようになることがわかりました。

	鍾乳石	石筍
1cm伸びるために かかる年数	70年 (下に伸びる)	130年 (上に伸びる)



美月さんは、今から x 年後の先端の位置が地面から y cmの高さにあるとして、年数と鍾乳石の先端の位置の関係を、次のようにグラフに表しました。



(2) 鍾乳石と石筍がつながるのは、今から何年後になるかを求める方法を説明しなさい。

※学習シート等との関連

全国学力・学習状況調査数学B問題集
第2学年C数量関係(21年度)3(3)

【設問別正答率】（第1学年数学）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
						数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○	$5 - (-2) + (-3)$ を計算する	正の数と負の数の加法・減法の計算ができる	(1)ウ					○		○			90	69.2	1.6
1	(2)		○	$14 \div \left(-\frac{1}{2}\right)$ を計算する	正の数と負の数の乗法・除法の計算ができる	(1)ウ					○		○			80	48.5	4.9
1	(3)		○	絶対値が6である負の数を書く	絶対値の意味を理解している	(1)ア						○	○			80	85.4	3.3
1	(4)		○	2つの自然数の差が自然数にならない理由を、成り立たない例をあげて説明する	数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる	(1)ア					○			○		60	54.8	16.8
2	(1)		○	$4(x+2) - 3(2x-1)$ を計算する	一次式の加法・減法の計算ができる	(2)ウ					○		○			70	48.8	5.5
2	(2)		○	$a = -3$ のとき、式 a^2 の値を求める	文字式に数を代入して、式の値を求めることができる	(2)エ					○		○			70	45.6	5.7
2	(3)		○	「バスでの移動時間は、40分以上である。」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	(2)エ					○		○			70	42.6	9.9
3	(1)		○	縦に5枚、横に m 枚絵を並べるとき、画びょうの総数を、 $6(m+1)$ という式で表すことができる理由の説明を完成する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	(2)ア					○			○		50	64.8	16.8
3	(2)		○	絵の並べ方の違いによって、画びょうの総数が何個違うかを求める方法を説明する	与えられた式を用いて、問題解決の方法を数学的に説明することができる	(2)ア					○			○		50	21.2	34.4
4	(1)		○	一次方程式 $3x - 2 = 10$ の解について、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	(3)ア						○	○			70	51.9	0.9
4	(2)		○	一次方程式 $\frac{1}{6}x = \frac{1}{2}x + 1$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	(3)ウ					○		○			60	30.6	13.1
5	(1)		○	兄が家を出発してから弟に追いつくまでの道のりに着目して表した方程式が $100x = 70(6+x)$ になる理由の説明を完成する	問題を解決するために立式された一元一次方程式が正しい理由を説明することができる	(3)ウ					○			○		50	38.6	29.0
5	(2)		○	方程式 $100x = 70(6+x)$ の解 $x = 1.4$ が、問題の答えとして適切でないことの説明に当てはまる式と数を書く	求めた解が適切であるかどうかを確かめる方法を理解している	(3)ウ						○	○			70	15.3	16.1
6	(1)		○	直角三角形を回転移動するときの回転の中心と回転する角の大きさの組み合わせを選ぶ	回転移動の意味を理解している	(2)イ						○	○			70	60.0	1.3
6	(2)		○	$\triangle ABC$ を、直線 l と直線 m をそれぞれ軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかくことができる	(2)イ						○		○		70	59.7	5.8
7	(1)		○	y が x に反比例する事象を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例になることを理解している			(1)イ				○	○			60	47.2	1.0
7	(2)		○	点 $(-3, 2)$ の位置を座標平面上に示した点を選ぶ	2つの数の組で表された座標と、座標平面上の点の位置の関係を理解している			(1)ウ					○	○		90	85.7	0.9
7	(3)		○	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表すことができる			(1)エ				○		○		70	32.7	9.7
8	(1)		○	アルミ缶の個数と重さの関係を表したグラフを原点を通る直線とみて式に表したとき、比例定数が表す数量を選ぶ	比例定数を事象に即して解釈することができる			(1)エ・オ			○		○			60	54.5	1.3
8	(2)		○	表やグラフを用いて、アルミ缶200個の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			(1)オ			○			○		40	33.7	11.3
8	(3)		○	アルミ缶1000gが85円で換金できるとき、アルミ缶600gが何円分になるかを求めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	(3)ウ					○		○			70	21.9	30.0

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年数学）

問題番号	大問	小問	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
						数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○	$5(x-2y)-3(3x-4y)$ の計算をする	整式の加法・減法の計算ができる	(1)ア					○			○		80	77.0	3.4
1	(2)		○	$a=6, b=-5$ のとき、式 $2a+4b$ の値を求める	文字式に数を代入して、式の値を求めることができる	(1)イ					○			○		90	79.6	5.4
1	(3)		○	等式 $3x-y=12$ を y について解く	等式を目的に応じて変形することができる	(1)ウ					○			○		70	49.9	8.6
2	(1)		○	3けたの数が608のとき、百の位の数と一の位の数を入れかえた数の和が101の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	(1)イ・ウ					○				○	70	71.5	10.2
2	(2)		○	十の位が0である3けたの自然数と、その数の百の位の数と一の位の数を入れかえた数の和が101の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	(1)イ・ウ					○				○	50	28.0	24.6
2	(3)		○	百の位と十の位が0である4けたの自然数と、その数の千の位の数と一の位の数を入れかえた数の和について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	(1)イ・ウ					○				○	50	55.8	24.9
3	(1)		○	二元一次方程式 $3x+2y=7$ の解について、正しい記述を選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している	(2)ア						○	○			70	46.2	1.7
3	(2)		○	連立方程式 $\begin{cases} y=2x+1 \\ y=-3x+11 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	(2)ウ					○			○		80	56.6	11.3
4	(1)		○	数量の関係が $2x+\frac{5}{2}y=16500$ という式で表される理由を説明する	問題を解決するために立式された二元一次方程式が正しい理由を説明することができる	(2)ウ					○				○	50	41.2	30.0
4	(2)		○	連立方程式の解から問題の答えを求める方法を説明する	問題解決の方法を数学的に説明することができる	(2)ウ					○				○	60	28.3	27.6
5	(1)		○	水が20L入った水そうから毎分3Lの割合で水を抜くとき、水を抜き始めてからの時間と水そうの水の量の関係を表したグラフを選ぶ	事象における2つの数量の変化や対応の様子を捉え、その様子を表すグラフを指摘できる	(1)ア						○	○			70	72.5	0.8
5	(2)		○	方程式のグラフから式を選ぶ	方程式とグラフの関係を理解している	(1)ウ							○	○		70	64.8	0.8
6	(1)		○	鍾乳石の先端と石筍の先端がそれぞれ地面から100cm、60cmであり、その差を a cmとすると、今から鍾乳石と石筍がつながるまでの a の変域を書く	事象を数学的に解釈し、数の取りうる値の範囲を表すことができる	(1)イ・エ					○			○		60	14.1	28.4
6	(2)		○	鍾乳石と石筍がつながるのは、今から何年後になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	(1)エ					○				○	40	10.4	43.3
7	(1)		○	3本の直線が1点で交わる時、1つの角に対する対頂角を選ぶ	対頂角の意味を理解している	(1)ア							○	○		90	92.5	0.9
7	(2)		○	n 角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	n 角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ における $(n-2)$ の意味を理解している	(1)イ							○	○		60	60.1	0.9
7	(3)		○	三角形の内角の和が 180° であることの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している	(1)ア (2)イ							○	○		60	36.4	1.1
8	(1)		○	2つの線分の長さが等しいことを証明する	方針に基づいて証明することができる	(2)ウ					○				○	40	24.0	23.0
8	(2)		○	辺が等しい関係にあることの理由の説明を完成する	図形の性質を証明するために構想を立てることができる	(2)イ					○				○	60	48.3	11.5
9	(1)		○	生徒40人の1日あたりの読書時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	度数分布表から相対度数を求めることができる	¹ (1)ア					○			○		60	32.0	20.2
9	(2)		○	1か月間に読んだ本の冊数と人数の関係をまとめたグラフから、1か月間に読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理したグラフから最頻値を読み取ることができる	¹ (1)ア						○		○		60	41.9	19.7

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校数学における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		領域・内容	問題番号	出題のねらい	領域・内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	数	①(3) 85.4%	絶対値の意味を理解すること	数	①(2) 79.6%	文字式に数を代入して、式の値を求めること
	経年	関	⑦(2) 85.7%	2つの数の組で表された座標と、座標平面上の点の位置の関係を理解すること	図	⑦(1) 92.5%	対頂角の意味を理解すること
課題	本年度	数	③(2) 21.2%	与えられた式を用いて、問題解決の方法を数学的に説明すること	数	②(2) 28.0%	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明すること
			⑤(2) 15.3%	求めた解が適切であるかどうかを確認する方法を理解すること	関	⑥(1) 14.1%	事象を数学的に解釈し、数の取りうる値の範囲を表すこと
	経年	数	②(2) 45.6% H26②(3) 県 46.2%	文字式に数を代入して、式の値を求めること	数	①(3) 49.9% H27A②(3) 県 53.8% 全国 64.2%	等式を目的に応じて変形すること
			②(3) 42.6% H26A②(1) 県 40.4% 全国 45.2%	数量の大小関係を不等式に表すこと	図	⑦(3) 36.4% H21A⑧ 県 23.8% 全国 28.9%	証明の必要性和意味を理解すること
			④(2) 30.6% H26③(2) 県 35.4%	簡単な一元一次方程式を解くこと		⑧(1) 24.0% H27⑤(5) 県 11.1%	方針に基づいて証明すること
		関	⑦(3) 32.7% H28A⑨(4) 県 28.2% 全国 34.5%	反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表すこと	関	⑥(2) 10.4% H26④(2) 県 15.9%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること →P. 58「中学校数学指導改善のポイント」へ
			⑧(2) 33.7% H27⑦(1) 県 27.2%	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること	資	⑨(1) 32.0% H25A⑬(1) 県 38.5% 全国 42.7%	度数分布表から相対度数を求めること

【領域・内容】数：数と式、図：図形、関：関数、資：資料の活用

今後さらに重点となる指導改善のポイント

○負の数や分数を含む式の処理が、適切であるかどうかを検討する場面を設定し、正しく処理できるようにすることが大切である。また、その処理を、自ら振り返って正しいかどうかを判断できるようにすることも大切である。

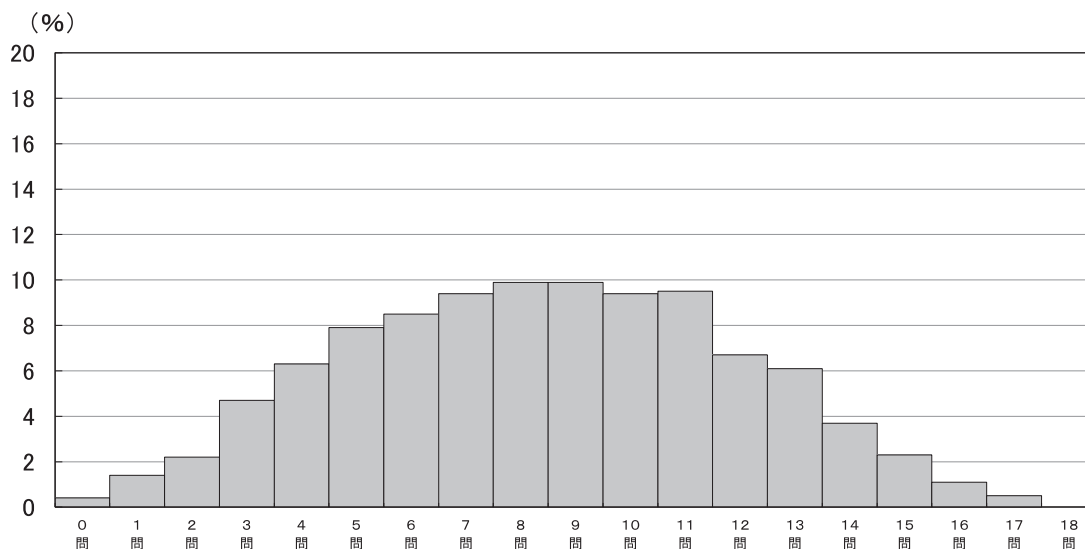
○授業では、記述することだけを目的とせず、問題を解決することを目的の中心とすることが重要である。その過程の中で、問題解決と関連して記述する場面を設定するとともに、「事柄・事実」、「方法・手順」、「理由」の3つの説明の中の何を記述させるのかを明確にすることが大切である。

(7) 中学校理科
【分類・区分別の状況】(第1学年理科)

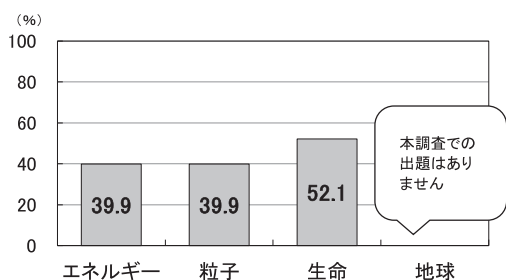
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,448	8.4 / 18	46.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.4
1問	1.4
2問	2.2
3問	4.7
4問	6.3
5問	7.9
6問	8.5
7問	9.4
8問	9.9
9問	9.9
10問	9.4
11問	9.5
12問	6.7
13問	6.1
14問	3.7
15問	2.3
16問	1.1
17問	0.5
18問	0.0

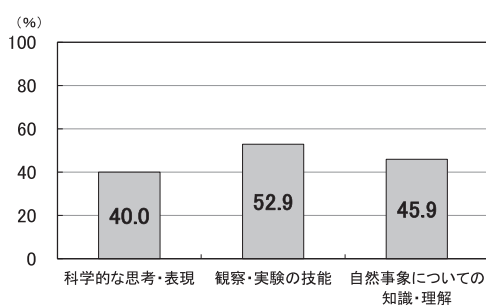
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



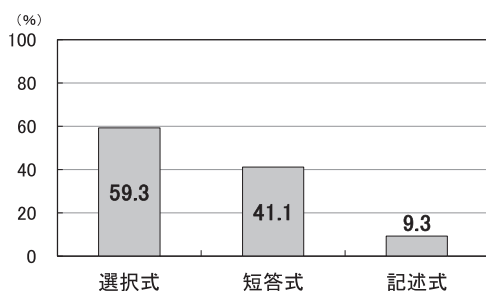
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



理科の平均正答率は 46.7% で、例えば次のような課題が見られた。

・実験結果を基に、音を伝えるものと音の伝わり方について説明すること

[4(2) 正答率 11.6%、無解答率 20.1%]

- 4 里史さんは、水の入ったグラスをたたくと、水面が振動することや、水の量によって音の高さが変わることに興味をもち、音の伝わり方や高さについて調べることにしました。次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

里史さんは、音の伝わり方を調べる実験を行いました。

レポート1の一部

課題1

音はどのようにして伝わるのだろうか。

【方法1】

- ① おんさAをたたき、おんさAの音の波をコンピュータで調べる(図1)。 ② 同じ高さの音が出るおんさAとおんさBを用意し、おんさAをたたき(図2)、おんさBの音の波を①と同じ設定のコンピュータで調べる。

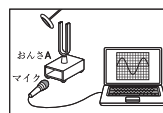


図1

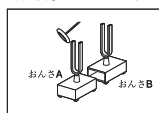


図2

【結果1】

① おんさAの波形

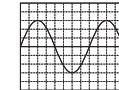


図3

② おんさBの波形

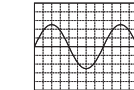


図4

【方法2】

ガラス容器の中にスイッチを入れて音が鳴っているブザーを入れ、ガラス容器を密閉する。その後、ガラス容器の中の空気を真空ポンプで徐々にぬいていく(図5)。



図5

【結果2】

空気を徐々にぬいていくとブザーの音がだんだん小さくなり、音が聞こえなくなった。

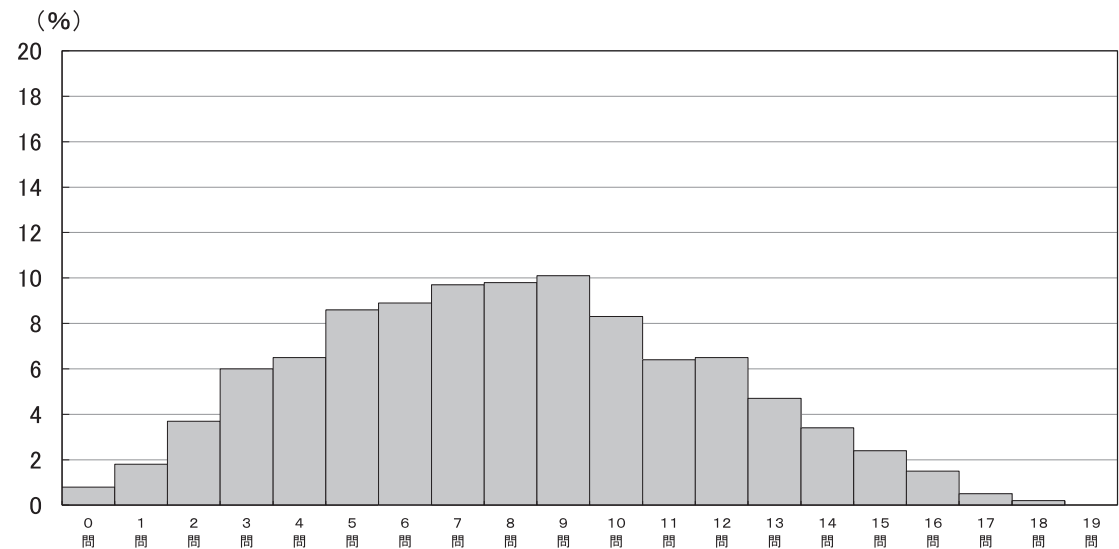
- (2) 【結果1】の②を見ると、【方法1】の②で、おんさBから音がでたことがわかります。【結果2】をもとに、その理由を書きなさい。

中学校理科
【分類・区別の状況】(第2学年理科)

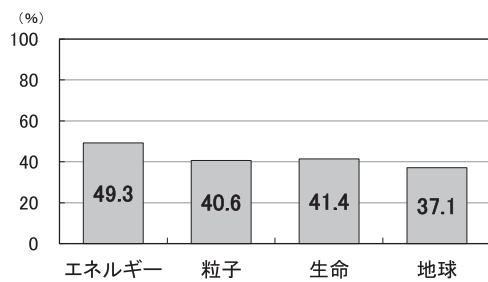
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,475	8.0 / 19	42.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.8
1問	1.8
2問	3.7
3問	6.0
4問	6.5
5問	8.6
6問	8.9
7問	9.7
8問	9.8
9問	10.1
10問	8.3
11問	6.4
12問	6.5
13問	4.7
14問	3.4
15問	2.4
16問	1.5
17問	0.5
18問	0.2
19問	0.0

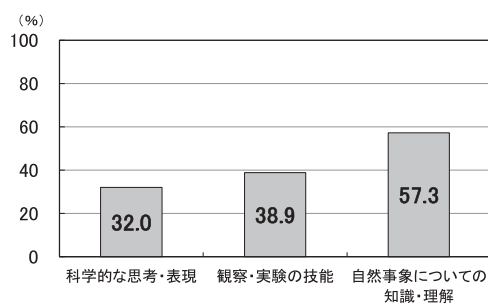
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



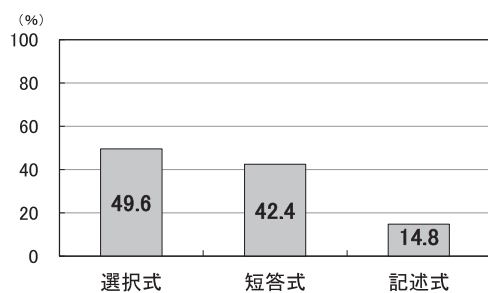
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

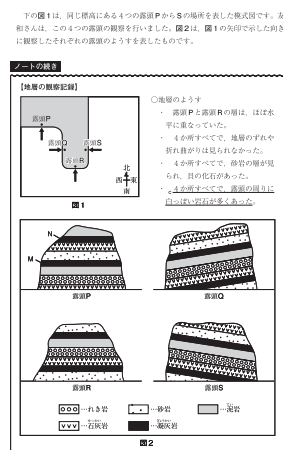


理科の平均正答率は42.2%で、例えば次のような課題が見られた。

- ・地図と地層の観察記録を基に、観察地における地層の重なり方や広がり方を説明すること
[1(4) 正答率3.8%、無解答率33.7%]

1 友和さんの学級では、理科の授業で、学校の近くに地層を観察しました。次の(1)から(5)までの各問に答えなさい。

(4) 友和さんは、【地層の観察記録】の図1と図2をもとに、これらの地層が堆積した期間には、火山活動が活発だった時期が、少なくとも3回あったことを、下のように説明しました。□に当てはまる適切な内容を書きなさい。



凝灰岩の層は、過去の火山活動により堆積したものであるから、4つの露頭に見られる凝灰岩の層のつながりを考えればよい。

4つの露頭のうち、露頭Q、R、Sの3つは、地層の重なり方が同じである。よって、3つの露頭に見られる各層は、つながった同一の地層と考えられ、凝灰岩の層の数から、火山活動が活発だった時期が2回あったといえる。また、露頭Pに見られる2つの凝灰岩の層のうち、Mの層は、

だから、Mの層は、他の3つの露頭からかわった2回のうちの1回で堆積したものであるといえる。

もう一つのNの層は、上下の地層の重なり方が、他の3つの露頭の2つの凝灰岩の層とは違ふことから、他の3つの露頭に見られる凝灰岩の層とつながりなく、別の火山活動によりできたと考えられ、火山活動が活発だった時期が、他に1回あったといえる。

このようなことから、これらの地層が堆積した期間には、火山活動が活発だった時期は、少なくとも3回あったと考えられる。

※学習シート等との関連
高知県理科思考力問題集 中1-10

【設問別正答率】（第1学年理科）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		花を観察するときのルーペの使い方として、適切なものを選ぶ	観察器具（ルーペ）の扱い方を身に付けている			(1) ア(7)		○		○				80	72.6	0.0
1	(2)		○		顕微鏡を使って観察するとき、顕微鏡を置く場所として、注意しなければならないことを書く	観察器具（顕微鏡）の扱い方を身に付けている			(1) ア(7)		○			○			70	51.3	7.8
1	(3)		○		顕微鏡の操作の手順を正しい順に並べかえる	観察器具（顕微鏡）の扱い方を身に付けている			(1) ア(7)		○			○			70	32.1	0.6
1	(4)		○		顕微鏡の倍率を高くしてピントを合わせたとき、プレパラートと対物レンズの距離、視野の明るさを示した組み合わせとして正しいものを選ぶ	観察器具（顕微鏡）の扱い方を身に付けている			(1) ア(7)		○		○				80	55.1	0.2
1	(5)		○		顕微鏡と双眼実体顕微鏡の特徴をもとに、ホウセンカの根と根毛を観察した図の説明として正しいものを選ぶ	観察結果に見られる特徴から、観察器具を判断できる			(1) ア(7)		○		○				70	60.4	0.5
2	(1)		○		気体のおいさを調べるときの適切な方法を選ぶ	気体の性質を調べる方法を身に付けている		(2) ア(4)			○		○				80	75.6	0.2
2	(2)		○		気体によるリトマス紙の色の変化を調べるとき、リトマス紙をどのような状態で使用するかを書く	気体の性質を調べる方法を身に付けている		(2) ア(4)			○			○			70	17.5	15.3
2	(3)		○		5つの気体を特定する方法として、表の調べたことの中から2つ書く	気体の性質を基に、気体を特定するための実験を計画することができる		(2) ア(4)			○			○			70	59.4	7.4
2	(4)		○		ロケットが飛ぶには、燃料である水素以外に酸素を必要とする理由を書く	気体の性質を基に、気体を使用される目的を説明することができる		(2) ア(4)			○				○		60	6.9	14.7
3	(1)		○		花がさく植物の名称（種子植物）を書く	種子植物を理解している			(1) イ(7)			○		○			80	40.6	15.3
3	(2)		○		チューリップの花のつくりをもとにして、アブラナの花のつくりを表した模式図として適切なものを選ぶ	花のつくりを模式的に表す方法を身に付けている			(1) イ(7)		○		○				80	66.2	0.7
3	(3)		○		めしべのものとのふくらみの名称（子房）を書く	植物の花のつくりを理解している			(1) イ(7)			○		○			80	48.2	12.1
3	(4)		○		おしべの先のふくろの名称（やく）を書く	植物の花のつくりを理解している			(1) イ(7)			○		○			80	38.4	13.0
3	(5)		○		チューリップの花の開閉について、光や温度の関係を表した説明として適切なものを選ぶ	実験結果を考察し、花の開閉における条件を見いだすことができる			(1) イ(7)		○		○				70	56.2	0.5
4	(1)		○		おんさAをたたたくを強くしたときのおんさBの音の波形として適切なものを選ぶ	音の大きさと発音体の振動の関係を理解している	(1) ア(4)					○	○				80	53.3	0.4
4	(2)		○		実験の結果をもとに、おんさBから音が出た理由を書く	実験結果を基に、音を伝えるものと音の伝わり方について説明することができる	(1) ア(4)				○				○		50	11.6	20.1
4	(3)		○		音の高さが低くなったことを示す音の波形の変化として正しいものを選ぶ	音の高さが振動数に関係していることを理解している	(1) ア(4)					○	○				80	49.0	0.4
4	(4)		○		音の高さは、水の部分の長さに関係しているという予想が、正しい場合に得られる結果を選ぶ	音の高さを決める条件を確かめる実験を計画することができる	(1) ア(4)				○		○				70	45.5	0.6

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年理科）

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		地層のすれの名称（断層）を書く	大地の変動について理解している				(2) イ(7)		○		○			70	69.2	12.9
1	(2)		○		地層に含まれる岩石を調べるための観察器具の名称を書く	野外観察における地層の調べ方を身に付けている				(2) イ(7)		○			○		80	50.8	8.2
1	(3)		○		地層の観察記録から、地層の重なり方を考察し地層の傾いている方向を選ぶ	地図と地層の観察記録を基に、観察地における地層の広がり方を考察することができる				(2) イ(7)	○			○			70	36.9	0.6
1	(4)		○		地層の観察記録をもとに、火山活動が活発だった時期が3回あったことを説明する文に当てはまる適切な内容を書く	地図と地層の観察記録を基に、観察地における地層の重なり方や広がり方を説明することができる				(2) イ(7)	○				○		50	3.8	33.7
1	(5)		○		石灰岩であることを確かめるために用いる物質の名称（塩酸）と、発生する物質の名称（二酸化炭素）を書く	石灰岩の見分け方を身に付けている				(2) イ(7)		○			○		70	24.9	10.6
2	(1)		○		カイロの発熱に空気中の酸素が関係しているという見通しが正しいとき、ペットボトル内の水位の変化として適切なものを選ぶ	カイロの発熱のしくみについて予想したことを確かめる実験の結果を見通すことができる		(4) イ(9)				○			○		70	40.7	0.6
2	(2)		○		カイロの発熱に空気中の酸素が関係しているという見通しが正しいとき、ペットボトルに入れた火のついた線香の変化を書く	カイロの発熱のしくみについて予想したことを確かめる実験の結果を見通すことができる		(4) イ(9)				○				○	70	33.9	9.0
2	(3)		○		鉄の変化を確かめる方法を書く	鉄の変化を確かめる方法を身に付けている		(4) イ(10)					○			○	70	18.8	31.3
2	(4)		○		鉄と酸素の化合の名称（酸化）を書く	酸化について理解している		(4) イ(7)(1)						○		○	80	68.9	7.7
3	(1)		○		デンプンと反応すると青紫色を示す試薬の名称（ヨウ素液）を書く	物質（デンプン）を特定するための試薬について理解している			(3) イ(7)				○			○	70	57.7	13.9
3	(2)		○		ベネジクト液の色の変化を確かめるときに行う操作（加熱）を書く	物質（糖）を特定するための方法を身に付けている		(3) イ(7)					○			○	70	33.3	23.1
3	(3)		○		だ液のはたらきを調べる実験結果から、デンプンの変化を表した組み合わせとして適切なものを選ぶ	消化液（だ液）の働きについて考察することができる		(3) イ(7)				○			○		70	53.1	1.2
3	(4)		○		消化液にふくまれる物質の名称（消化酵素）を書く	消化酵素について理解している		(3) イ(7)					○			○	70	37.0	19.6
3	(5)		○		だ液は、40℃のときによくはたらくという予想を確かめるための温度設定を選び、その理由を書く	消化液の働きと温度の関係を調べる対照実験を計画することができる		(3) イ(7)				○				○	50	25.9	3.7
4	(1)		○		重力を表した矢印の意味を選ぶ	力は大きさと向きによって表されることを理解している	(1) イ(7)						○		○		80	47.8	0.6
4	(2)		○		ばねにおもりをつるしたとき、ばねがおもりを引く力のはたらきとして適切なものを選ぶ	力の働きについて理解している	(1) イ(7)							○		○	80	63.2	0.7
4	(3)		○		おもりがばねを引く力を矢印を使って表した図として適切なものを選ぶ	力の大きさと向きを矢印を使って表す方法を身に付けている	(1) イ(7)						○			○	80	42.8	0.7
4	(4)		○		力の大きさとばねののびの関係を表したグラフとして適切なものを選ぶ	実験結果の記録や整理の仕方を身に付けている	(1) イ(7)						○			○	80	62.9	0.8
4	(5)		○		2本のばねで荷物をつるしたときのばねののびから、荷物Xの重さを求める	力の大きさとばねののびの関係を基に、力の大きさを求めることができる	(1) イ(7)						○			○	60	29.7	14.9

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校理科における成果と課題】

		第1学年			第2学年		
		領域・内容	問題番号	出題のねらい	領域・内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	粒	2(1) 75.6%	気体の性質を調べる方法(気体の性質の調べ方)を身に付けること			
	経年	生	1(1) 72.6% H25 1(3) 県 64.4%	観察器具(ルーペ)の扱い方を身に付けること	地	1(1) 69.2% H25 3(1) 県 51.3%	大地の変動(断層)について理解すること
課題	本年度	工	4(2) 11.6%	実験結果を基に、音を伝えるものと音の伝わり方について説明すること	工	4(5) 29.7%	力の大きさとばねののびの関係を基に、力の大きさを求めること
		粒	2(2) 17.5%	気体の性質を調べる方法(リトマス紙の使い方)を身に付けること	粒	2(2) 33.9%	カイロの発熱のしくみについて予想したことを確かめる実験の結果を見通すこと
			2(4) 6.9%	気体の性質を基に、気体が使用される目的を説明すること		2(3) 18.8%	鉄の変化を確かめる方法を身に付けること
		生	1(3) 32.1%	観察器具(顕微鏡)の扱い方を身に付けること	生	3(2) 33.3%	物質(糖)を特定するための方法を身に付けること
	経年					3(5) 25.9%	消化液の働きと温度の関係を調べる対照実験を計画すること
					地	1(5) 24.9%	石灰岩の見分け方を身に付けること
		生	3(3) 48.2% H25 3(2)b 県 57.4%	植物の花のつくり(子房)について理解すること	地	1(3) 36.9% H24 全国 3(2) 県 32.8% 全国 31.2%	地図と地層の観察記録を基に、観察地における地層の広がり方を考察すること
			3(4) 38.4% H25 3(2)a 県 36.4%	植物の花のつくり(やく)について理解すること		1(4) 3.8% H24 全国 3(3) 県 7.0% 全国 10.4%	地図と地層の観察記録を基に、観察地における地層の重なり方や広がり方を説明すること →P. 60「中学校理科指導改善のポイント」へ

【領域・内容】工：エネルギー、粒：粒子、生：生物、地：地球

今後さらに重点となる指導改善のポイント

○生徒が興味をもつような事物・現象を提示し、疑問点について、予想を検証する観察・実験の計画を立てることができるよう指導することが重要である。

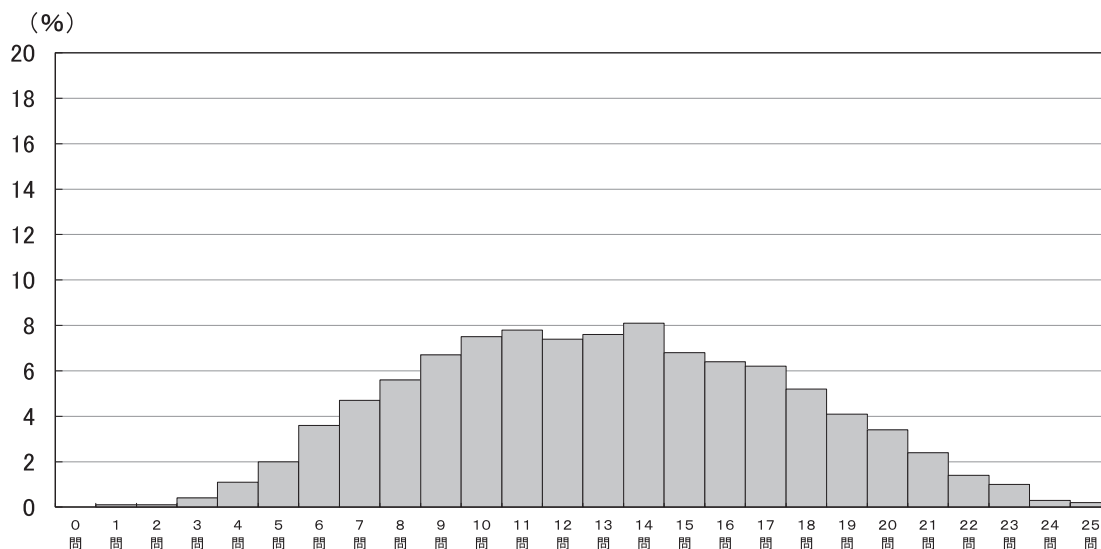
○予想と実験の結果を対応させて整理し、組み合わせたり、関連付けたりして、適切に分析して解釈できるように指導することが重要である。また、生徒が説明する際には、根拠を示し、事実と考えを区別して表現できるようにすることも大切である。

(8) 中学校外国語(英語)
【分類・区分別の状況】(第1学年外国語(英語))

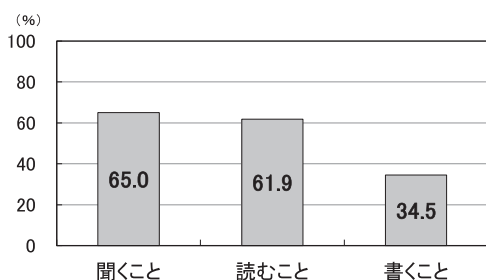
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,457	13.0 / 25	52.0

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.4
4問	1.1
5問	2.0
6問	3.6
7問	4.7
8問	5.6
9問	6.7
10問	7.5
11問	7.8
12問	7.4
13問	7.6
14問	8.1
15問	6.8
16問	6.4
17問	6.2
18問	5.2
19問	4.1
20問	3.4
21問	2.4
22問	1.4
23問	1.0
24問	0.3
25問	0.2

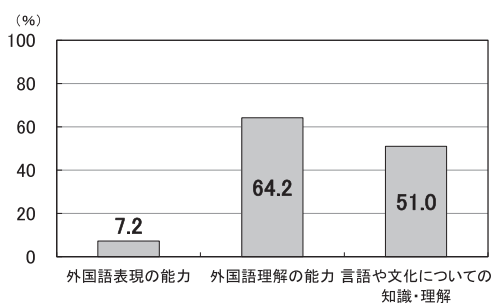
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



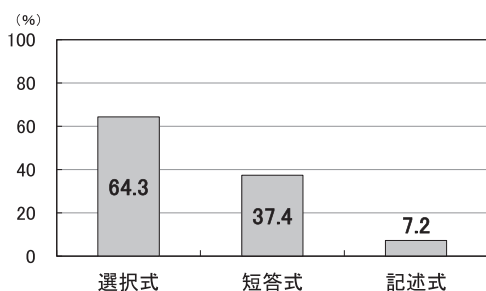
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は52.0%で、例えば次のような課題が見られた。

・資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書くこと

[12(2) 正答率 1.8%、無解答率 29.7%]

12 ケンタ(Kenta)とユキコ(Yukiko)は、ALTのジョーンズ(Ms. Jones)先生と一緒によさこいおどりの練習をしています。ほかのALTの先生にも、よさこい祭り(The Yosakoi Festival)への参加を呼びかけるメッセージカードを作ることになりました。次の【2人の会話】をもとに、書く内容の順を考え、【メッセージカード】の(1)から(3)の順にそれぞれ適切な英文で書き、【メッセージカード】を完成させなさい。

【メッセージカード】

The Yosakoi Festival

Hello!

Do you know The Yosakoi Festival? It's a dance festival.
Many people dance in the festival every year.

(1)

(2)

(3)

From Kenta and Yukiko

【2人の会話】

高知のよさこい祭りの紹介として、まず、たくさんの方が毎年おどることは、辞書で調べた「おどる (dance)」を使って表現できたね。次に、高知では多くの人がよさこい祭りが大好きなことを書きましょう。

Yukiko

そうだね、そのあとに、ジョーンズ先生が、毎週日曜日におどりを練習していることを書こうよ。

Kenta

そうね、最後に、一緒に楽しもうと誘って、メッセージを完成させましょう。

Yukiko

※学習シート等との関連

英語ライティングシート

Ⅱ 重要表現編1年生P. 157~158

Ⅲ テーマ作文編1年生P. 243~260

高知県語彙検定KOCHI Core-tan 高知これ単

P. 35~36 P. 70

高知県中学校英語副読本Discover Kochi

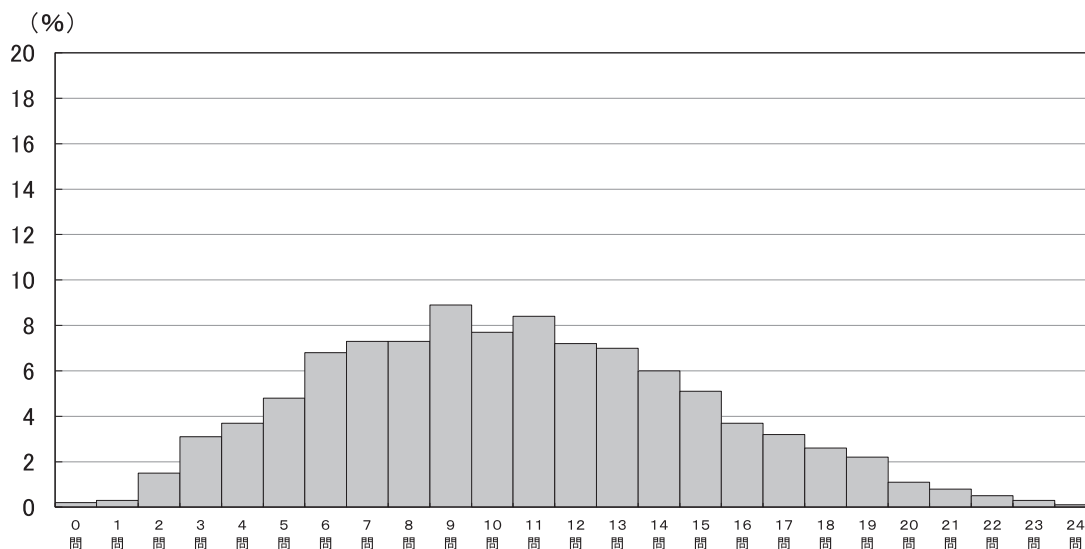
P. 26~27 P. 42~43

中学校外国語(英語)
【分類・区分別の状況】(第2学年外国語(英語))

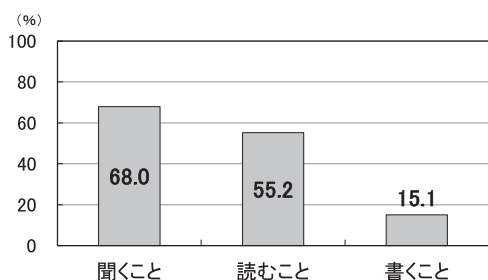
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
高知県	4,469	10.5 / 24	43.9

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	1.5
3問	3.1
4問	3.7
5問	4.8
6問	6.8
7問	7.3
8問	7.3
9問	8.9
10問	7.7
11問	8.4
12問	7.2
13問	7.0
14問	6.0
15問	5.1
16問	3.7
17問	3.2
18問	2.6
19問	2.2
20問	1.1
21問	0.8
22問	0.5
23問	0.3
24問	0.1

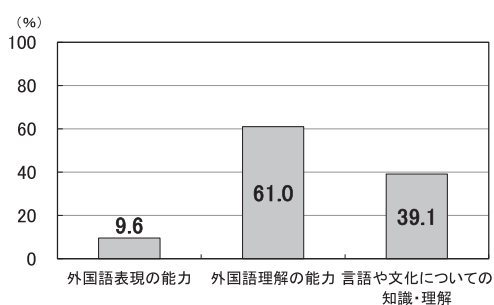
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



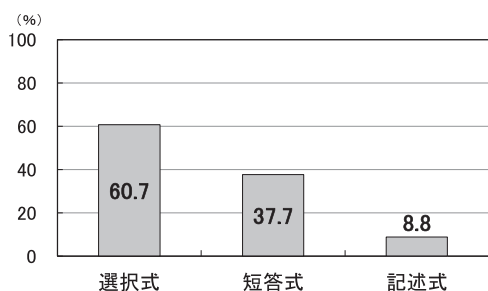
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



外国語(英語)の平均正答率は43.9%で、例えば次のような課題が見られた。

・聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること
[9(2)① 正答率13.6%、無解答率29.0%]

9 留学生のテッド(Ted)とケンタ(Kenta)は、休日の過ごし方について、次の【メールⅠ】と【メールⅡ】のように、連絡を取り合っています。これらを読んで、次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(2) テッドとケンタは、春休みに日帰りでMidori-machiに行くことにしました。あなたがケンタなら、【メールⅠ】と【メールⅡ】に書かれた2人の希望をかなえるために、どのような計画を立てますか。2つのメールや【天気予報】を参考に、【メールⅢ】の①、②に当てはまる適切な内容を入れ、英文をそれぞれ完成させなさい。

【天気予報】

月日(曜日)	3/28(日)	3/29(月)	3/30(火)	3/31(水)	4/1(木)	4/2(金)	4/3(土)

【メールⅢ】

March 27 19:30
Dear Ted,
Let's go to Midori-machi together. I think next Saturday is a good day to go because [①].
In the morning, let's go to the art museum. We will have great time there.
And then, let's have lunch. Yamakaze Restaurant has [②].
So let's go to Yamakaze Restaurant.
In the afternoon, we can enjoy walking in Kuroshio Park.
What do you think?
Kenta

※学習シート等との関連

英語ライティングシート

Ⅱ 重要表現編2年生P. 179~180

P. 193~194

Ⅲ テーマ作文編1年生P. 243~260

Ⅲ テーマ作文編2年生P. 277~290

高知県語彙検定KOCHI Core-tan 高知これ単

P. 34~36 P. 72 P. 173

【設問別正答率】（第1学年外国語（英語））

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		語句（under the table）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○				90	65.0	0.2
1	(2)		○		語句（two books and a pen）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○				90	94.3	0.0
1	(3)		○		語句（and his sister, every evening）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○				90	48.8	0.2
2	(1)		○		語句（Thursday, don't have Japanese）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（ダイアログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○				80	19.7	0.3
2	(2)		○		語句（You play the guitar / I play the piano）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（ダイアログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○				80	96.6	0.1
3	(1)		○		対話を聞いて、適切にしているもの（At school.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に反応する	(ウ)				○	○				80	40.1	0.5
3	(2)		○		対話を聞いて、適切にしているもの（That's great.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に反応する	(ウ)				○	○				80	75.0	0.4
4	(1)		○		対話の中の＜I have about 100 CDs.＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)				○	○				70	87.8	0.1
4	(2)		○		対話の中の＜on Wednesday, I come to school at seven forty.＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)				○	○				70	57.5	0.1
5	(1)		○		対話文に入る適切な語（Who）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○			70	79.4	0.2
5	(2)		○		対話文に入る適切な語（Do）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○			70	29.6	0.1
5	(3)		○		対話文に入る適切な語（She）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*				○	○			70	77.7	0.2
6			○		読書についてのアンケート結果の内容として適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)				○	○				70	77.9	0.3
7			○		対話の流れを考えて、意味が通るように＜Is he from Kochi? Where is it?＞を選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(ウ)				○	○				70	62.1	0.2
8			○		ボールからの電子メールを読んで、その内容として適切でないものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)				○	○				70	45.0	0.6
9	(1)		○		必要に応じて大文字や符号を使用しながら英文として正確に＜It's ten o'clock now.＞と筆記する	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書く			(ア)			○	○			70	32.3	3.7
9	(2)		○		必要に応じて大文字や符号を使用しながら英文として正確に＜Do you live in America?＞と筆記する	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書く			(ア)			○	○			70	45.0	4.1
10	(1)		○		＜Is she in the basketball club＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(イ)			○	○			80	20.2	4.5
10	(2)		○		＜Which do you want＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(イ)			○	○			70	48.0	4.4
10	(3)		○		＜my brother doesn't like them＞の文の構成を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く			(イ)			○	○			80	41.4	7.2
11	(1)		○		対話が成り立つように、流れを考えて＜Whose bag is this?＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く			(オ)			○	○			70	65.6	0.6
11	(2)		○		対話が成り立つように、流れを考えて＜What sport do you play?＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く			(オ)			○	○			70	70.6	0.5
12	(1)		○		ケンタとユキコの会話をもとに、高知では多くの人がよさこい祭りが大好きという文を、many people, love, in Kochi等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く			(オ)	○			○			60	7.7	27.2
12	(2)		○		ケンタとユキコの会話をもとに、ジョーンズ先生が毎週日曜日におどりを練習するという文を、practices, every Sunday等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く			(オ)	○			○			60	1.8	29.7
12	(3)		○		ケンタとユキコの会話をもとに、よさこい祭りを一緒に楽しもうと誘う文を、Let's enjoy, together等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く			(オ)	○			○			60	12.1	34.8

* 読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【設問別正答率】（第2学年外国語（英語））

問題番号	大問	小問	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			期待正答率（％）	高知県	
							聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		正答率（％）	無解答率（％）
1	(1)		○		語句（eating lunch, in the room）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○				90	75.6	0.2
1	(2)		○		語句（two birds and English words）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノローグ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	(イ)				○	○				90	76.7	0.1
2	(1)		○		対話の中の＜for three days＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)				○	○				70	85.0	0.1
2	(2)		○		対話の中の＜let's go there by bus＞を聞き取り、あとの質問の内容に合う適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る	(オ)				○	○				70	54.1	0.2
3	(1)		○		対話を聞いて、適切に応じているもの（Yes, I did.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(ウ)				○	○				80	80.0	0.3
3	(2)		○		対話を聞いて、適切に応じているもの（Thank you. I'll go there now.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(ウ)				○	○				70	36.6	0.5
4			○		対話を聞いて、MENUをもとに、適切な数（670）を書く	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に応じる	(ウ)				○		○			70	68.1	5.2
5	(1)		○		対話文に入る適切な語（Where）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*			○	○				70	55.4	0.3
5	(2)		○		対話文に入る適切な語（mine）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*			○	○				70	61.1	0.4
5	(3)		○		対話文に入る適切な語（gave）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などに関する知識を身に付けている		*			○	○				70	69.7	0.4
6			○		マリコが書いた日記を読んで、その内容として適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)				○	○				70	71.4	0.3
7			○		図書館について書かれた文を読んで、その内容として最も適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を読んで、大切な部分などを正確に読み取る	(ウ)				○	○				70	34.5	0.9
8			○		インタビューの結果をもとに、新聞記事の原稿の下書きに当てはまる内容の組み合わせとして適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を、大まかな流れをつかみながら読み取る	(ウ)				○	○				80	38.5	0.6
9	(1)	①	○		メールを読んで、テッドがみどり町に行ったとき、1日目に楽しんだことを選ぶ	話の内容などに対して感想、賛否やその理由を書いたりすることができるよう、書かれた内容や考えなどを捉える	(オ)				○	○				70	64.1	0.8
9	(1)	②	○		メールを読んで、テッドとケンタがそれぞれみどり町に行ったときの行動の中で2人に共通した行動を選ぶ	話の内容などに対して感想、賛否やその理由を書いたりすることができるよう、書かれた内容や考えなどを捉える	(オ)				○	○				70	46.8	1.1
9	(2)	①	○		メールや天気予報を参考に、ケンタが2人でみどり町に行く日を次の土曜日にした理由を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする	(ウ)	○					○			60	13.6	29.0
9	(2)	②	○		メールを参考に、ケンタが昼食場所をやまかぜレストランにした理由を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどする	(ウ)	○					○			60	5.2	41.4
10	(1)		○		＜How many＋名詞＞を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)				○		○			70	24.9	6.0
10	(2)		○		＜動名詞＞を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)				○		○			70	14.8	8.3
10	(3)		○		＜to不定詞＞を使った表現を理解し、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	(イ)				○		○			70	43.0	7.6
11			○		お父さんが家族で飼うペットをナンシーに決断させようとする文を、適切に書く	文と文のつながりに注意して書く	(オ)				○			○		60	4.9	43.0
12	(1)		○		主な学校行事をもとに、選んだ学校行事がどの時期に行われるかを、in~, we have等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)	○						○		60	4.0	28.2
12	(2)		○		主な学校行事をもとに、選んだ学校行事の内容を、will, learn, enjoy, play等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)	○						○		60	8.1	31.3
12	(3)		○		選んだ学校行事と一緒に楽しむことや学校行事への参加を呼びかける文を、Let's enjoy, Join等を使って書く	資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書く	(オ)	○						○		60	17.3	35.8

*読むことに必要な表現、文法についての知識を問う内容

「太字」は、期待正答率を上回る県平均正答率

「白抜き」は、期待正答率と比べ、－10ポイント以下の県平均正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる県無解答率

【中学校外国語（英語）における成果と課題】

		第 1 学年			第 2 学年		
		領域・内容	問題番号	出題のねらい	領域・内容	問題番号	出題のねらい
成果	本年度	聞	2 (2) 96.6%	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（ダイアログ）を聞いて、人や楽器についての情報を正確に聞き取ること	聞	2 (1) 85.0%	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること
			6 77.9%	まとまりのある英語を読み、大切な部分などを正確に読み取ること			
	経年	聞	4 (1) 87.8% H27 4 (2) 県 78.6%	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること	読	9 (1) 64.1% H27 8 (1) 県 41.8%	メールの内容を読み取り、書き手の行動を捉えること
			11 (2) 70.6% H27 11 (1) 県 52.4%	文と文のつながりに注意し、対話の流れに合った文を書くこと			
課題	本年度				書	10 (1) 24.9% (2) 14.8%	語と語のつながりなどに注意して正しい語順（How many を使った疑問文、動名詞を使った肯定文）に並べかえること
						11 4.9%	文と文のつながりに注意し、対話の流れに合った文を書くこと
	経年	書	9 (1) 32.3% H27 9 (1) 県 20.1%	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと	書	9 (2) ① 13.6% ② 5.2% H27 8 (3) 県① 11.9% ② 7.1%	メールの内容を読み取り、天気予報を参考に、提案する内容のメールを書くこと
			10 (1) 20.2% H27 10 県 (1) 56.1%	語と語のつながりなどに注意して正しい語順（be 動詞を使った疑問文）に並べかえること		12 (1) 4.0% (2) 8.1% (3) 17.3% H27 11 県 (1) 8.8% (2) 8.2% (3) 15.2%	資料（学校行事の情報）を基に、文と文のつながりなどに注意してパンフレットの内容を書くこと
			12 (1) 7.7% (2) 1.8% (3) 12.1% H27 12 県① 27.8% ② 40.9% ③ 31.3%	対話を基に、文と文のつながりなどに注意してよさこい祭りへの参加を呼びかけるメッセージカードの内容を書くこと →P. 62「中学校外国語（英語）指導改善のポイント」へ			

【領域・内容】聞：聞くこと、読：読むこと、書：書くこと

今後さらに重点となる指導改善のポイント

○まとまりのある文章を書く力を育成するためには、単に示された 1 文ごとの意味内容を英語で表現することにとどまらず、「読むこと」や「聞くこと」と有機的に関連付け、書く目的に具体性をもたせることが大切である。

○英語運用力を伸ばすためには、身近な出来事や体験したなどについて、学習した語句や文法事項を活用して、生徒同士が英語で表現し伝え合う機会を多くもつことが大切である。

4 調査問題等の活用

各教科の指導改善のポイントと授業アイデア例について

今回の調査問題を活用し、今後の指導改善を進めるためのポイントとして、以下の①～④の流れを示しました。また、調査問題の解答類型等からつまずきの状況を把握し、その解決を図るための具体的な事例として、授業アイデア例を示していますので、ぜひ参考にしてください。

小学校国語 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題②（二）

① 《出題のねらい》
事実と意見を区別することともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができるかどうかをみる。

② 《学習指導要領における領域・内容》
B 書くこと（第5学年及び第6学年）
(1) ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
C 読むこと（第5学年及び第6学年）
(1) ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえて、自分の考えを明確にしながらかんたんに読むこと。

③ 解答類型

解答類型	反率(%)	正答
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【資料2】から、澤選手の生き方や考え方を取り上げて書いている。 ② 澤選手の生き方や考え方をから考えたことを書いている。 ③ 百字以上、百二十字以内で書いている。	28.2	○本設問は、「澤選手に学ぶ、この言葉」を読み、複数の条件に沿って、その【思いやん文の言葉】をきく問題であり、正答率は28.2%である。
(正答例) ・澤選手は、「がんばらない」というのではなく、自分ががんばり、そのすがたを見せることでチームを引っ張りました。その結果、チームは準決勝まで進みました。言葉だけでなく行動で澤選手の生き方を写し出しています。(100字)	28.2	○解答についてみると、類型27.8%であり、資料に書かれている出来事、人物の生き方や考え方を捉え、自分の知識や経験と関係付けながら読むことができていないと思われる。また、類型9が19.6%であり、複数の条件に沿って書くことができていない解答も多い。
1 条件①、②を満たして解答しているもの	1.4	○こうしたことから、目的に応じて、文章の内容を適切に押さえて、自分の考えを明確にしながらかんたんに読むことができていない解答があると考えられる。
2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	27.8	
3 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	9.3	
4 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	19.6	
5 上記以外の解答	13.7	
6 無解答		

④ 学習指導に当たって

【読むこと】
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて、自分の考えを明確にする力をつける。
・何のために、どのようなことが必要かなどを明確にした上で、文章に書かれている出来事、人物の生き方や考え方を捉え、自分の知識や経験と関係付けながら読む。

【書くこと】
・叙述を基に、自分の考えをまとめる。
・一字数制限や根拠とする文章など、複数の条件に沿って書く。

⑤ 【学習シート等との関連】

国語学習シート No. 7 4「作文読み立てメモ」	高知県国語指導改善資料集 P.60～67
国語学習シート No. 8 7「だん高のつながり」	
国語学習シート No. 9 4「意見文構成メモ」	

①

調査問題の出題のねらいと学習指導要領における領域・内容を記述しています。

②

解答類型別反率と児童生徒の解答状況から分析した誤答の傾向を記述しています。

③

課題解決を図る授業づくりの参考となるよう、学習指導におけるポイントを記述しています。このことを踏まえて、授業アイデア例を作成しています。

※1単位時間あるいは1単元の指導において、注目・留意していただきたい点を示しています。

④

評価問題などとして活用できる学習シート等を示しています。

◇ 授業アイデア例

各教科における課題が見られる問題を活用し、「学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント」に基づき、子どもたちに、「何を学ぶのか」が分かり、「何を学んだか」を実感できるよう授業展開例を示しています。

指導のねらい 目的や必要に応じて、伝記の内容を的確に押さえて、自分の考えを明確にしながらかんたんに読むこと。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせる。

二、学習のねらい・見通しをつかませ、授業のねらいを工夫する。

② 全員が課題意識に取り組みできるよう、適切な支援を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書き出したりする。

③ 話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

四、学習したことの振り返りの場を設定する。

④ 振り返りの場を工夫する。

⑤ 振り返りの場を工夫する。

⑥ 振り返りの場を工夫する。

⑦ 振り返りの場を工夫する。

⑧ 振り返りの場を工夫する。

⑨ 振り返りの場を工夫する。

⑩ 振り返りの場を工夫する。

⑪ 振り返りの場を工夫する。

⑫ 振り返りの場を工夫する。

⑬ 振り返りの場を工夫する。

⑭ 振り返りの場を工夫する。

⑮ 振り返りの場を工夫する。

⑯ 振り返りの場を工夫する。

⑰ 振り返りの場を工夫する。

⑱ 振り返りの場を工夫する。

⑲ 振り返りの場を工夫する。

⑳ 振り返りの場を工夫する。

㉑ 振り返りの場を工夫する。

㉒ 振り返りの場を工夫する。

㉓ 振り返りの場を工夫する。

㉔ 振り返りの場を工夫する。

㉕ 振り返りの場を工夫する。

㉖ 振り返りの場を工夫する。

㉗ 振り返りの場を工夫する。

㉘ 振り返りの場を工夫する。

㉙ 振り返りの場を工夫する。

㉚ 振り返りの場を工夫する。

㉛ 振り返りの場を工夫する。

㉜ 振り返りの場を工夫する。

㉝ 振り返りの場を工夫する。

㉞ 振り返りの場を工夫する。

㉟ 振り返りの場を工夫する。

㊱ 振り返りの場を工夫する。

㊲ 振り返りの場を工夫する。

㊳ 振り返りの場を工夫する。

㊴ 振り返りの場を工夫する。

㊵ 振り返りの場を工夫する。

㊶ 振り返りの場を工夫する。

㊷ 振り返りの場を工夫する。

㊸ 振り返りの場を工夫する。

㊹ 振り返りの場を工夫する。

㊺ 振り返りの場を工夫する。

㊻ 振り返りの場を工夫する。

㊼ 振り返りの場を工夫する。

㊽ 振り返りの場を工夫する。

㊾ 振り返りの場を工夫する。

㊿ 振り返りの場を工夫する。

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント

授業中に

項目	チェック
1. 子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。	☐
① 学習指導要領の指導内容に基づいてねらいを設定する。	☐
② 児童生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせる。	☐
2. 学習のねらい・見通しをつかませ、授業のねらいを工夫する。	☐
① 板書計画に基づいた見通しを授業で示す。	☐
② 授業の流れや思考の過程がわかるように工夫する。	☐
3. 自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書き出したりする。	☐
① 教科の特質を生かした方法で表現できるように工夫する。	☐
② 全員が課題意識に取り組みできるよう、適切な支援を工夫する。	☐
4. 話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。	☐
① ねらいを達成するために、話し合いや書く活動を明確にしている。	☐
② 考えを深めたり広げたりすることができるように、児童生徒の意見を積極的に取り入れる。	☐
5. 学習したことの振り返りの場を設定する。	☐
① 児童生徒に学んだことや考えたことなどを確認させる。	☐
② 学習内容に有用な情報や評価問題を授業で活用する。	☐
日常的に	☐
6. 学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。	☐
7. すべての子どもが適切な学習環境を整える。	☐
（すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓など）	☐
8. あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。	☐

平成27年10月 高知県教育委員会事務局 高知県立小中学校

調査結果の分析を踏まえ、身に付けさせる力（「何ができるようになるか」）を明確にし、学びの姿（「どのように学ぶか」）を考え、学習指導の工夫・改善を図る取り組みを充実させてください。

小学校国語 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題2二（2）

① 《出題のねらい》

事実と意見を区別することとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 書くこと〔第5学年及び第6学年〕

（1）ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

C 読むこと〔第5学年及び第6学年〕

（1）ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

② 解答類型		反応率(%)	正答	○本設問は、「澤穂希に学ぶ、この言葉」を読み、複数の条件に沿って、その【すいせん文の下書き】を書く問題であり、正答率は28.2%である。 ○誤答についてみると、類型3が27.8%であり、資料に書かれている出来事、人物の生き方や考え方を捉え、自分の知識や経験と関係付けながら読むことができていないと思われる。また、類型9が19.6%であり、複数の条件に沿って書くことができていない解答も多い。 ○こうしたことから、目的に応じて、文章の内容を適切に押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだり、複数の条件に沿って書いたりすることに課題があると考えられる。
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【資料2】から、澤選手の生き方や考え方を取り上げて書いている。 ② 澤選手の生き方や考え方から考えたことを書いている。 ③ 百字以上、百二十字以内で書いている。				
(正答例) ・澤選手は、「がんばりなさい」というのではなく、自分ががんばり、そのすがたを見せることでチームをひっぱりました。その結果、チームは準決勝まで進みました。言葉だけでなく行動で示す澤選手の生き方を見習いたいです。(103字)				
1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	28.2	◎	
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	1.4		
3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	27.8		
4	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	9.3		
9	上記以外の解答	19.6		
0	無解答	13.7		

③ 学習指導に当たって

【読むこと】

- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にする力を付ける。
→何のために、どのようなことが必要かなどを明確にした上で、文章に書かれている出来事、人物の生き方や考え方を捉えさせ、自分の知識や経験と関係付けながら読ませる。

【書くこと】

- ・叙述を基に、自分の考えをまとめさせる。
→字数制限や根拠とする文章など、複数の条件に沿って書かせる。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート No. 74 「作文組み立てメモ」 高知県国語指導改善資料集 P. 60～67
 国語学習シート No. 87 「だん落のつながり」
 国語学習シート No. 94 「意見文構想メモ」

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

- ① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

- ② 全員が課題解決に取り組めるよう、適切な支援をしている。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

【課題解決的な言語活動】

伝記を読んで、おすすめの一冊を紹介しよう

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

◇学習のねらいと言語活動の内容（教師による伝記の紹介・推薦文等）を具体的に示し、学習への意欲と見通しをもたせる。

第二次 伝記を読み、目的や必要に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを整理して推薦文を書く

活動1 目的や必要に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えをまとめる

《伝記を読む時のポイント》

- ①取り上げられている出来事確かめる。
※人物の生き方や考え方が表れている叙述に着目する。
※自分の知識や経験と関係付けながら読む。
- ②見付けた叙述を根拠に、自分の考えをまとめる。
※求められる分量や表現の仕方に合わせる。（引用・要約）

→ 自分の考えを書くためには、「人物像を表す言葉表」など、語彙を豊かにする手立ても必要です。

活動2 着目した叙述と自分の考えを整理し、推薦文を書く

《書く時のポイント》

- ①一番心に響いた叙述に着目し、自分はどのように考えたのか書く。
- ②自分の経験や考え方などとの相違点や共通点を見付け、まとめる。

→ 推薦文を書くためには、記述の際のモデルを示す工夫が必要です。記述の内容や仕方について具体的に示し、取り出した複数の情報を関係付ける手順や方法について、丁寧な指導を行うことが大切です。

（推薦文に書く内容の例）

- ・本の題名、作者
- ・どのような人に薦めるか
- ・一番心に響いた叙述（人物の生き方や考え方）と自分が考えたこと

推薦理由を明らかにするために、人物の生き方や考え方が表れている叙述に着目し、自分の思いや考えをまとめることが大切だと分かりました。



第三次 選んだ伝記の推薦文を書き、おすすめの一冊を紹介する。友達が推薦した伝記を読み、読んだ感想を交流する

活動3 活動1・2で学習したことを生かし、選んだ伝記の推薦文を書き、互いに読み合って感想を述べ合う
学習を振り返り、自己評価をする

並行読書

小学校算数 指導改善のポイント（第4学年）

【課題が見られる設問の例】 問題6(2)

① 《出題のねらい》

示された情報から、方眼紙を半分に折って切ったときにできる図形が正方形となる理由を記述できるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

C 図形

(2) 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、図形についての理解を深める。

ア 直線の平行や垂直の関係について理解すること。

イ 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。

② 解答類型

		反応率(%)	正答	
(正答の条件) ㊦に(a)を書き、㊦に(b)を書いている。 (a) 対角線の長さが8 cmであることとその理由 (b) 点エが、対角線アウの真ん中の点になることとその理由				○本設問は、方眼紙を半分に折ったまま、三角形の辺に沿って切ったとき、正方形ができるわけを書く問題である。正答率は6.6%である。 ○誤答についてみると、解答類型9が58.1%であり、その中の㊦に関する記述では、8 cmであることの根拠が十分に表現できていない解答や㊦に関する記述では、数値を基に、点エが真ん中の点であることを表現できていない解答が多く見られた。また、対角線ではなく、辺の長さに着目して説明している解答が見られた。
(正答例) 【㊦】(もう1つの対角線の長さは、)直線エオの2倍になるので、 $4 \times 2 = 8$ で8 cmです。 【㊦】(点エは、)点アと点ウからそれぞれ4 cmのところにあるので、点エは対角線アウの真ん中の点になります。				
	㊦	㊦		
1	(a)を書いているもの	(b)を書いているもの	6.6	◎
2		(b)について理由を書いていないもの	5.6	
3	(a)を書いているもの	(b)について、点エが、対角線アウの真ん中の点になることを書いていないもの	3.5	
4	(a)について理由を書いていないもの		1.5	
5	(a)について、対角線の長さが8 cmであることを書いていないもの	(b)を書いているもの	0.7	
9	上記以外の解答		58.1	
0	無解答		24.0	

③ 学習指導に当たって

全国学力・学習状況調査結果から、与えられた条件や図形の定義、性質を基に、事象から見いだした図形を判断し、その理由を説明することに課題が見られる。論理的な思考力を育てるためには、根拠を明らかにして考えを進めることができるようにすることが大切である。

例えば、本問題を用いて、四角形が正方形であることを見いだした後に、正方形のどんな性質が根拠になるのかを説明する活動を取り入れたり、切ったときにできる図形がどの四角形の特徴に当てはまるかを調べるなど、実感的な理解を深める活動を取り入れたりすることが考えられる。

このように、条件を変えて、図形の構成を比較し、根拠になる図形の性質を用語や数値を適切に用いて説明する活動などを取り入れることも大切である。

④ 【学習シート等との関連】

単元テストシステム チャレンジ問題

第4学年 第2回 大問5



とあるさんのノート

点オは、円①の中心だから、直線アオと直線ウオは、円①の半径になり、長さが等しくなります。このことから、点オは直線アウの真ん中の点であることがわかります。

また、

円の中にできた四角形アイウエの2本の対角線がそれぞれの真ん中で交わることから、四角形アイウエは平行四辺形だといえます。

指導のねらい 図形の性質を基に、示された図を切って広げたときにできる四角形を判断し、判断した理由を説明することができる。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

①教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

①児童に学んだことやさらに考えたことなどを確認させている。

問題（１）

図１のように、点エから３ｃｍのところに点イをとり、方がん紙を半分におったまま辺アイ、辺イウにそって切って広げたとき、どんな四角形ができますか。

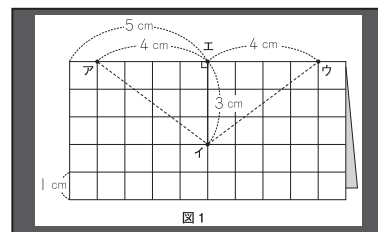


図 1

図形を観察・考察し、解決の見通しをもつ



図１からは、四角形の辺の長さや角の大きさは分からないね。

対角線の長さは分かるよ。



対角線の特ちょうを使って、どの四角形ができるか説明しよう。

四角形の対角線の特ちょう

特ちょう	名前	正方形	長方形	ひし形	平行四辺形	台形
① 2本の対角線の長さが等しい		○	○			
② 2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わる		○	○	○	○	
③ 2本の対角線が垂直である		○		○		

図からわかることを使って、対角線の特徴を調べてみようよ。

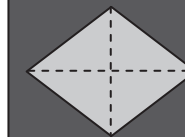


※対角線の長さや交わり方を調べ、どの四角形になるかを考えさせることが大切です。

対角線の特ちょうから、ひし形になるね。



ひし形の対角線の特ちょうが当てはまっていることを、実際に切って広げて、確かめてみようよ。



ひし形

- ・2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わっている。
- ・2本の対角線が垂直に交わっている。

条件を変えた場合にできる図形を判断し、その理由を考える

問題（２）

図２のように点イの位置を変えると、どんな四角形ができるかを考えましょう。

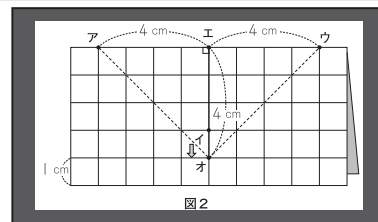


図 2



2本の対角線の長さは、等しくなったんじゃないかな。

そうだよね。だから、今度は、正方形ができたよ。



正方形の対角線の特徴の3つに当てはまるか、切らずに調べてみましょう。

- ・2本の対角線の長さが等しいことの理由は
- ・2本の対角線がそれぞれの真ん中の点で交わっていることの理由は
- ・2本の対角線が垂直に交わっていることの理由は

問題解決の方法を振り返り、学んだことなどを確認する

どの四角形になるのかを調べるときに、四角形の対角線の長さや交わり方をもとに判断できることが分かりました。



小学校理科 指導改善のポイント（第5学年）

【課題が見られる設問の例】 問題4（1）

① 《出題のねらい》

閉じ込めた空気を圧し縮めたときの体積変化と押し返す力とを関係付けて捉え、空気鉄砲の前玉が飛ぶ仕組みに当てはめて考察し、記述できるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第4学年 A 物質・エネルギー（1）空気と水の性質

閉じ込めた空気及び水に力を加え、その体積や押し返す力の変化を調べ、空気及び水の性質についての考えをもつことができるようにする。

ア 閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなること。

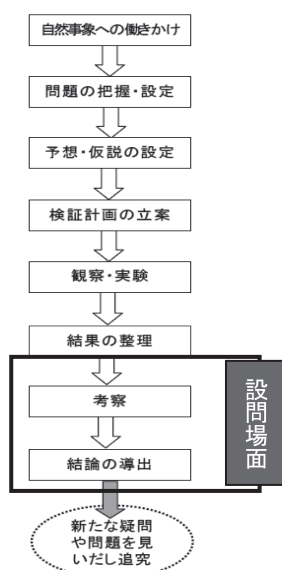
イ 閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないこと。

② 解答類型

		反応率(%)	正答	
	（正答の条件） 書き出しの言葉に続けて、次の（a）、（b）の全てを記述している。 （a）筒の中の空気が圧されて体積が小さくなることを示す趣旨で解答しているもの （b）筒の中の空気が元に戻ろうとする力によって、前玉がおされることを示す趣旨で解答しているもの （正答例） （おしぼうで後玉をおすと、）つつの中の空気がおしちぢめられて、体積が小さくなり、体積が小さくなった空気が元にもどろうとする力によって、前玉がおされて飛ぶ。			○本設問は、閉じ込めた空気を圧し縮めたときの体積変化と押し返す力とを関係付けて捉え、「閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなること」を、空気鉄砲の前玉が飛ぶ仕組みに当てはめて考察したことを書くものである。正答率は42.0%である。 ○誤答として、「筒の中の空気がおしちぢめられて、その空気が前玉をおし出す」「中に入っている空気におされて前玉が前に出る」「空気がおしちぢめられ、体積が小さくなるほど元に戻ろうとすることがわかった」等の解答がある。閉じ込めた空気を圧し縮めたときの空気の体積変化と押し返す力とを関係付けて的確に捉えることや、空気鉄砲の前玉が飛ぶ仕組みについて、閉じ込めた空気の性質を当てはめて解釈し、適切に表現することに課題があると考えられる。
1	（a）、（b）の全てを記述しているもの	42.0	◎	
2	（a）を記述しているもの	21.6		
3	（b）を記述しているもの	4.8		
9	上記以外の解答	27.8		
0	無解答	3.8		

③

学習指導に当たって



実験とは違う他の場面において、学習を通して身に付けた知識・技能を活用できるようにするためには、自然事象の性質や働き、規則性を適用したものづくりを行ったり、日常生活における事象と関係付けて捉え、科学的な言葉や概念を用いて考え、説明したりする活動を充実させることが大切である。さらに、新たな疑問や問題を見だし、追究していく活動等につなげるにより、児童自身が学びの深まりや変容を自覚したり、理科の有用性を認識したりできるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ※考えの根拠となる事実の捉えは適切か、事実を基に解釈した内容は問題と正対しているか確認する。
 - ※実験結果から結論を導き、まとめるだけでなく、日常生活や、身の回りの道具類の仕組みに着目して考えたり、どのような自然事象の性質や働き、規則性を活用するのか明確にしてものづくりを行ったりする。⇒次ページで紹介
- 問題解決の各活動の指導のポイントは、平成26年度及び27年度高知県学力定着状況調査結果の概要を参照してください。

指導のねらい 閉じ込めた空気や水を圧したときの圧す力と体積変化との関係や、体積変化と押し返す力との関係を適用したものづくりを通して、空気及び水の性質について理解を深める。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

① 児童にねらいをつかませ、課題意識をもたせている。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

① 教科の特質を生かした方法で表現できるよう、手立てを工夫している。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

② 考えを深めたり広げたりすることができるよう、児童の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したこと振り返りの場を設定する。

問題解決の過程を通して見いだした「空気及び水の性質」

- ・閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなること
- ・閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないこと

空気や水の性質を生かして、どのようなおもちゃが作れるだろうか

① 空気や水のどのような性質を利用しておもちゃをつくるのかを明確にし、計画を立てさせましょう。

ノートにおもちゃづくりの計画を書く

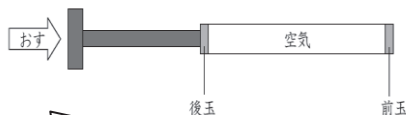
空気や水の性質を利用したおもちゃをつくる

【つくるおもちゃ】空気でっぽう

【利用する空気の性質】

とじこめた空気をおすと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなること。

【空気でっぽうの図】



つくるものを図や絵に表して、イメージをもたせるとよいでしょう。

【前玉が飛ぶしくみ】

後玉をおしぼうでおすと、つつの中の空気がおしちぢめられて体積が小さくなる。体積が小さくなった空気が元にもどろうとする力によって前玉を強くおす。

【準備するもの】……………

【工夫したところ】……………

おもちゃをつくる過程での改善点や工夫点なども書かせるとよいでしょう。

② つくったおもちゃについて、空気や水のどのような性質をどのような仕組みに利用したのかを説明し合い、交流させましょう。



私は空気でっぽうをつくりました。利用した空気の性質は……で、……というしくみで前玉が飛ぶようになっています。工夫したところは……です。

つつの長さを変えて、とじこめた空気の量を多くすると、前玉の飛ぶ距離が長くなりそう。

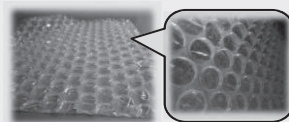


③ 交流を通して、気付いたことや新たな疑問について、追究する活動を設定しましょう。



私は、よく飛ぶ水でっぽうのしくみに興味をもちました。これには空気や水の性質が利用されていて……。水が飛び出す仕組みは……です。

☆空気や水の性質が、生活や身の回りの道具（タイヤ、気泡シート等）にどのように利用されているのかを話し合う学習活動を設定することもよいでしょう。



問題解決の過程

自然事象への働きかけ

体験活動Ⅰ

問題の把握・設定

言語活動Ⅰ

予想・仮説の設定

Ⅰ

検証計画の立案

観察・実験

体験活動Ⅱ

結果の整理・考察

言語活動Ⅱ

結論の導出

Ⅱ

活用関連

体験・言語活動Ⅲ

中学校国語 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題3

① 《出題のねらい》

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 書くこと〔第1学年〕

（1）ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。《記述》

C 読むこと

（1）エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》

② 解答類型

反応率(%)

正答

（正答の条件）

次の条件を満たして解答している。

① アに「動物の生存の権利を守る為に、人間はどのように動物と関わっていったらよいと思うか」について、自分の考えを書いている。

② アに「動物の生存の権利を守るためには、……必要がある。」という形に当てはまるように書いている。

③ イに、アのように考えた理由を「優位」と「責任」の二つの言葉を使って書いている。

④ イに八十字以上、百字以内で書いている。

※誤字・脱字は評価の対象としない。

（正答例）

・ア

（動物の生存の権利を守るためには、）人間に都合のよい動物保護にならないようにする（必要がある。）

・イ

人間に害を与えてきた動物でも、絶滅させる権利は人間にはない。人間に優位に考えることなく動物を保護し、動物とともに生きていくことを考えることが人間の責任だと考えたから。（83字）

○本設問は、動物の生存の権利を守るために、人間はどのように動物と関わっていったらよいのか、自分の考えをアに書き、そのように考えた理由を「優位」と「責任」の二つの言葉を使ってイに書くものである。正答率は27.4%である。

○誤答についてみると、類型5が11.9%と多く、イに「優位」と「責任」の二つの言葉のうち、一つの言葉だけを使って書いていたり、アのように考えた理由ではなく、アに書いた内容と関連のない別の考えを書いていたりする解答がみられた。

1	条件①、②、③、④を満たして解答しているもの	27.4	◎
2	条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	1.9	
3	条件①、③、④を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	4.4	
4	条件②、③、④を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	1.8	
5	条件①、②、④を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	11.9	
9	上記以外の解答	33.9	
0	無解答	18.7	

③

学習指導に当たって

書き手のものの見方や考え方について、自分の考えをもつことに当たっては、これまでに身に付けてきた知識や様々な体験と関連付けて問題点を指摘するなど、具体的なものに基づいて考えを形成することが大切である。また、書き手が話題としている問題などについて、読み手が自分の問題として捉えることが自分のものの見方や考え方を深めていくために重要である。

本や文章を読んで得られた情報や知識は、他者に向けて説明することで一層明確になるとともに定着が図られる。説明をする際には、複数の情報を正確に理解し、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けたりして、説明する内容を表現することが求められる。特に①本や資料から得た情報を正確に理解して整理しているか、②伝えたい内容を正確かつ分かりやすく述べているか、の二点を意識するように指導することが大切である。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート

10 根拠の明確な文章の構想 12 情報を集めよう
23 要約・要旨 46 確認テスト
50 社会で話題になっていることについて考えよう
66 確認テスト

国語学習シート
活用事例集

p. 13～16
「目的や意図に応じて短時間で
要旨をとらえる場合の活用例」

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

自分の考えを説明したり、仲間の考えを聞いたりする活動は、生徒の視野を広げ、思考力・判断力・表現力を養い、深い学びにつながります。



四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

②考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値付けたりつなげたりしている。

五、学習したこと振り返りの場を設定する。

【言語活動】テーマに沿って本や資料を読み、自分の考えを分かりやすく文章に書く。

学習の見通しをもつ。

- ◇学習のねらいや単元全体の流れを確認する。
 - ・学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しをもたせる。

テーマに沿って本や資料を読む。

例：動物と人間の関係について考える

〈目的〉テーマについて自分たちの考えを伝えるために、学校だよりに掲載する文章を書く。

※テーマを決めるに当たっては、教科書で学習した内容と関連させたり、身近な出来事からグループで話し合ったりするなどして設定することも考えられる。

本や資料から得た情報を整理する。

◇読んだ本や資料の内容について要旨をまとめる。

- ・本や資料がそれぞれどのようなことをどのように伝えようとしているのか、またそれを読んで感じたことや考えたことをノートにまとめる。

【テーマ】 動物と人間の関係 について考える	
○動物の研究者の本 「△△△△△」作者へ 人間の身勝手な行動が絶滅危惧の動物たちを生んでいる実態について書かれている。一番印象に残っているのは……	○動物園の飼育員の本 「◇◇◇◇◇」作者へ 自分たちの身近な動物の知られざる生態について書かれている。私の苦手な□□□が実は私たちの生活と深い関わりがあり……
○ペットについての新聞記事 「▼▼▼▼▼」×月××日朝刊 ちやほやされていたはずのペットたちが、飼い主の都合で手放され、環境破壊の原因になったり、命を落としていたりする。また、大事に育てられていたペットも……	○動物が主人公の漫画・アニメ 「■ ■ ■ ■ ■」作者へ 動物の目線で人間社会を描いた作品だ。特に……

※生徒の実態や授業時数等により、一人が複数の本を読んだり、グループで分担して一人一冊を読んで情報を共有したりするなどの工夫が考えられる。

◇テーマに沿って、自分の考えをまとめる。

- ・読んだ本や資料の内容などを根拠に、自分の考えを明確にし、簡潔にまとめる。

テーマに沿って考えを交流する。

- ・グループでお互いの考えを交流し、出された意見や自分の考えの変容などをメモさせる。

私は、人間と動物は共存していくべきだと思います。そのために、まず、いろいろな動物について知ることが大切だと思います。なぜなら……

人間と動物が共存できるというのだけれど、本当にできるのかな。

動物が人間のためにしてくれていることがあるように、人間が動物のためにできることがあると思うよ。

根拠を明確にし、自分の考えを分かりやすく書く。

◇テーマに沿って自分の考えを書く。

- ・本や資料から得た情報やグループ交流で出された意見を踏まえ、自分の考えが効果的に伝わるように書かせる。

書いた文章を読み返し、推敲する。

◇書いた文章をグループで読み合い、推敲する。

- ・根拠として示した内容が適切かどうか、資料から得た情報を正しく理解して表現しているかなどについて交流させ、吟味させる。

◇意見交流で出されたことを生かして、書き直す。

- ・読み手に伝わる文章になっているか、構成や表現の工夫について書き直した文章を読み返させる。

◇これまでの学習を振り返る

- ・本単元を通じて学んだ効果的な表現の仕方について、今後、自分の表現の参考にすることができるよう意識させる。

生徒が書いたものは必ず教員が目を通し、どのような表現が分かりやすく効果的に伝わるのか助言することが大切です。



【課題が見られる設問の例】 問題4（2）

① 《出題のねらい》

資料を基に、北海道地方の農業の特色を、気候の特色と関連付けて説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

〔地理的分野〕

（2）日本の様々な地域

ウ 日本の諸地域

日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方に基づいて、地域的特色をとらえさせる。

(ア)自然環境を中核とした考察

地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える。

② 解答類型

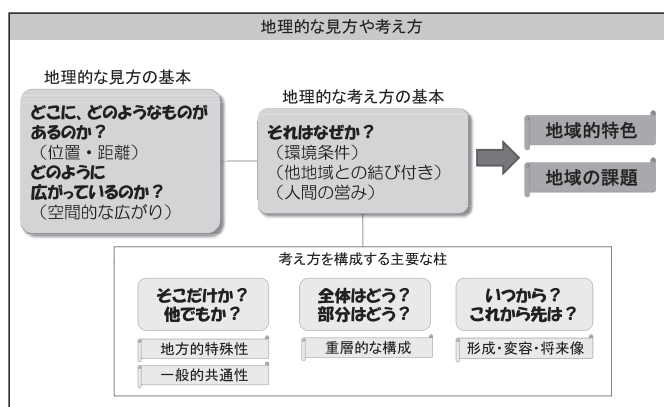
	反応率(%)	正答	
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 霧の日数と日照時間の関係から、夏の気温が上がらないことを書いている。 (b) 気温に適した作物の栽培や家畜の飼育をしていることを書いている。 (正答例) 夏に霧の日数が多く、日照時間が短いため、気温が上がらず、稲作に適さない。そのため、気温が低くても育つ作物の栽培や乳牛の飼育を広大な土地を利用して大規模に行い、畑作や酪農がさかんである。(解答類型1)			○本設問は、天候の特色と関連付け、十勝平野と根釧台地の農業の特色を説明させる活動を設定したものである。正答率は24.5%であり、無解答率は27.7%である。 ○誤答についてみると、類型9が29.4%であり、資料に関係なく自分の考えを書いたもの、資料から情報を抜き出しただけのものが多い。また、類型2は18.3%であり、資料から読み取った情報を基にして、夏の気温が上がらないことが書けていない解答がみられた。これらのことから気温に適した作物の栽培や家畜の飼育が行われている地域的特色の根拠として、資料を適切に活用することに課題があると考えられる。
1 条件(a)、(b)を満たして解答しているもの 例 夏に霧の日数が多く、日照不足で気温が上がらない。そのため、涼しい気候に適した畑作や酪農が行われている。	24.5	◎	
2 条件(b)を満たし、条件(a)を満たさないで解答しているもの 例 気温の低い地域に適した作物を育てる畑作や乳牛を飼育する酪農を大規模に行っている。	18.3		
9 上記以外の解答	29.4		
0 無解答	27.7		

③ 学習指導に当たって

地理的事象を比較・関連付け・総合して、考える活動の充実

地理的分野の学習では、生徒が、地理的事象を見いだしてその特色を調べたり、事象間の関連を考察したりして、地域的特色をとらえていくような学習活動が求められている。

地域的特色を追究するための適切な課題を設定し、様々な資料を適切に活用して地域的特色を考察し、追究した過程や結果を適切に表現するなどの学習活動を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付けさせることが大切である。



◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

②生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせる。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

地理的事象を見いだす段階

中核とした事象を他の事象と関連付けて追究する段階

追究の過程や結果を表現する段階

学習の見通しをもつ

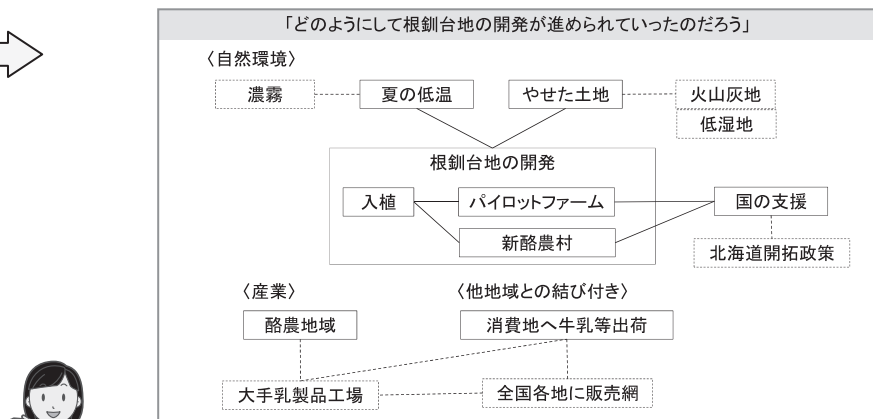
北海道地方の自然環境を生かした産業や歴史について、根拠となる適切な資料を活用して説明しよう。

資料の読み取りを基に北海道地方を特色付ける地理的事象を見いだす

- ・ 地図を見て北海道地方を概観し、地形や都市の分布、交通網などを捉える。
- ・ 北海道各地の空中写真や景観写真、地図などから読み取り、比較することで、北海道地方の産業や開発の歴史に関する地理的事象を見いだす。

特色ある「農地の開発」や「街づくり」などについて考察する

※「どのようにして根釧台地の開発が進められていったのだろう」など、個人の学習課題を設定し、多面的・多角的に考察させる。

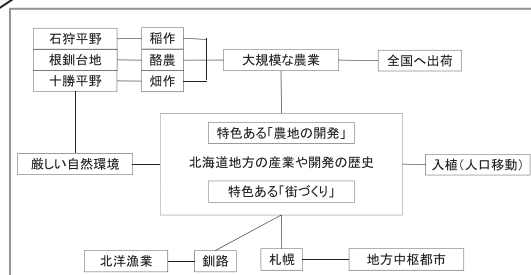


根釧台地は酪農が盛んです。夏でも冷涼な気候だったので稲作や畑作に向かず、国の支援を受け酪農家が入植しました。その結果、日本有数の酪農地域となり、牛乳等を東京などの消費地へ出荷しています。

酪農について、自然環境や他地域との結び付きとの関連が図に示されていて、「どこで」「なぜ」「どのように」がわかるようにまとめられているね。

自分で考察した結果や友だちの考えを基に、事象間の関連をまとめる

- ・ 地理的な見方や考え方を深める。
- ⇒ 北海道の地域的特色について、追究した個々の事象の関係を地図を活用して表現したり、事象間の関連について説明したりする。



※白地図に取り上げた事象が見られる位置や分布、関連する事象などを記入させたり、複数の地図を重ね合わせて関連付けたりして事象間の関連をまとめさせる。

学んだことを振り返る

※ねらいを達成できたか、何を学んだのかなど、振り返りの視点を示す。

中学校数学 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題6（2）

① 《出題のねらい》

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

C 関数

- （1） 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

② 解答類型

		反応率(%)	正答	
(正答の条件) 次のことを記述しているもの。 <グラフを用いることについて記述している場合> 次の(a)、(b)について記述している。 (a) 年数と先端の地面からの高さの関係をグラフで表すこと。 (b) グラフの交点の座標から、 x 座標を読むこと。 <一次関数の式を用いることについて記述している場合> 次の(c)、(d)について記述している。 (c) 年数と先端の地面からの高さの関係を式で表すこと。 (d) 方程式を解いて、 x の値を求めること。 <伸びる長さの割合(速さ)など調べた数値を用いることについて記述している場合> 次の(e)、(f)について記述している。 (e) 年数と先端の地面からの高さの関係を表や数値で調べること。 (f) その表や数値を用いて、先端の地面からの高さが一致するときの年数の値を求めること。				○正答率は10.4%で数学全ての設問の中で最も低い正答率、最も高い無解答率であった。 ○類型9は46.3%で、実際に年数を求めようとして誤りのあるものや、方法を説明する記述になっていないものが多く見られた。 ○このことから、どのように方法を説明したらよいか分からない生徒が多くいると考えられる。また、授業では、方法を説明する活動の目が重視され、問題解決とつながっていないため、方法の説明の有用性を実感させるまでには至っていないと考えられる。
1	(a)、(b)の両方を記述しているもの。	1.8	◎	
2	(a)、(b)についての記述が不十分なもの。	4.4	○	
3	(c)、(d)の両方を記述しているもの。	0.5	◎	
4	(c)、(d)についての記述が不十分なもの。	2.0	○	
5	(e)、(f)の両方を記述しているもの。	1.0	◎	
6	(e)、(f)についての記述が不十分なもの。	0.9	○	
9	上記以外の解答	46.3		
0	無解答	43.3		

③ 学習指導に当たって

問題を解決する活動の中で、次のような場面を設定する

○問題解決の過程を振り返り、その方法を説明する

多様な方法で解決できる問題を取り上げた際には、問題を解決した後に、その解決の方法を説明し合い、お互いの説明を比較検討する活動を取り入れることが考えられる。このような対話的な学びにより、問題解決の方法を汎用的なものとして生徒自身に捉えさせ、新たな問題解決に方法の説明を生かすことが大切である。

○問題解決の構想を立てる際に、解決の方法を説明する

問題を解決するために、今ある手がかり（問題の条件や既習事項等）を基に、問題解決の構想をまとめられるようにすることは重要である。その構想を表現する1つとして、方法を説明する活動が考えられる。このような活動は、今後、未知の問題を解決する際に、先の見通しもなくむやみに解決に取り組むのではなく、構想を立てて問題を解決しようとする態度を育成することにつながる。

④ 【学習シート等との関連】

全国学力・学習状況調査数学B問題集
第2学年 C数量関係（21年度）3（3）

高知県正答率 11.3% 全国正答率 19.1%

蛍光灯と白熱電球の比較（ほぼ同じ明るさのもの）

	蛍光灯 (10 W)	白熱電球 (54 W)
1 個の値段	1000 円	150 円
電気代(1000 時間)	220 円	1190 円
1 個の寿命	10000 時間	1000 時間

蛍光灯と白熱電球の総費用が等しくなるおおよその時間を求める方法を説明しなさい。ただし、実際にその時間を求める必要はありません。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

②生徒にねらいをつかませ、課題意識をもたせる。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

①ねらいを達成するために、話し合いや交流の目的を明確にしている。

五、学習したこと振り返りの場を設定する。

②学習内容に有感がもてる適用問題や評価問題を実施している。

①生徒に学んだことやさらに考えたいことなどを確認させる。

■問題を提示する。

鍾乳石
の写真
(70年で1cm
伸びる)

石筍
の写真
(130年で1cm
伸びる)

石柱
の写真

鍾乳石と石筍がつながるのは、今からおよそ何年後になるかな？

■解決の見通しをもつ。※「用いるもの」に着目した意見を取り上げる。



どのようにしたら、この問題を解決できるかな？



グラフに表せば解けそうです。



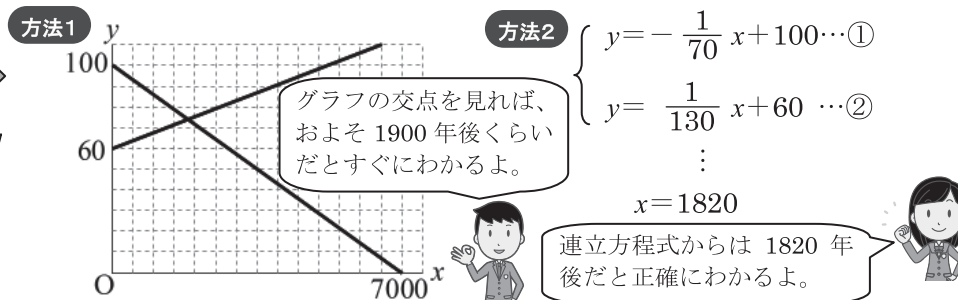
連立方程式を使えば解けそうです。



x 年後の地面から先端までの高さを y cm として考えたらどうかな？

グラフや連立方程式を用いて、何年後に鍾乳石と石筍がつながるのか説明しよう。

■問題を解決する。



■問題解決の過程を振り返り、その方法を説明する。

(方法1) グラフの交点を見た。	(方法2) 方程式を解いた。
「用いるもの」と「用い方」を明確にして、表現をよりよいものに見直す	
鍾乳石と石筍について、経過年数と地面から先端までの高さの関係をグラフに表し、その交点の座標から、 x 座標を読む。	鍾乳石と石筍について、 x 年後の地面から先端までの高さを y cm として、 x と y の関係を式で表し、連立方程式を解いて、その x の値を求める。

※この説明を基にまとめをする。

■適用問題に取り組む。

(問題) この鍾乳洞には2mの高さの石柱があります。鍾乳石と石筍が同時にではじめてつながったとすると、2mの石柱ができるまでに何年かかったかを求める方法を説明し、その方法に基づいてその年数を求めましょう。

■学んだことを振り返る。

◇ グラフを用いると、およその年数はすぐにわかるから、およその年数を知りたいければグラフを用いるとよいと思った。
 ◇ 連立方程式を用いると、正確に年数を求めることができるから、正確な年数を知りたいければ連立方程式を用いるとよいと思った。

中学校理科 指導改善のポイント（第2学年）

【課題が見られる設問の例】 問題1(4)

① 《出題のねらい》

地図と地層の観察記録を基に、観察地における地層の重なり方や広がり方を説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第1学年 2分野 (2) 大地の成り立ちと変化

大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解させ、大地の変化についての認識を深める。

イ 地層の重なりと過去の様子 (7) 地層の重なりと過去の様子

野外観察などを行い、観察記録を基に、地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだすとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定すること。

② 解答類型

(正答の条件)

次の(a)、(b)を満たして解答している。

(a) 露頭PのMの層と他の3つの露頭Q、R、Sの上部にある凝灰岩の層がつながった同一の地層と考えられることを書いている。

(b) (a)の根拠として、Mの層と他の3つの露頭の上部にある凝灰岩の層の上下の層の重なり方が同じであることを書いている。

(正答例)

上下の地層の重なり方が、露頭Q、R、Sの上部の凝灰岩の層と同じであることから、Mの層と他の3つの露頭の上部にある凝灰岩の層は、つながった同一の地層と考えられる

反応率(%)

正答

○本設問は、火山活動が活発だったと考えられる時期の回数根拠となる地層の重なり方や広がり方を説明する問題であり、正答率は3.8%である。

○誤答についてみると、類型9が49.1%と最も多い。「Nの層よりも先に堆積した」など、露頭Pの凝灰岩の層の重なり方を示した解答が多く見られ、考察の視点として示された4つの露頭の凝灰岩の層のつながりに着目して考えることができず、地層の広がり方を空間的に捉えることに課題がある。

1	条件(a)、(b)を満たして解答しているもの	3.8	◎
2	条件(a)を満たし、条件(b)を満たさないで解答しているもの	4.9	
3	条件(b)を満たし、条件(a)を満たさないで解答しているもの	8.5	
9	上記以外の解答	49.1	
0	無解答	33.7	

③

学習指導に当たって

観察・実験の結果を分析して解釈し、根拠を示して表現できるようにする

観察・実験の結果を分析して解釈し、根拠に基づいて説明することは、科学的に探究する活動を行ううえで大切である。

地層の広がり方の規則性を空間的に捉えられるようにするために、幾つかの露頭を観察し、特徴的な地層に着目して、その地層が同一の地層なのかどうかを考察させる学習場面が考えられる。その際、自分の考えや他者の考えについて、科学的な知識や概念、観察記録の結果等を基にして、その妥当性を検討することなどを通して、科学的な思考力や表現力を育むことが大切である。

④

【学習シート等との関連】

高知県理科思考力問題集

中1-10

地層の重なりと過去の様子

高知県には、「室戸ジオパーク」をはじめとして、各地に色んな地質・地形ポイントがあります。また、化石では世界にほこる重要なものも数多く産出しています。地層や化石に興味をもったミノルさんたちは、室戸ジオパークや香南市の青少年センターにある化石展示コーナーに行き、地層や化石について調べました。

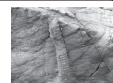
右の写真と下の表はそのとき撮ったり、まとめたものです。

室戸ジオパークとは、地質学的に特に重要な貴重な、あるいは珍しい地質遺産を保護し、広く一般に公開する。

青少年センター（香南市野市）の化石展示コーナーにある原始果産化石

地質年代	地層	化石
新第三紀	白土層、カニ、広葉樹、魚、ホニウケ類	
中生代	白土層、カニ、ワシジロ、サメの歯、魚の骨、魚の骨、広葉樹	
中生代	白土層、有孔虫、生痕	
中生代	白土層、アノモリイ、生痕、サシゴ、ソココサシゴ、カニ、ヒトデ、シダ、ソラ、サシゴ	
中生代	サシゴ、サシゴ、サシゴ、サシゴ、サシゴ	

化石の産出は、地層の年代を特定する重要な手がかりとなります。化石の産出は、地層の年代を特定する重要な手がかりとなります。



室戸ジオパーク内の行方・最良な地層で見られた地層に属する二枚岩が写った写真。

(1) 上の表で「生痕」と表示されているのは「生痕化石」とも呼び、上の写真のように生物の生活のあとが残されたものです。

① この写真のような二枚岩が写ったあとには、どのような「生痕」が考えられるでしょうか。

② 生物本体の化石と比べ、生痕でしか分からないことは何でしょうか。

③ 生痕はその生物が生活していた地層になります。生物本体が化石になった場合は、生物本体が生活していた地層とは異なる場合があります。どのような場合が考えられるでしょうか。④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したこと振り返りの場を設定する。

②学んだことやさらに考えたいことなどを確認させている。

課題

この観察地における地層が堆積した期間に、火山活動が活発だった時期の回数は、少なくとも何回あったのだろうか。

★観察記録からわかることを出し合い、課題を設定する。

露頭A



露頭B



過去の火山活動について

- ・火山灰の層1つ
- ・凝灰岩の層2つ

火山活動が活発だった時期の回数とそうように考えた理由を説明する。

★火山活動と関係がある層（鍵層）に着目し、地層のつながりを考えさせる。

＜ノートの一部＞

【自分の考え】

露頭Aには、凝灰岩の層が1つ、露頭Bには、火山灰の層と凝灰岩の層が1つずつあります。だから、これらの地層が堆積した期間に、火山活動が活発だった時期は、3回あったと考えられます。



それでいいのかな。露頭Aと露頭Bにある凝灰岩の層は、別の時期に堆積したといえるのかな。

火山活動と関係のある層の数だけを見て、火山活動が3回あったと考えるのは正しいのかな。



地層の重なり方を比較し、地層の広がり方を考える。

★観察記録を基に、特徴的な地層に着目して離れた地層の重なり方を対比することにより、観察地における地層の広がり方を考えさせる。

★自分の考えの妥当性を検討し、根拠を示して改善した考察を説明させる。

＜ノートの一部＞

【見直した自分の考え】

露頭Aには凝灰岩の層が1つ、露頭Bには火山灰の層と凝灰岩の層が、それぞれ1つ見られます。露頭Aと露頭Bにある凝灰岩の層は、上下の層の重なり方が同じことから、つながった同一の地層であると考えられます。だから、これらの地層が堆積した期間には、火山活動が活発だった時期が、火山灰の層が堆積した1回と凝灰岩の層が堆積した1回の少なくとも2回あったと考えられます。

【学んだこと】

火山活動が活発だった時期の回数は、火山灰の層や凝灰岩の層の数だけでなく、地層の重なり方や広がり方を考えて判断する必要があることがわかりました。

★授業を振り返ったとき、思考の過程がわかり、学びの成果を実感できるよう、授業の各場面において、ノートに記録させる。

中学校外国語（英語） 指導改善のポイント（第1学年）

【課題が見られる設問の例】 問題12（2）

① 《出題のねらい》

資料を基に、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

エ 書くこと（オ） 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

② 解答類型

	反応率(%)	正答	
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 「ジョーンズ先生が、毎週日曜日におどりを練習している」という内容を、「practices」「every Sunday」などを用いて適切に書いている。 (b) (a)を文法的に正しく書いている。 ~~~~~ (正答例) 例1 Ms. Jones practices the Yosakoi dance every Sunday. 例2 Ms. Jones practices the Yosakoi dance on Sundays.			○本設問は、ケンタとユキコの会話を基に、よさこい祭りへの参加を呼びかけるメッセージカードの一文を書くものである。正答率は、1.8%であり、無解答率は、29.7%と高い。 ○誤答についてみると、類型9が62.9%であり、既習の語彙や表現方法の定着が十分でなく、綴りの誤りがあるもの、文を途中までしか書いていないものが多い。また、「主語+動詞+目的語」の文構造の理解にも課題がみられる。
1 条件(a)、(b)を満たして解答しているもの	1.6	◎	
2 条件(a)を満たし、条件(b)について、下記の誤りがあるもの ・大文字(小文字)の書き分け 例 ms.Jones practices the Yosakoi dance every Sunday. ・文末の符号 例 Ms. Jones practices the Yosakoi dance on Sundays(ピリオドなし)	0.2	○	
3 動詞の活用に誤りがあるもの 例1 Ms. Jones practice the dance every Sunday. 例2 Ms. Jones practicing the Yosakoi dance on Sundays.	5.6		
9 上記以外の解答	62.9		
0 無解答	29.7		

③

学習指導に当たって

＊まとまりのある内容を表現する力を育成するために、複数の技能を統合的に活用する言語活動を充実する。

まとまりのある文章を書くことができる力を育成するためには、単に1文ごとの意味内容を指示してそれを英語で表現することにとどまらず、「読むこと」や「聞くこと」と有機的に関連付け、書く目的に具体性をもたせることが大切です。その際、新出・既習の表現を用いて、読み手に伝わる英文を書くことができるよう指導を工夫し、文構造の理解を深めることも大切です。

また、普段から具体的なコミュニケーション場面を設定し、身近な出来事や体験したことなどについて、生徒同士が英語で伝え合う機会をできるだけもつことが必要です。

④

【学習シート等との関連】

英語ライティングシート II 重要表現編 1年生 三人称単数現在形（肯定文・否定文・疑問文）
III テーマ作文編 1年生 観光地を紹介しよう

高知県語彙検定 KOCHI Core-tan 高知これ単 26級、21級
高知県中学校英語副読本 Discover Kochi 「Henro」、「Yanase Takashi」



指導のねらい 身近な話題について、自分の意見や感想などを交えながら表現することができる。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

①考えを深めたり広げたりすることができるよう、生徒の意見を価値付けたりしている。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

①生徒に学んだことやさらに考えたことなどを確認させる。

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標 第1学年「書くこと」

*身近な話題について、自分の考えや気持ちなどを、文と文の適切につなぐに留意しながら、50語程度の英文で正しく書くことができる。
(「高知県英語教育推進のためのガイドライン」<例>より)

単元のゴール

「ALTの先生によさこい祭りを紹介するリーフレットを作成する。」

Warm-up (例)

*本時のねらいにつながるよう、既習の言語材料を用いて聞いたことについて分かったことをメモするなどの活動を仕組む。

本時のねらい「よさこい祭りを紹介する内容を英文で書こう」を確認する。

*具体的なモデルを示し、生徒とのQAなどやりとりを通して、モデルの内容を読み取らせ、パンフレットのイメージをもたせる。

(例)

Henro

お遍路さんや寺院の写真

お遍路さんの衣装

Henro is a journey among eighty-eight temples in Shikoku. It is over 1,200 km long. Kochi Prefecture has The locals are very kind to pilgrims.

高知県中学校英語副読本
Discover Kochi
「Henro」より

紹介する内容を考える。

*よさこい祭りの様子を映像などで見ながら、ALTの先生に何を伝えるのかを、英語を使って整理させる。

(例)

キーワードなどを用いて表現

<メモ>

・どんな踊り powerful, ...
・開催時期 August〇〇~〇〇
・開催場所 Kochi Central Park, ...
・参加チーム数 About 〇〇teams
・賞 Gold, Silver, ...

☆学校図書館等を活用して調べたことも書き加えることで、内容を深めさせましょう。



紹介文をペアやグループで伝え合う。

*伝える内容と使う言語材料を考え、適切な表現ができているかを確認させる。

<方法> (例)

- ・読み手に伝わるように工夫をしている表現にアンダーラインを引く。
- ・紹介文の内容について簡単な感想などを書く。

*リーフレットの構想案についても交流し、互いにアドバイスさせる。交流することで、いろいろな表現方法があることに気付かせる。



メモをもとに、1文ずつ書いたけれど、文と文のつながりを考えると、同じ語を反復せず、代名詞に変えると読みやすくなるね。

内容が伝わりにくかったところは、文構造や語法などを見直す必要があるね。



交流を通して気づいたことなどを基に、紹介文を推敲する。

*自分の書いた英文を読み返し、より伝わりやすくするためには、どのような表現の工夫が必要なのかなどを考えさせる。
*次時まで、リーフレットで使用する写真や絵などを準備させる。

調査結果の活用 ～解答類型別反応率の分析～

各学校に送られた調査結果のデータの中の「設問別調査結果」のファイルには、領域や各設問等の正答率が示されています。また、「設問別（解答類型）調査結果」には、各設問の反応率が示されており、これを見ると、児童生徒がどこでつまづいているのかがわかります。資料を基に要因を探り、各単元の指導に当たって、どのような改善を図っていくのかを考えることが大切です。

例：小学校第5学年算数

何倍かを求める場面で、除法が用いられることを理解しているかどうかを見る。

3 (1)

10mの赤いリボンと、5mの青いリボンがあります。青いリボンの長さは、赤いリボンの長さの何倍かを求める式を書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。

【自校採点マニュアル】

3	(1)	(注意) 式については、答えの有無や答えの正誤は問わない。	正答	解答類型別 反応率 (%)
	1	5 ÷ 10 と解答しているもの	◎	50.2
	2	10 ÷ 5 と解答しているもの (<u>基準量と比較量の関係を誤っているもの</u>)		43.5
	9	上記以外の解答		5.0
	0	無解答		1.3

↑
「設問別（解答類型）調査結果」より

この設問では、類型2が多く、基準量を正しく捉え、「割合＝比べられる量÷もとにする量」を適用できるよう、指導改善が求められます。このように、類型番号1～8を見ると、「どのように考えたのか」「どのような間違いをしているのか」の傾向を把握することができます。

ただし、類型9（上記以外の解答）が多い場合は、実際の解答用紙を見て、どのような誤答が多いかを確認し、分析していくことが必要になります。また、類型0（無解答）が多い場合は、どのような問題であるのかを分析し、日々の授業で、無解答を減少させるための取り組みを充実させていくことが大切です。



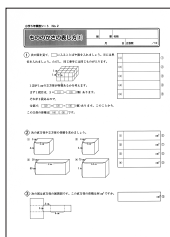
無解答率を減少させるためには…

- 問題を解決させるための見通しを、一人ひとりにしっかりとめさせる。
- 考えがまとまらずに途中であつたとしても、そこまでの部分を評価し、次につながるようにする。



調査結果のデータを基に、学校としての傾向を把握し、学校としてどこに課題があるのか、その課題を改善するためにどのようなことに取り組むのかを、全教職員で共有し、組織的・協働的に授業改善を進めていきましょう。

高知県教育委員会が作成した学習シート等



算数・数学シート
(小4～中3)



全国学力・学習
状況調査
数学B問題集
(中1～中3)



数学思考力問題集
(中1～中3)



理科思考力問題集
(小5～中3)



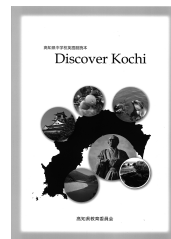
国語学習シート
(小1～中3)



全国学力・学習状況調査
問題・解説 国語
(小学校・中学校)



高知県語彙検定
KOCHI Core-tan
高知これ単
(中1～中3)



Discover
Kochi
(中1～中3)

学力向上検証改善サイクルの確立に向けて

—平成28年度高知県学力定着状況調査結果の概要—

平成29年3月

発行・編集

高知県教育委員会事務局小中学校課

